XPERIA AX SO-01E

取扱説明書

'12.11

はじめに

「SO-01E」をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、本書をお読みいただき、正しくお使いください。

SO-01Eの取扱説明書について

SO-01Eの操作説明は、本書のほかに『クイックスタートガイド』や本端末用アプリケーションの『取扱説明書』で説明しています。

● 『クイックスタートガイド』（本体付属品）
お買い上げ時に最初に行う基本的な操作や設定のほか、画面の表示内容、主な機能の操作などを説明しています。

● 『取扱説明書』（本端末のアプリケーション）
本書同様に各種機能の操作や設定操作などを説明しています。『取扱説明書』アプリを利用するには、ホーム画面で をタップし、［取扱説明書］をタップします。初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードしてインストールする必要があります。『取扱説明書』アプリを削除した場合は、Playストアで Google Playにアクセスして再インストールできます。ホーム画面で［Playストア］をタップし、『取扱説明書』アプリを検索して選択し、画面の指示に従ってインストールします。以後は電子書籍としてご覧いただけます。また、説明ページの記載内容をタップして実際の操作へ移行したり、参照内容を表示したりできます。

❖注意

- アプリケーションのダウンロードおよびアップデート時には、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。

● 『取扱説明書』（PDFファイル）
各種機能の操作や設定操作などを説明しています。次のドコモのホームページよりダウンロードできます。
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※『クイックスタートガイド』の最新情報もダウンロードできます。なお、URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

❖注意

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- SO-01Eに関する重要なお知らせを次のホームページに掲載しております。ご利用の前に必ずご確認ください。
http://www.sonymobile.co.jp/support/use_support/product/so-01e/

● スマホなるほどツアーズ for docomo with series（本端末のウィジェット）
本端末の便利な機能や知っておきたい基本操作をドコモダケと一緒に楽しく学べるウィジェットです。
スマホなるほどツアーズ for docomo with seriesを利用するには、ホーム画面で をタップします。

操作説明文の表記について

本書では、各キーの操作を［⓪］、［⮌］、［⌂］、［▭］、［◁ ▷］を使って説明しています。また、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表　記	操作内容
ホーム画面で▦をタップし、［設定］▶［端末情報］をタップする	ホーム画面で▦（アプリケーションボタン）をタップして、次に表示された画面で「設定」を、さらに表示された画面で「端末情報」を順にタップする
アイコンをロングタッチする	画面上のアイコンを長めに（1～2秒間）触れたままにする

❖お知らせ

- 本書の操作説明は、お買い上げ時のホーム画面からの操作で説明しています。別のアプリケーションをホーム画面に設定している場合などは、操作手順が説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面やイラストはイメージであるため、実際の製品や画面とは異なる場合があります。
- 本書では、操作方法が複数ある機能や設定の操作について、操作手順がわかりやすい方法で説明しています。
- 本書の本文中においては、「SO-01E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書はホームアプリが「ドコモ」の場合で説明しています。ホームアプリの切り替え方法については、「ホーム画面の見かた」（P.66）をご参照ください。

本体付属品

- SO-01E本体（保証書含む）

- リアカバー SO21

- クイックスタートガイド

- SO-01Eのご利用にあたっての注意事項
  安全上／取り扱い上のご注意

- 電池パック SO08

- 卓上ホルダ SO14（保証書含む）

- ワンセグアンテナケーブル SO01

- microSDカード（2GB）（試供品）※
  （お買い上げ時は、本端末に取り付けられています。）

- マイク付ステレオヘッドセット
  （試供品）※

※ 取扱説明書含む

オプション品については、「オプション品・関連機器のご紹介」（P.241）をご参照ください。

目　次

海外利用................232

付録／索引................241

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、Xiサービスエリアおよび FOMA サービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本たっている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れる場合がありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM／GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞きとれません。
- 本端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、本端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 本端末は、Xiエリア、FOMA プラスエリアおよび FOMA ハイスピードエリアに対応しております。
- 本端末は、ｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。

- 本端末は、データの同期や最新のソフトウェアバージョンをチェックするための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- お客様がご利用のアプリケーションやサービスによっては、Wi-Fi通信中であってもパケット通信料が発生する場合があります。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。
- 画面ロック解除画面（P.37）にオペレーター名が表示されます。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で をタップし、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップする。
- 本端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で をタップし、［設定］▶［端末情報］をタップする。
- パソコンからインターネットを経由してアップデートファイルを取得し、パソコンと本端末とを接続することでソフトウェアを更新することができます。詳細は、「パソコンに接続して更新する」（P.253）をご参照ください。
- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用になれます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてドコモminiUIMカードにお取り替えください。
  ドコモminiUIMカード（赤色）をお使いの場合は、海外利用などドコモminiUIMカードを利用する一部のおサイフケータイ対応サービスを利用することができませんので、2013年2月以降（予定）にドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 紛失に備え、画面ロックを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳細は「画面ロック」（P.148）をご参照ください。

- 万が一紛失した場合は、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスやFacebook、Twitter、mixiを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワード変更や認証の無効化を行ってください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- spモード、mopera UおよびビジネスmoperaインターネットXX以外のプロバイダはサポートしておりません。
- テザリングのご利用にはspモードのご契約が必要です。
- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は、下記の項目に分けて説明しています。

1. 本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、ワンセグアンテナケーブルの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。（衣服のポケットに入れる等して身につける場合も含みます。）
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
防水性能についてはこちらをご参照ください。→P.22「防水／防塵性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

卓上ホルダ用接触端子やmicroUSB接続端子、ヘッドセット接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください。
（NFC／おサイフケータイ ロックを設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。
充電しながらゲームやワンセグ視聴などを長時間行うと本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. 本端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。
目に悪影響を及ぼす原因となります。

禁止

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。
赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

禁止

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードやmicroSDカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。
本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。

指示

ハンズフリーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。
また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部の表面には、飛散防止フィルムを貼った強化ガラスを使用し、カメラのレンズの表面には、アクリル樹脂を使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠注意

禁止

ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。

本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末が破損したまま使用しないでください。

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。

けがなどの事故の原因となります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。

車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

各箇所の材質について→P.15「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。

視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

■ 電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠警告

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態でmicroUSBプラグをショートさせないでください。また、microUSBプラグに手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指定の電源、電圧で使用してください。
また、海外で充電する場合は、海外で使用可能なACアダプタで充電してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で使用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。
電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

7. 材質一覧

使用箇所	材質	表面処理
外装ケース（ケース フロント）	ナイロン樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース：Black、Turquoise（ケース リア）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
外装ケース：White、Pink（ケース リア）	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース：Black（microUSB接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋ウレタン塗装処理
外装ケース：Turquoise（microUSB接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
外装ケース：White、Pink（microUSB接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理＋ウレタン塗装処理
外装ケース：Black、Turquoise（ヘッドセット接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
外装ケース：White、Pink（ヘッドセット接続端子カバー）	PC樹脂（ガラス入り）	UV塗装処理
外装ケース：Blackのみ（リアカバー）	PC樹脂（ガラス入り）＋シリコンゴム	ウレタン塗装処理
外装ケース：White、Pink、Turquoise（リアカバー）	PC樹脂（ガラス入り）＋シリコンゴム	UV塗装処理
外装ケース（受話口）	PC樹脂	ウレタン塗装処理
透明板（カメラ）	PC＋PMMA樹脂	AR処理
透明板（フラッシュ／フォトライト）	PC樹脂	—
透明板（ディスプレイ）	ガラス＋PET樹脂	ハードコート処理
サイドキー（電源キー、音量キー）：Turquoiseのみ	PC樹脂	不連続蒸着（錫）＋UV塗装処理
サイドキー（電源キー、音量キー）：Black、White、Pink	PC樹脂	UV塗装処理
電池パック（端子部分）	銅合金	ニッケル下地メッキ／金メッキ
電池パック（本体）	PP樹脂	—
電池パック（ラベル）	PET樹脂	UV塗装処理
卓上ホルダ（上ケース）	ABS樹脂	—
卓上ホルダ（下ケース）	ABS樹脂	—
卓上ホルダ（ロック）	POM樹脂	—

使用箇所	材質	表面処理
卓上ホルダ（ボタン）	POM樹脂	―
卓上ホルダ（接触端子）	りん青銅	金メッキ
卓上ホルダ（ラベル）	ポリエステル樹脂	―
卓上ホルダ（ゴム足）	ポリウレタン樹脂	―
卓上ホルダ（ネジ）	SWCH	黒クロメートメッキ
ワンセグアンテナケーブル（ヘッドセット接続端子：天面）	PP樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（ヘッドセット接続端子：リング）	PC樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（ヘッドセット接続端子：ボディー）	エラストマー樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（ケーブル）	エラストマー樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（接続プラグ：天面）	PP樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（接続プラグ：リング）	PC樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（接続プラグ：ボディー）	エラストマー樹脂	―
ワンセグアンテナケーブル（接続プラグ：金属部分）	黄銅	金メッキ

取り扱い上のご注意

■ 共通のお願い

- **SO-01Eは防水／防塵性能を有しておりますが、本端末内部に水や粉塵を侵入させたり、付属品、オプション品に水や粉塵を付着させたりしないでください。**
  電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカード、ワンセグアンテナケーブルは防水／防塵性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり、充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、外部接続機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

■ 本端末についてのお願い

- **タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。**
  タッチスクリーンが破損する原因となります。
- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は5℃～40℃（ただし、36℃以上は一時的な使用に限る）、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。**
  素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- **通常はmicroUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーを閉じた状態でご使用ください。**
  ほこり、水などが入り故障の原因となります。

- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
  電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **磁気カードなどを本端末に近づけないでください。**
  キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
  強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

■ 電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
  使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

■ アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
  自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、microUSBプラグを変形させないでください。**
  故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードについてのお願い

- ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
- お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。

  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。

  データの消失、故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。

  故障の原因となります。
- ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。

  故障の原因となります。

■ Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について

  本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4： 2400MHz帯を使用する無線設備を表します。

FH/XX/DS/OF： 変調方式がFH-SS、その他の方式、DS-SS、OFDMであることを示します。

1： 想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。

4： 想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。

8： 想定される与干渉距離が80m以下であることを示します。

▬ ▬ ▬ ： 2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

- Bluetooth機器使用上の注意事項
  本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。
  - 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
  - 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
  - その他、ご不明な点につきましては、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 無線LAN（WLAN）についてのお願い

- **無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。**
- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 2.4GHz機器使用上の注意事項
  WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

- **5GHz機器使用上の注意事項**

  日本で使用できるチャンネル番号と周波数は次のとおりです。

	チャンネル番号（Ch）	周波数（MHz）
5.2GHz帯	36	5,180
	38	5,190
	40	5,200
	44	5,220
	46	5,230
	48	5,240
5.3GHz帯	52	5,260
	54	5,270
	56	5,280
	60	5,300
	62	5,310
	64	5,320
5.6GHz帯	100	5,500
	102	5,510
	104	5,520
	108	5,540
	110	5,550
	112	5,560
	116	5,580
	118	5,590
	120	5,600
	124	5,620
	126	5,630
	128	5,640
	132	5,660
	134	5,670
	136	5,680
	140	5,700

5GHzワイヤレスLAN機器の屋外使用は法令により禁止されています。

■ FeliCaリーダー／ライター機能についてのお願い

- **本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。**
- **使用周波数は13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。**

■ 注意

- **改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**

  本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊪」が本端末の銘版シールに表示されております。
  本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**

  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は、罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。**

  本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。海外でご使用になると罰せられることがあります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**

  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水／防塵性能

SO-01Eは、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーを確実に取り付けた状態で、IPX5※1、IPX7※2の防水性能、IP5X※3の防塵性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにSO-01Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

※3 IP5Xとは、保護度合いを指し、直径75μm以下の塵埃（じんあい）が入った装置に電話機を8時間入れてかくはんさせ、取り出したときに電話機の機能を有し、かつ安全を維持することを意味します。

SO-01Eが有する防水／防塵性能でできること

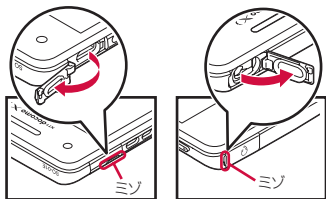
- 雨の中で傘をささずに通話ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
  - 手が濡れているときや端末に水滴がついているときには、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーの開閉はしないでください。
- 汚れたり水道水以外が付着した場合に洗い流すことができます。
  - やや弱めの水流（6L／分未満）で蛇口やシャワーより約10cm離れた位置で常温（5℃～35℃）の水道水で洗えます。
  - 洗うときはリアカバーを取り付けた状態で、microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバーを開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手洗いしてください。洗った後は、水抜きをしてから使用してください（P.26）。
- プールサイドで使用できます。ただし、プールの水をかけたり、プールの水に浸けたりしないでください。

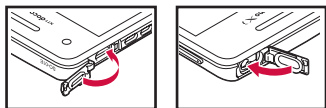
防水／防塵性能を維持するために

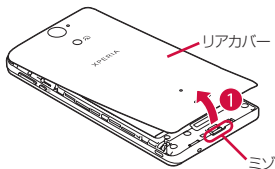
水や粉塵の侵入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、浸けたりしないでください。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛1本、砂粒1つ、微細な繊維など）が挟まると、水や粉塵が侵入する原因となります。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカー、セカンドマイク、ストラップホールなどを尖ったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水／防塵性能の劣化を招くことがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバー裏面のゴムパッキンは防水／防塵性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- リアカバー裏面の丸い網目状のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、防水性能を維持できません。

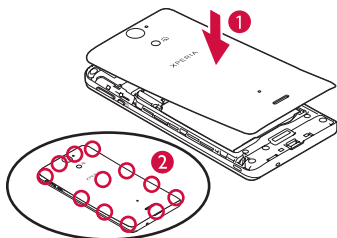
■ microUSB接続端子やヘッドセット接続端子カバーの開きかた

ミゾに指をかけてカバーを開いてください。

■ microUSB接続端子やヘッドセット接続端子カバーの閉じかた

矢印の方向へカバーを押し込んですき間がないことを確認してください。

■ リアカバーの取り外しかた

1 本端末下部のミゾに指先をかけて、矢印（❶）の方向へリアカバーを持ち上げて取り外す

■ リアカバーの取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して、本端末に合わせるように装着し（❶）、〇部分をしっかりと押し（❷）、本端末とすき間がないことを確認する

- リアカバーを取り付ける際は、リアカバーの縁の突起部に指を引っ掛けないようにご注意ください。

防水／防塵性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたっての注意事項

次のイラストで表すような行為は行わないでください。

〈例〉

石鹸／洗剤／入浴剤をつける

ブラシ／スポンジで洗う

洗濯機で洗う

強すぎる水流を当てる

海水につける

温泉で使う

砂／泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 規定以上の強い水流（6L／分以上の水流：例えば、蛇口やシャワーから肌に当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。SO-01EはIPX5の防水性能を有していますが、故障の原因となります。
- 万が一、塩水や海水、清涼飲料水がかかったり、泥や土などが付着したりした場合には、すぐに洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、傷や故障の原因となります。
- 熱湯に浸けたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本端末を水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水に浸けるときは、30分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本端末は水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。寒冷地では凍結し、故障の原因となります。
- 送話口（マイク）、受話口、スピーカー、セカンドマイク、ストラップホールに水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切って、ドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

- microUSB接続端子カバー、ヘッドセット接続端子カバー、リアカバー裏面のゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取り替えください。
- ワンセグアンテナケーブル使用中は防水性能を発揮できません。

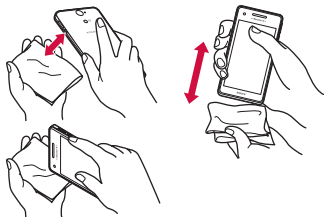
実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜きについて

本端末を水に濡らすと、拭き取れなかった水が後から漏れてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

① 本端末をしっかりと持ち、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取る

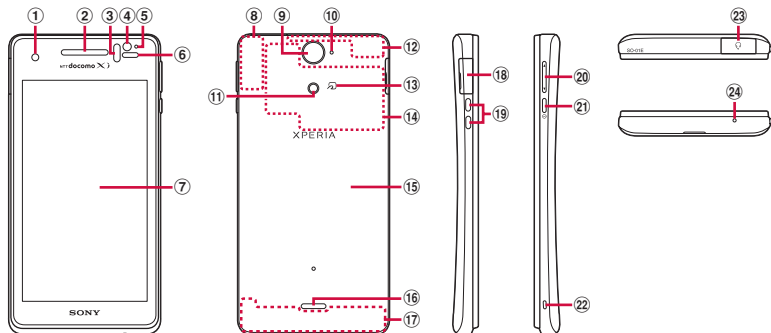
② 本端末をしっかりと持ち、20回程度水滴が飛ばなくなるまで振る

③ 送話口（マイク）、受話口、スピーカー、電源キー、音量キー、卓上ホルダ用接触端子、各カバー（microUSB接続端子カバー／ヘッドセット接続端子カバー）などのすき間に溜まった水は、乾いた清潔な布などに本端末を10回程度振るように押し当てて拭き取る

④ 本端末から出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させる
   - 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
   - すき間に溜まった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときは

充電時、および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品、オプション品は防水／防塵性能を有していません。
- 本端末が濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、付属の卓上ホルダに差し込んだり、microUSB接続端子カバーを開いたりしてください。
- microUSB接続端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。なお、microUSB接続端子からの水や粉塵の侵入を防ぐため、卓上ホルダを使用して充電することをおすすめします。
- ACアダプタ、卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。
- 濡れた手でACアダプタ、卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。

各部の名称と機能

① フロントカメラレンズ
② 受話口
③ 赤外線ポート
④ ライトセンサー：画面の明るさの自動制御に使用します。
⑤ 通知LED
⑥ 近接センサー：タッチスクリーンのオンとオフを切り替えて、通話中の誤動作を防止します。
⑦ タッチスクリーン
⑧ GPSアンテナ部※
⑨ カメラレンズ
⑩ セカンドマイク：通話相手が聞き取りやすいようにノイズを抑制します。
⑪ フラッシュ／フォトライト
⑫ FOMA／Xi／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部※
⑬ マーク
⑭ NFC／FeliCaアンテナ部※
⑮ リアカバー
⑯ スピーカー
⑰ FOMA／Xiアンテナ部※
⑱ microUSB接続端子：充電時に使用したり、MHL接続時（P.211）に使用します。
⑲ 卓上ホルダ用接触端子
⑳ 音量キー／ズームキー
㉑ 電源キー／画面ロックキー
㉒ ストラップホール
㉓ ヘッドセット接続端子
㉔ 送話口（マイク）

※アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと通信品質に影響を及ぼす場合があります。

❖注意

- 各センサー上にシールなどを貼らないでください。

- リアカバー裏面の銀色のシールは、はがさないでください。シールをはがすと、ICカードを読み書きできない場合があります。
- リアカバー裏面の丸い網目状のシートは、はがさないでください。シートをはがすと、防水性能を維持できません。

ドコモminiUIMカードについて

ドコモminiUIMカードとは、お客様の電話番号などの情報が記録されているICカードのことです。

- 本端末では、ドコモminiUIMカードを使用します。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能を利用することができません。
- ドコモminiUIMカードについて詳しくは、ドコモminiUIMカードの取扱説明書をご覧ください。
- ドコモminiUIMカードを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。

❖お知らせ

- ドコモminiUIMカードを取り扱うときは、金属（IC）部分に触れたり、傷つけないようにご注意ください。故障や破損の原因となります。

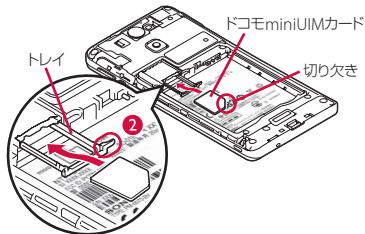
■ ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号があります。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます（P.148）。

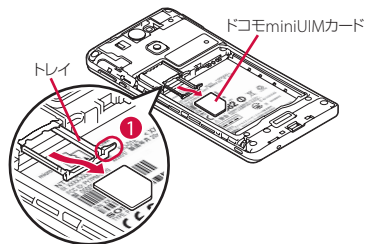
ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 本端末下部のミゾに指先をかけて、リアカバーを持ち上げて取り外す（P.24）

2 電池パックおよびmicroSDカードを取り外して、トレイの縁の突起部（❷）に指先をかけて、トレイをまっすぐに引き出し、ドコモminiUIMカードの金属（IC）部分を下にしてトレイに合わせて差し込み、トレイごと奥までまっすぐ押し込む

- 切り欠きの方向にご注意ください。

3　電池パックおよびmicroSDカードを取り付けて、リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

ドコモminiUIMカードを取り外す

1　リアカバーを外し、電池パックおよびmicroSDカードを取り外して、トレイの縁の突起部（❶）に指先をかけて、トレイをまっすぐに引き出し、ドコモminiUIMカードを取り出す

2　トレイを奥までまっすぐ押し込み、電池パックおよびmicroSDカードを取り付けて、リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

microSDカードについて

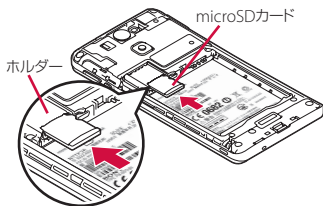
microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカードに対応しています（2012年10月現在）。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。
- microSDカードを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。

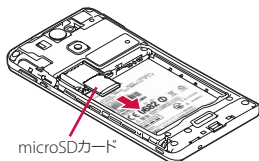
microSDカードを取り付ける

1　本端末下部のミゾに指先をかけて、リアカバーを持ち上げて取り外す（P.24）

2　電池パックを取り外して、microSDカードの挿入方向を確認して、ホルダーにまっすぐゆっくりと差し込む

- microSDカードの金属端子面を下にして差し込みます。

3 電池パックを取り付けて、リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

microSDカードを取り外す

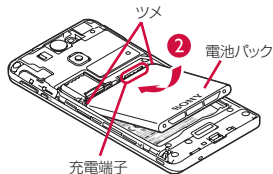
1 リアカバーを外し、電池パックを取り外して、microSDカードを指先で押さえながら、手前にすべらせるように取り出す

2 電池パックを取り付けて、リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

電池パック

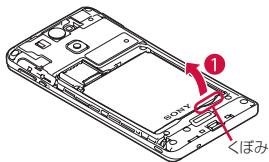
- 電池パックを取り付け／取り外すときは、必ず本端末の電源を切ってから行ってください。また、ACアダプタは取り付けないでください。

電池パックを取り付ける

1 本端末下部のミゾに指先をかけて、リアカバーを持ち上げて取り外す（P.24）

2 電池パックの充電端子の位置を確認して、本端末と電池パックのツメを合わせるように矢印（❷）の方向へ差し込む

3 リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

電池パックを取り外す

1　リアカバーを取り外し、本端末のくぼみから電池パックに指先をかけて、矢印（❶）の方向に持ち上げて取り外す

2　リアカバーを装着し、本端末とすき間がないことを確認する（P.24）

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電された状態ではありません。

充電時間

電池パックが空の状態から充電したときの時間です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ 03（別売品）	約160分（卓上ホルダ SO14併用時約170分）
DCアダプタ 03（別売品）	約180分

十分に充電したときの使用時間（目安）

使用環境や電池パックの状態によって使用時間は異なります。詳しくは主な仕様をご参照ください（P.255）。

連続待受時間	FOMA／3G	約480時間（静止時）
	GSM	約340時間（静止時）
	LTE	約350時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約460分
	GSM	約440分

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が、次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

充電について

- 必ずSO-01Eに専用の電池パックSO08を取り付けて充電してください。
- ACアダプタ 03（別売品）の対応電圧はAC100Vから240Vです。海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- 充電にはACアダプタ 03（別売品）を使用することをおすすめします。
- microUSB接続ケーブルは、無理な力がかからないように水平にゆっくり抜き差ししてください。
- 充電を開始すると、本端末の通知LEDが赤色／橙色／緑色に点灯し、緑色に点灯すると電池残量が90%以上になったことを示します。充電状態は、ホーム画面上部のステータスバーで確認するか、ホーム画面で をタップし、［設定］▶［端末情報］▶［端末の状態］をタップして、「電池残量」で確認できます。充電が完了すると、ステータスバーや「電池残量」には「100%」と表示され、画面ロック解除画面には「充電完了」と表示されます。
- 電源オフ時に充電を開始すると、操作はできませんが本端末の電源はオンになります。このため、航空機内や病院など、使用を禁止された区域では充電を行わないでください。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したまま本端末を長時間おくと、充電が終わった後、本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際には短い時間しか使えないことがあります。このようなときは、再度正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度ACアダプタから外してもう一度セットして充電し直してください。

卓上ホルダを使って充電する

充電には対応のACアダプタをご使用ください。対応充電器以外をご利用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります（P.241）。
ACアダプタ 03（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 **付属の卓上ホルダの裏側の接続端子に、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを刻印面（ ）を上にして差し込む（❶）**

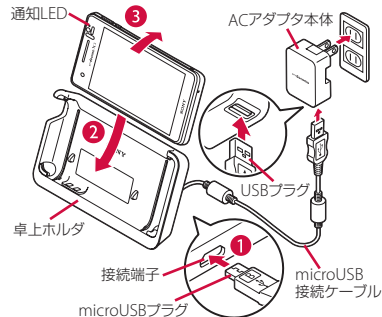
2 **microUSB接続ケーブルのUSBプラグをACアダプタ本体のUSBプラグに差し込み、ACアダプタ本体の電源プラグを電源コンセントに差し込む**

3 **本端末を矢印（❷）の方向に差し込み、矢印（❸）の方向に取り付ける**

- 本端末の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」（P.42）をご参照ください。

4 充電が完了したら、ACアダプタ本体の電源プラグを電源コンセントから取り外し、本端末を卓上ホルダから取り外す

❖注意

- 卓上ホルダとパソコンを接続して充電することはできません。
- 卓上ホルダを使って充電する際に、卓上ホルダの接続端子にmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになり、通知LEDが点灯します。航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

ACアダプタを使って充電する

充電には対応のACアダプタをご使用ください。対応充電器以外をご利用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります（P.241）。
ACアダプタ 03（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを刻印面（⭠⭢）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをACアダプタ本体のUSBプラグに差し込み、ACアダプタ本体の電源プラグを電源コンセントに差し込む

- 本端末の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」（P.42）をご参照ください。

3 充電が完了したら、ACアダプタ本体の電源プラグを電源コンセントから取り外す

4 microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを本端末から取り外す

❖注意

- 本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになり、通知LEDが点灯します。航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。

DCアダプタを使って充電する

DCアダプタ 03（別売品）は、自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはDCアダプタ 03（別売品）の取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使って充電する

充電には対応のmicroUSB接続ケーブルをご使用ください。対応充電器以外をご利用になると、充電できない場合や正常に動作しなくなる場合があります（P.241）。
microUSB接続ケーブル 01（別売品）を使って充電する場合は、次の操作を行います。

1 本端末のmicroUSB接続端子カバーを開き、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを刻印面（⭠⭢）を上にして、本端末のmicroUSB接続端子に水平に差し込む

2 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートに差し込む

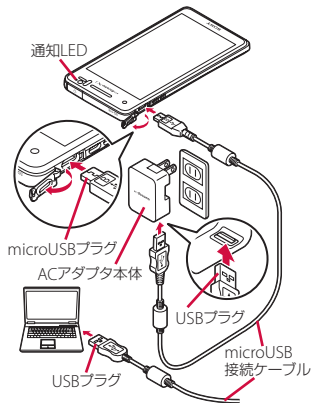
- 本端末の通知LEDが点灯します。充電中の通知LEDについては、「通知LEDについて」（P.42）をご参照ください。
- 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、[スキップ] をタップしてください。
- パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示されたら「キャンセル」を選択してください。

3 充電が完了したら、microUSB接続ケーブルのmicroUSBプラグを本端末から取り外す

4 microUSB接続ケーブルのUSBプラグをパソコンのUSBポートから取り外す

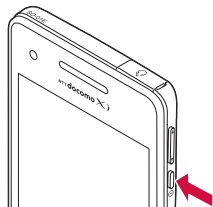
❖注意

- お買い上げ時は「USB接続モード」が「メディア転送モード（MTP）」に設定されているため、Microsoft Windows XPのパソコンで本端末を充電するには、パソコンにMTP driverのインストールが必要となります。Windows Media Player 10以降をインストールすると、MTP driverをインストールすることができます。

- 本端末のmicroUSB接続端子に充電などのためmicroUSB接続ケーブルで接続を行った場合は、操作はできませんが電源はオンになり、通知LEDが点灯します。航空機内や病院など、使用を禁止された区域ではmicroUSB接続ケーブルで接続を行わないようご注意ください。
- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **[⏻]を1秒以上押す**

- 画面ロックの解除画面が表示されます。

2 **画面ロックを解除する**

- お買い上げ時の画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.37）をご参照ください。

❖お知らせ

- 初めて電源を入れたときは、初期設定画面が表示されます（P.38）。
- 画面ロック（P.148）、SIMカードロック（P.147）をかけていた場合は、電源を入れると、画面ロック解除画面／PINコード入力画面が表示されます。画面ロックの解除方法については、「画面ロックを解除する」（P.149）、PINコードの入力方法については、「電源を入れたときにPINコードを入力する」（P.148）をご参照ください。

電源を切る

1 ⏻ を1秒以上押す

2 ［電源を切る］をタップする

3 ［OK］をタップする

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、タッチスクリーンやキーの誤動作を防止することができます。

- 本端末では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックが設定されます。

1 ⏻ を押す

❖お知らせ

- お買い上げ時は画面ロックが設定されています。画面ロックの設定を変更するには、「画面ロックの解除方法を変更する」（P.149）をご参照ください。
- バックライトの消灯と画面ロックするまでの時間の設定は、「画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する」（P.134）をご参照ください。

画面ロックを解除する

画面ロック解除画面は、電源を入れたとき、または ⏻ を押してバックライトを点灯させたときに表示されます。

1 画面ロック解除画面で 🔒 をタップする

❖お知らせ

- 画面ロック解除画面で 📷 をタップするとカメラを起動でき、🎤 をタップするとしゃべってコンシェルを起動できます。
- 画面ロックを無効に設定することもできます。詳しくは、「画面ロックがかからないようにする」（P.150）をご参照ください。

初期設定を行う

本端末の電源を初めて入れたときは、画面の指示に従って初期設定を行います。

1 ［日本語］▶［完了］をタップし、➡をタップする

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、➡または［完了］をタップします。
  - インターネットの接続方法を選択
  - Wi-Fiネットワークに接続
  - オンラインサービスのアカウント設定や自動同期の設定
  - 優先的に利用するアプリケーションを選択

2 ドコモサービスの初期設定画面が表示されたら 進む をタップする

- 以降は画面の指示に従って以下の設定を行い、進むをタップします。
  - アプリを一括でインストールするかを選択
  - おサイフケータイの初期設定を行うかを選択
  - ドコモアプリパスワードを設定
  - 位置検索を要求された場合の動作を設定

3 ［OK］をタップする

- ホーム画面の操作ガイドが表示されますので、［OK］／［以後表示しない］をタップすると、ホーム画面が表示されます。

❖お知らせ

- 後から言語を変更する場合は、ホーム画面で▦をタップし、［設定］▶［言語と入力］▶［地域／言語］をタップします。各機能などを設定する場合は、ホーム画面で▦をタップし、［設定］▶［セットアップガイド］／［ドコモサービス］などをタップして設定します。
- オンラインサービスを設定する前に、データ接続が可能な状態（LTE/3G/GPRS）であることをご確認いただくか、Wi-Fiネットワークに接続されていることをご確認ください。接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.39）をご参照ください。
- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いになれますが、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

ステータスバー

ステータスアイコン

画面に表示される主なステータスアイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
	電波状態
	国際ローミング使用可能
	国際ローミング通信中
	圏外
	HSDPA使用可能
	HSDPA通信中
	3G（パケット）使用可能
	3G（パケット）通信中
	LTE使用可能
	LTE通信中
	Wi-Fi接続中
	Wi-Fi通信中
	Auto IP機能でWi-Fi接続中
	Bluetooth機能をオンに設定中
	Bluetoothデバイスに接続中
	機内モード設定中
	マナーモード（バイブレーション）に設定中
	マナーモード（ミュート）に設定中
	スピーカーフォンがオン
	マイクをミュートに設定中
	アラーム設定中
	Reader/Writer, P2P機能をオンに設定中
	電池の状態
	充電中
	PINロック解除コードロック中、またはドコモminiUIMカードが未挿入

通知アイコン

画面に表示される主な通知アイコンは次のとおりです。

アイコン	説明
	新着Eメールあり
	新着Gmailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着インスタントメッセージあり
	新着エリアメールあり
	スクリーンショットあり
	新着Facebookメッセージあり
	Facebookへデータアップロード中
	Facebookへデータアップロード完了
	Facebook機能の設定要求通知あり
	データを受信／ダウンロード
	データを送信／アップロード

	Bluetooth機能の接続要求通知あり
	microSDカードのマウント解除（読み書き不可）
	microSDカード／内部ストレージの準備中
	インストール完了（Google Playなどでアプリケーションをインストールする際）
	アップデート通知（Google Playなどでインストールしたアプリケーションのアップデートが通知される際）
	ソフトウェア更新通知あり
	ソフトウェア更新ダウンロード中
	ソフトウェア更新ダウンロードまたはインストール完了
	NFC／おサイフケータイ ロック設定中
	本端末またはドコモminiUIMカードにNFC／おサイフケータイ ロックを設定中
	おまかせロック設定中
	本端末またはドコモminiUIMカードにおまかせロックを設定中
	発信中、着信中、通話中
	Bluetoothデバイスで通話中
	通話保留中
	不在着信あり
	留守番電話あり
	カレンダーの予定あり
	ストップウォッチ測定中
	タイマー設定中
	アラーム鳴動中
	楽曲をメディアプレイヤーで再生中
	楽曲をWALKMANで再生中
	ワンセグ起動中

	FMラジオ使用中
	USB接続中
	MHL接続中
	TV launcherの起動が可能な状態
	スクリーンミラーリング接続中
	赤外線通信中
	データ通信無効
	Wi-Fiオープンネットワーク利用可能
	VPN接続中
	本端末をメディアサーバーとして設定中／接続要求通知あり
	エラーメッセージ
	注意メッセージ
	同期に問題あり
	セットアップガイド未確認
	パーソナルエリアなどの通知あり
	その他の（表示されていない）通知あり
	Wi-Fiテザリング設定中／Wi-Fi Direct接続中
	USBテザリング設定中
	Wi-FiテザリングおよびUSBテザリング設定中
	エリア連動Wi-Fi設定中
	GPS測位中
	オートGPS設定中
	Green Heart省エネアイコン（コンセントからACアダプタを外してください）
	ヘッドフォン接続中
	おまかせロック設定中
	本端末のメモリの空き容量低下

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メール、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く／閉じる

1 ステータスバーを下にドラッグする

- [⮌]をタップして通知パネルを閉じます。

❖お知らせ

- ステータスバーを下にドラッグして、マナーモードやデータ通信の有効／無効などを設定します。

／	Wi-Fi機能のオン／オフを設定できます。
／	Bluetooth機能のオン／オフを設定できます。
／	データ通信の有効／無効を設定できます。
／	画面の明るさを切り替えることができます。
／ ／	マナーモード（バイブレーション／ミュート）のオン／オフを設定できます。
／	Wi-Fiテザリング機能のオン／オフを設定できます。
／	GPS機能のオン／オフを設定できます。
／	機内モードのオン／オフを設定できます。
／	本端末の向きに合わせて、縦／横画面表示に自動で切り替えるかを設定できます。
	設定メニュー画面（P.118）を表示します。

通知パネル内の表示を削除する

1 通知パネルで［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- 通知パネル内の通知を左右にフリックすると、一覧から削除できます。
- 通知内容によっては通知を削除できない場合があります。

通知LEDについて

本端末のステータスまたは着信や受信などの通知情報を表示します。

LEDの見かた

LEDの色と点滅	通知内容
赤の点灯	充電中、電池残量が14%以下であることを示す
赤の点滅	電池残量が14%以下であることを示す
緑の点灯	充電中、電池残量が90%以上であることを示す
緑の点滅	バックライト消灯中に新着Gmailがあることを示す
青の点滅	バックライト消灯中に不在着信／新着メッセージ（SMS）があることを示す
橙色の点灯	充電中、電池残量が15%-89%であることを示す

❖お知らせ

- 電源を入れる時に電池残量が起動するのに十分でない場合は、[⏻]を押すと赤く点滅します。

基本操作

キーアイコンの基本操作

[↩]	バック	直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを閉じます。
[⌂]	ホーム	ホーム画面に戻ります。
[▭]	スモールアプリ	最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動したり、一覧から削除できます。また、スモールアプリを使用したり、設定することができます（P.80）。

※ 本書では、各キーアイコンの操作を[↩]、[⌂]、[▭]を使って説明しています。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上のご注意

- タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
- 次の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作

タッチスクリーン上の操作

■ タップ

アイコンやメニューなどの項目に指で軽く触れ、すぐに離します。

- 2回続けてすばやくタップすることを、ダブルタップといいます。

■ ロングタッチ

アイコンやメニューなどの項目に指で長く触れます。

■ フリック

画面に触れて上下左右にはらうように操作します。

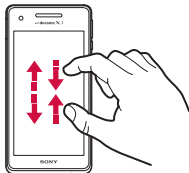
■ ドラッグ

画面に触れたまま目的の位置までなぞり、指を離します。

■ スクロール

画面内に表示しきれないときなどに、表示内容を上下左右に動かして、表示位置をスクロール（移動）します。

■ ピンチ

画面に2本の指で触れ、指の間隔を開いたり（ピンチアウト）閉じたり（ピンチイン）します。一部の画面では、ピンチアウトすると表示を拡大、ピンチインすると表示を縮小します。

縦／横画面表示を自動で切り替える

本端末の向きに合わせて、自動的に縦画面表示／横画面表示に切り替わるように設定できます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

2 （グレー）をタップする

- 設定がオンになります。また、（青色）をタップするとオフになります。

❖お知らせ

- ホーム画面など、表示中の画面によっては、本端末の向きを変えても横画面表示されない場合があります。
- ホーム画面でをタップし、［設定］▶［画面設定］をタップして、「画面の自動回転」にチェックを入れるか、ホーム画面でをタップし、［設定］▶［ユーザー補助］をタップして、「画面の自動回転」にチェックを入れても、自動的に画面表示を横向き／縦向きに切り替えることができます。

スクリーンショットを撮影する

現在表示されている画面を画像として撮影（スクリーンショット）できます。
撮影したスクリーンショットはアルバム（P.208）で確認できます。

1 スクリーンショットを撮影したい画面で、と の下を同時に1秒以上押す

- スクリーンショットが撮影され、ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- を1秒以上押して、［スクリーンショット］をタップしてもスクリーンショットを撮影できます。

チェックを入れるまたは外して設定を切り替える

設定項目の横にチェックボックス／ラジオボタンなどが表示されているときは、チェックボックス／ラジオボタンなどのチェックマークを入れたり、外すことにより、設定のオン／オフを切り替えることができます。

／	チェックボックスの設定のオン／オフを切り替えます。
／	ラジオボタンの設定のオン／オフを切り替えます。
／	タップまたは左右にドラッグすることにより、設定のオン／オフを切り替えます。

本端末内やウェブページの情報を検索する

検索ボックスに文字を入力すると、本端末内やウェブ上の情報を検索することができます。

1 ホーム画面で をタップし、[検索]をタップする

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 検索する語句を入力する

- 文字の入力に従って、検索結果の候補が表示されます。文字の入力については、「文字入力」（P.46）をご参照ください。
- 検索語句を入力し直す場合は をタップします。
- 検索項目の右端の をタップすると、選択した項目を入力して再検索します。

3 検索項目または をタップする

- 検索結果からアプリケーションを選択した場合は、アプリケーションが起動します。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、現在地情報をGoogleの検索結果やサービスで利用するかどうかの確認画面が表示されますので、利用規約を読んで［OK］をタップします。
- ソフトウェアキーボードの をタップすると、「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で検索する語句を音声で入力できます。

Google音声検索を利用する

検索する語句を音声で入力できます。

1 ホーム画面でGoogle検索ウィジェットの をタップする

2 送話口（マイク）に向かって検索したい語句を話す

3 検索項目をタップする

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、Googleが位置情報を使用することを許可するかどうかの確認画面が表示されますので、「同意する」または「同意しない」を選択してください。
- 言語を変更すると、手順1で音声検索言語の設定画面が表示されますので、［設定］または［OK］を選択してください。

検索設定

検索ボックスで使用する設定や、本端末内での検索対象を設定できます。

1 ホーム画面で をタップし、[検索]をタップする

2 をタップし、[設定]をタップする

- Google検索の設定画面が表示され、次の設定ができます。

検索対象	検索対象とする本端末内のデータの種類（Google・Chrome・Eメール・OfficeSuite・Playムービー・WALKMAN・アプリケーション・ドコモ電話帳・ファイルコマンダー・ブラウザ・メッセージ・連絡先）にチェックを入れる／外すことで、検索範囲を変更できます。
Google検索	検索文字の入力時にウェブ履歴から検索候補を表示するかを設定したり、本端末内のコンテンツやアプリについて検索した履歴を消去することができます。 • Googleアカウントが必要になります。

文字入力

文字入力は、メールの作成や電話帳の登録など、文字入力欄をタップすると表示されるソフトウェアキーボードを使います。

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードが表示されると、ステータスバーに が表示されます。
- 文字入力画面から元の画面に戻るときは、 をタップします。
- 文字入力画面でテキストをロングタッチすると、拡大されたテキストが表示され、テキスト上をドラッグしながら確認することができます。

入力方法の選択

本端末では、入力方法（キーボード種別）を「Google音声入力」「POBox Touch（日本語）」「ドコモ文字編集」「中国語キーボード」「外国語キーボード」から選択できます。

Google音声入力	文字入力中に、Google音声入力で音声入力する場合に選択します。
POBox Touch（日本語）	日本語を入力する場合に選択します。
ドコモ文字編集	文字入力中に、ドコモ音声入力で音声入力する場合などに選択します。
中国語キーボード	中国語を入力する場合に選択します。
外国語キーボード	入力する言語を選択できます。

1 ホーム画面で をタップし、［設定］をタップする

2 ［言語と入力］▶［現在の入力方法］▶［POBox Touch（日本語）］／［中国語キーボード］／［外国語キーボード］をタップする

❖お知らせ

- 文字入力中にステータスバーを下にドラッグして、［入力方法の選択］をタップすると、「Google音声入力」「POBox Touch（日本語）」「ドコモ文字編集」「中国語キーボード」「外国語キーボード」から入力方法を選択できます。

ソフトウェアキーボード

POBox Touch（日本語）では、12キー、QWERTY、50音、手書きかなの4種類のソフトウェアキーボードのスタイルを切り替えて使用できます。

■ 12キーキーボード

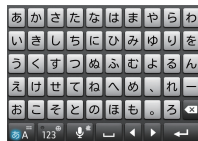
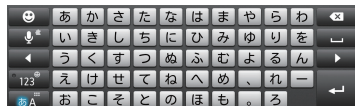
縦画面

横画面

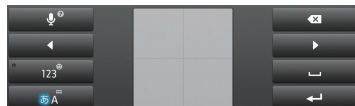
■ QWERTYキーボード

縦画面

横画面

■ 50音キーボード

縦画面

横画面

■ 手書きかな入力

縦画面

横画面

❖お知らせ

- ソフトウェアキーボードのキー表示は、入力画面や文字種、設定によって変わります。

キーボードや設定の変更

1 文字入力画面で をロングタッチする

2 ／／／／／／／をタップする

- ：12キーキーボードを表示します。
- ：QWERTYキーボードを表示します。
- ：50音キーボードを表示します。
- ：手書きかな入力を表示します。
- をタップすると、POBox Touch（日本語）の設定画面が表示され、設定を確認・変更できます。
- をタップすると、プラグインアプリの一覧が表示されます。
- ：半角／全角を切り替えます。
- ：ソフトウェアキーボードを非表示にします。

❖お知らせ

- お買い上げ時は、縦画面は12キーキーボード、横画面はQWERTYキーボードに設定されています。その他、「自動大文字変換」「予測変換」「入力ミス補正」などがオンに設定されています。

12キーキーボードでの文字入力

一般的な携帯電話と同じ配列で並んでいるキーボードを使用して文字を入力します。入力時はフリック入力やトグル入力を使用します。

アイコン	機　能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／aの順にステータスアイコンが表示されます。
／ **ロングタッチ**	ポップアップウィンドウを表示します。 ／／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 （全角）／（半角）：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
／	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
／ **ロングタッチ**	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英数文字やカタカナの変換候補を表示します。

アイコン	機　能
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
🎤 **ロングタッチ**	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
逆順	1つ前の文字を表示（逆順）します。

アイコン	機　能
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補 **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
全角／全角	数字入力時に表示され、半角／全角に切り替えます。

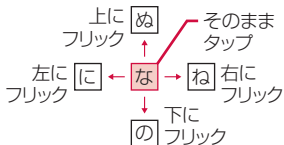
※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

入力時の設定

■ フリック入力

上下左右にフリックして各行の文字を入力します。

- **例：「な」行を入力する場合**
  「な」はタップするだけで入力できます。「に」は左、「ぬ」は上、「ね」は右、「の」は下にそれぞれフリックして入力できます。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、をフリックまたはタップして行います。
- フリック入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。ご利用にならない場合は、次の操作で解除できます。
  ① 文字入力画面でをロングタッチする
  ② をタップする
  ③ ［ソフトウェアキーボード設定］▶「フリック入力」のチェックを外す
- フリック入力時の感度を変更するには、文字入力画面でをロングタッチし、をタップして、［ソフトウェアキーボード設定］▶［フリック感度選択］をタップし、「高」「中（初期設定）」「低」から選択します。

■ トグル入力

同じキーを連続してタップし、割り当てられた文字を入力します。
同じキーに配列された文字を続けて入力するには、次のように操作します。

- **例：「あお」と入力する場合**
  ①「あ」を1回タップする
  ② をタップして「あ」を5回タップする
- **例：「ca」と入力する場合**
  ①「abc」を3回タップする
  ② をタップする※
  ③「abc」を1回タップする
  ※ アプリケーションによっては手順②でをタップする場合もあります。

- 大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点の付加は、をタップして行います。
- トグル入力は、お買い上げ時の状態で利用できるように設定されています。

ご利用にならない場合は、次の操作で解除できます。

① 文字入力画面で をロングタッチする
② をタップする
③ [ソフトウェアキーボード設定] ▶「トグル入力」のチェックを外す

❖お知らせ

- トグル入力の場合、タップしたキーのハイライトが消えると、 をタップしなくても、同じキーに配列された文字を続けて入力できます。

QWERTYキーボードでの文字入力

一般的なパソコンのキーボードと同じ配列のキーボードを使用して文字を入力します。日本語はローマ字で入力します。

アイコン	機　能
／	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーに あ→a／A／A／a／A／Aの順にステータスアイコンが表示されます。
／ **ロングタッチ**	ポップアップウィンドウを表示します。 ／／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 (全角)／(半角)：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
／	「ひらがな漢字／英字」→「数字／記号」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
／ **ロングタッチ**	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。

アイコン	機　能
◂	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▸	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
🎤 **ロングタッチ**	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、タップしたキーに割り振られた英字やカタカナの変換候補を表示します。

アイコン	機　能
⇧／⇧／⇧	英字入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えます。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補 **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。 あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
全角／全角	数字入力時に表示され、数字や記号を半角／全角に切り替えます。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

アシストキーボードを選択する

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、よく使用するキーの表示幅を大きく、タップしやすくするようにアシストキーボードを変更することができます。

1 **文字入力画面で「あA」をロングタッチする**

2 **「設定」をタップする**

3 **［ソフトウェアキーボード設定］▶［アシストキーボード選択］をタップする**

4 **［ワイド］／［ハイライト］／［ダイナミック］／［ノーマル］のいずれかをタップする**

■ ワイド

入力時によく使うキーの幅を広くタップしやすく表示します。

■ ハイライト

入力時によく使うキーの幅を広くして、次に入力が予測されるキーをハイライト表示します。

■ ダイナミック

次に入力が予測されるキーの幅をさらに広くタップしやすくして、ハイライト表示します。

■ ノーマル

キーの幅を均等に表示します。

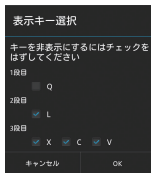
表示するキーの変更

QWERTYキーボードでひらがな漢字入力する場合に、使用頻度の低いキー（Q、X、Cなど）を表示しないようにできます。

1 文字入力画面で あA をロングタッチする

2 をタップする

3 ［ソフトウェアキーボード設定］▶［表示キー選択］をタップする

- アシストキーボード（P.53）を「ノーマル」に設定している場合は、「表示キー選択」を選択できません。

4 表示しないキーのチェックを外す

5 ［OK］をタップする

キーボードのカスタマイズ

QWERTYキーボードで数字入力時に表示される記号を、お好みの文字／記号にカスタマイズできます。

1 文字入力画面で あA をロングタッチする

2 をタップする

3 ［ソフトウェアキーボード設定］▶［キーボードカスタマイズ］をタップする

4 変更したい記号をタップし、あらかじめ設定されている文字を削除して表示したい文字を入力し、［OK］をタップする

- 全角・半角に関わらず1文字だけ入力できます。

5 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 初期状態に戻すには、手順3で をタップし、［リセット］▶［OK］をタップします。

50音キーボードでの文字入力

五十音順に並んだキーボードを使用して文字を入力します。

アイコン	機　能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／A／a／A／Aの順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA **ロングタッチ**	ポップアップウィンドウを表示します。 ／／／：キーボード切り替え ：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ：プラグインアプリの一覧を表示 (全角)／(半角)：全角／半角切り替え ：ソフトウェアキーボードの非表示
大⇔小	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123 **ロングタッチ**	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。
	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
ロングタッチ	利用できるプラグインアプリの一覧が表示されます。
／／	英数入力時にタップすると、1文字のみ大文字／大文字／小文字を切り替えたり、入力できる記号の種類を切り替えます。

アイコン	機　能
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補 **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。 あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
☻	横画面時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

手書きかな入力での文字入力

手書きかな入力画面を指でなぞることで文字を入力します。

アイコン	機　能
あA／あA	「ひらがな漢字」→「英字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ→a／A／aの順にステータスアイコンが表示されます。
あA／あA **ロングタッチ**	ポップアップウィンドウを表示します。 ▯／▯／▯／▯：キーボード切り替え ✕：POBox Touch（日本語）の設定画面を表示 ▯：プラグインアプリの一覧を表示 半全（全角）／半全（半角）：全角／半角切り替え ▯：ソフトウェアキーボードの非表示
大⇔小	ひらがな漢字入力時に表示され、大文字／小文字の切り替えや濁点／半濁点を付加します。
A⇔a	英字入力時に表示され、大文字／小文字を切り替えます。
123／123	「ひらがな漢字／英字」→「数字」の順に文字種が切り替わり、ステータスバーにあ／Aなど→1／1の順にステータスアイコンが表示されます。
123／123 **ロングタッチ**	半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。

アイコン	機　能
英数カナ	ひらがな漢字入力時の変換確定前に表示され、入力したかな文字に割り振られた英数文字やカタカナの変換候補を表示します。
取消	変換確定後に表示され、変換前の表示に戻ります。
◀	カーソル移動※1：左へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。
▶	カーソル移動※1：右へ移動します。ロングタッチすると連続して移動します。変換時は変換範囲を変更します。未確定文字列があり、かつカーソルが右端にある状態でタップすると、最後尾と同一文字を入力します。
↵	変換確定前は「確定」と表示され※2、入力文字や変換文字を確定します。入力・変換が確定している場合は、カーソル位置で改行します。
⌫	カーソル位置の前の文字を削除します。ロングタッチすると連続して削除します。
␣	文字未入力時や文字を入力し確定した後にスペースを入力します。ロングタッチすると連続してスペースを入力します。
🎤	「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」で文字を音声入力できます。候補一覧が表示されますので、入力したい文字列をタップします。
🎤 **ロングタッチ**	POBox Touch 徹底ガイド内の手書きかな入力の使い方ガイドが起動し、手書きかな入力の詳しい使い方を閲覧できます。
候補	ひらがな漢字入力時に、変換候補内の語句をハイライト表示して選択します。連続してタップすると、変換候補内のハイライト表示される語句を変更し、入力する語句を選択できます。
候補 **ロングタッチ**	オンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
☺	数字入力時に表示され、半角記号／全角記号の一覧を表示して入力できます。タブを切り替えると、顔文字の一覧を表示して入力できます（spモードメール入力時などは絵文字タブやデコメタブも表示されます）。

※1 入力した文字がある場合、入力した文字列の目的の箇所をタップするだけでカーソルを移動できます。

※2 メールアカウントの登録画面など、一部の画面では、「次へ」「完了」「実行」などが表示されます。

❖お知らせ

- 初めて手書きかな入力で文字を入力する場合は、入力方法を読んで、［OK］をタップします。
- 手書きかな入力で入力できる文字は、ひらがな、英字、数字、一部の記号となります。
- 入力した文字を消去せずに、そのまま次の文字を入力できます。

- 濁点や半濁点は、手書きかな入力画面の右上に入力してください。
- 句読点や小文字は、手書きかな入力画面の中央より下側に入力してください。
- 英字入力時は、手書きかな入力画面の下側の横罫線を基準に入力してください。

テキストの編集

メールや電話帳などの文字入力画面で、編集したい文字をダブルタップすると、画面上部にテキストの編集メニューが表示されます。
またはをドラッグすると、選択する文字列を変更できます。

（すべて選択）	入力したテキストをすべて選択します。
（切り取り）	選択した文字列を切り取ります。
（コピー）	選択した文字列をコピーします。
（貼り付け）	コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
（終了）	編集メニューを終了します。

❖お知らせ

- コピーまたは切り取った文字列を貼り付けるには、挿入したい位置でロングタッチし、［貼り付け］をタップします。テキストが入力されている場合は、挿入したい位置でタップし、をタップして、［貼り付け］をタップします。
- 編集メニューのアイコンは、アプリケーションにより異なります。

文字入力の設定

入力方法ごとに、文字入力の各種設定を行うことができます。

1 **ホーム画面でをタップし、［設定］▶［言語と入力］をタップする**

2 **「Google音声入力」／「POBox Touch（日本語）」／「ドコモ文字編集」／「中国語キーボード」／「外国語キーボード」のをタップする**

- 各入力方法の設定画面が表示されます。表示される画面の項目をタップして設定してください。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、入力方法により異なります。

POBox Touch（日本語）の設定

POBox Touch（日本語）の設定画面を表示する

1 ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [言語と入力] をタップする

2 「POBox Touch（日本語）」の をタップする

- POBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。

❖お知らせ

- 文字入力画面で をロングタッチし、 をタップしてもPOBox Touch（日本語）の設定画面が表示されます。

ソフトウェアキーボードの共通設定

キー操作音やキー操作バイブなどの入力に伴う各種設定を行います。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で [ソフトウェアキーボード設定] をタップする

- 「ソフトウェアキーボード共通設定」の各項目を設定します。

キー操作音	キーをタップしたときに音を出すか出さないかを設定します。
キー操作バイブ	キーをタップしたときに振動するかしないかを設定します。
キーポップアップ	キーをタップしたときにどのキーをタップしたか確認するように設定します。
候補表示行数（縦画面）	縦画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。
候補表示行数（横画面）	横画面時に表示される変換候補内の表示行数を設定します。

❖お知らせ

- お買い上げ時の縦画面／横画面に表示される変換候補内の表示行数は2行です。

自動大文字変換

半角英字入力時に、文頭の文字が自動的に大文字になるように設定します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で「自動大文字変換」にチェックを入れる

❖お知らせ

- 「自動大文字変換」にチェックを入れていても、半角英字入力時に文頭の文字が大文字にならない場合もあります。

音声入力設定

音声入力を「ドコモ音声入力」または「Google音声入力」に設定します。

1 **POBox Touch（日本語）の設定画面で［音声入力］をタップする**

2 **［ドコモ音声入力］／［Google音声入力］をタップする**

❖お知らせ

- お買い上げ時は、「ドコモ音声入力」に設定されていますが、ソフトウェアキーボードの をタップして「Google音声入力」に変更することができます。

モード別キーボードの保持

縦画面／横画面ごとに、かな／英字／数字の各入力モードに対して、最後に使用したキーボードの種類（12キーキーボード／QWERTYキーボード／50音キーボード／手書きかな入力）を保持できます。

1 **POBox Touch（日本語）の設定画面で［ソフトウェアキーボード設定］をタップする**

2 **「モード別キーボード保持」にチェックを入れる**

❖お知らせ

- 「モード別キーボード保持」にチェックを入れなくても、縦画面／横画面ごとに最後に使用したキーボードの種類を保持できます。

キセカエ設定

ソフトウェアキーボードの外観を変更できます。

1 **POBox Touch（日本語）の設定画面で［キセカエキーボード選択］をタップする**

2 **表示されるキーボードから選択し、［決定］をタップする**

❖お知らせ

- キセカエキーボードをウェブサイトからダウンロードして追加するには、手順2で［Webから取得］をタップします。ウェブサイトからダウンロードしたキセカエキーボードによっては、本端末に対応していない場合があります。
- ダウンロードしたキセカエキーボードを削除するには、ホーム画面で をタップし、［設定］▶［アプリ］▶「ダウンロード」タブで削除したいキセカエキーボードをタップし、［アンインストール］▶［OK］▶［OK］をタップします。本端末に対応していないキセカエキーボードは、手順2で［アンインストール］をタップしても削除できます。

予測変換設定

予測変換機能では、日本語・英語ともに入力した文字列に対して予測される変換候補を表示します。また、予測変換設定にチェックを入れると、「入力ミス補正」「自動スペース入力」の設定ができるようになり、文字入力の手間を軽減することができます。

予測変換を設定する

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で「予測変換」にチェックを入れる

❖**お知らせ**

- 予測変換候補内で画面下部に向かってフリックまたはドラッグすると、予測変換候補が画面下部まで表示され、ソフトウェアキーボードが非表示となります。予測変換候補内の画面下部に表示される［前候補］／［次候補］／［確定］をタップして、入力したい文字を選択・確定できます。ソフトウェアキーボードを表示させたいときは、［戻る］または をタップします。

入力ミス補正を設定する

QWERTYキーボードまたは50音キーボードで半角英字を入力し、変換前の文字列に入力ミスがあった場合に、入力ミスを補正して変換候補を表示します。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で「入力ミス補正」にチェックを入れる

自動スペース入力を設定する

英語予測候補選択時に入力文字の後ろに自動でスペースを入力します。ただし、メールアドレスやウェブアドレスしか入力できない入力欄では、自動スペースは入力されません。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で「自動スペース入力」にチェックを入れる

辞書設定

あらかじめ辞書の設定をしておくと、文字入力時に優先的に変換候補として表示されます。

ユーザー辞書に登録する

ユーザー辞書には「日本語ユーザー辞書」と「英語ユーザー辞書」の2種類があります。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［日本語ユーザー辞書］／［英語ユーザー辞書］をタップする

2 をタップし、［追加］をタップする

3 「読み」の文字入力欄をタップして入力する

4 「語句」の文字入力欄をタップして入力し、［完了］をタップする

5 ［保存］をタップする

❖お知らせ

- ユーザー辞書に登録できる文字数は「読み」「語句」ともに、全角・半角に関わらず最大50文字まで、登録できる件数は最大500件となります。
- 登録した語句によっては、文字入力時に予測変換候補内で［直変］をタップすると、優先的に変換候補として表示される場合もあります。
- 登録したユーザー辞書は、編集／削除できます。編集する場合は、登録したユーザー辞書を選択して⋮をタップし、［編集］をタップして、編集内容を入力したら［保存］をタップします。削除する場合は、登録したユーザー辞書を選択して⋮をタップし、［削除］▶［削除］をタップします。ユーザー辞書をすべて削除するには、⋮をタップし、［すべて削除］▶［削除］をタップします。

学習辞書を設定する

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［学習辞書］をタップする

2 「入力した語句を自動学習」にチェックを入れる

- すでに学習した内容をリセットするには、［学習辞書リセット］▶［削除］をタップします。

❖お知らせ

- すでに学習した語句を学習履歴から個別に削除するには、予測変換候補の中から削除したい語句をロングタッチし、［削除］をタップします。

オンライン辞書を設定する

ひらがな漢字入力時に候補をロングタッチすると、オンライン辞書を起動することができます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［オンライン辞書］をタップする

2 ［オンライン辞書］をタップし、注意文を読んで［同意する］をタップする

- 「オンライン辞書」にチェックが入ります。

辞書のバックアップと復元

ユーザー辞書と学習辞書は、内部ストレージへバックアップ保存し、必要なときに復元することができます。

1 POBox Touch（日本語）の設定画面で［バックアップと復元］をタップする

2 ［バックアップ］／［復元］をタップする

3 バックアップ／復元したい辞書にチェックを入れる

- 「日本語ユーザー辞書」「英語ユーザー辞書」「学習辞書」から選択します。

4 ［実行］をタップする

- バックアップでは、内部ストレージ内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。復元では、本端末内の辞書に上書きするかどうかの確認画面が表示されます。

5 ［OK］▶［OK］をタップする

- バックアップ／復元が実行されます。

❖お知らせ

- 復元に失敗した場合は、本端末内の辞書は初期化されますが、再度操作することによって復元することができます。
- ユーザー辞書と学習辞書は、microSDカードにはバックアップ保存されません。

プラグインアプリを利用する

文字入力時にプラグインアプリを使用したり、利用するプラグインアプリを追加することができます。

連絡先引用2.3を利用する

電話帳に連絡先が登録されていると、文字入力時に「連絡先引用2.3」を使って連絡先の情報を引用できます。

1 文字入力画面で をロングタッチする

2 をタップする

3 ［連絡先引用2.3］▶「連絡先」タブをタップする

4 引用したい連絡先を選択する

- 画面上部の検索ボックスに名前や読みを入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。

5 入力したい項目にチェックを入れて、［OK］をタップする

- すべての項目を選択／解除するには、［すべて選択］／［すべて選択解除］をタップします。

❖お知らせ

- 「引用履歴」タブには、文字入力時に引用した連絡先が表示されます。

プラグインアプリを追加する

文字入力時に利用するプラグインアプリをインストールして追加できます。

1 **POBox Touch（日本語）の設定画面で［プラグインアプリの管理］をタップする**

2 **プラグインの起動方法画面で［OK］をタップする**

- プラグイン設定の画面が表示されます。

3 **［新規プラグインのダウンロード］をタップする**

- POBoxプラグイン一覧の画面が表示されます。

4 **アプリをタップして、画面の指示に従って操作する**

❖お知らせ

- プラグイン設定の画面でチェックの入っているプラグインアプリは、文字入力画面で起動することができます。プリインストールされているプラグインアプリの「連絡先引用2.3」は、お買い上げ時にはチェックが入っています。

POBox Touch 徹底ガイド

基本から応用まで、高機能なPOBox Touch（日本語）を詳しく解説したガイドを閲覧できます。また、プラグインアプリやキセカエキーボードの紹介サイトから最新の情報を取得できます。

1 **POBox Touch（日本語）の設定画面で［POBox Touch 徹底ガイド］をタップする**

- POBox Touch 徹底ガイドが表示されます。

❖お知らせ

- 手書きかな入力画面で をロングタッチしても、POBox Touch 徹底ガイド内の手書きかな入力の使い方ガイドが起動し、手書きかな入力の詳しい使い方を閲覧できます。

USBキーボード／Bluetoothキーボード

本端末にUSBキーボードまたはHID（Human Interface Device）プロファイルに対応したBluetoothキーボードを接続して、文字を入力できます。

❖お知らせ

- HIDプロファイルに対応したBluetoothキーボードでも、機器によっては利用できない場合や正常に動作しない場合があります。
- キー配列が106キーボード／109キーボードに準拠したUSBキーボードまたはBluetoothキーボードをご使用ください。
- 文字入力欄をタップし、本端末のステータスバーにあやAなどのステータスアイコンが表示された後に、USBキーボードまたはBluetoothキーボードで文字を入力してください。
- USBキーボードまたはBluetoothキーボードの「半角／全角」キーを押すと、本端末のかな入力と英字入力を切り替えることができます。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Tab」キー／「↓」キーを押すと、本端末の予測変換候補内の語句を選択できます。
- 予測変換候補内の語句を選択していない状態で、USBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Space」キーを押すと、本端末の予測変換候補を直変換候補に切り替えることができます。
- 接続したUSBキーボードまたはBluetoothキーボードからテキストの編集ができます。本端末のテキストの編集については、「テキストの編集」（P.58）をご参照ください。
  - 「Ctrl」キーと「A」キーを押すと、入力したテキストをすべて選択します。
  - 「Shift」キーと「←」キー、または「Shift」キーと「→」キーを押すと、入力したテキストをカーソル位置から部分的に選択します。
  - 「Ctrl」キーと「X」キーを押すと、選択した文字列を切り取ります。
  - 「Ctrl」キーと「C」キーを押すと、選択した文字列をコピーします。
  - 「Ctrl」キーと「V」キーを押すと、コピーまたは切り取った文字列を貼り付けます。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「Shift」キーと「Alt」キーを押すと、本端末のオンライン辞書が起動します。あらかじめ、POBox Touch（日本語）の設定画面で、「オンライン辞書」にチェックを入れておく必要があります。
- 文字入力欄と変換候補欄の間に、現在の変換設定（予測変換／直変換／英数カナ変換／オンライン辞書）を表示し、変換候補の選択方法を表示します。
- 予測変換候補の表示中にUSBキーボードまたはBluetoothキーボードの「ファンクション」キーを押すと、ひらがな／カタカナ／英字に変換できます。
  - 「F6」キーを押すと、ひらがなに変換します。
  - 「F7」キーを押すと、全角カタカナに変換します。
  - 「F8」キーを押すと、半角カタカナに変換します。
  - 「F9」キーを押すと、全角英字に変換します。
  - 「F10」キーを押すと、半角英字に変換します。

ホーム画面

ホーム画面はアプリケーションを使用するためのスタート画面です。ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加・移動したり、壁紙を変えるなどのカスタマイズができます。

ホーム画面の見かた

[⌂]をタップすると表示され、最大12個のホーム画面を左右にフリックして使用できます。

「ひつじのしつじくん®」
©NTT DOCOMO

① ホーム画面の現在表示位置
② ウィジェット：Google検索
③ ウィジェット：ｉチャネル
④ ウィジェット：マチキャラ
⑤ ショートカット（アプリケーション）
⑥ アプリケーションボタン
⑦ 壁紙

❖お知らせ

- 本端末では、ホームアプリを「ドコモ」または「Xperia™」に切り替えられます。
お買い上げ時は、ホームアプリに「ドコモ」が設定されています。ホームアプリを切り替える場合は、ホーム画面で[アプリ]をタップし、［設定］▶［セットアップガイド］をタップして、優先アプリケーション画面で［今すぐ変更］▶［ホームアプリ］をタップするか、ホーム画面で[アプリ]をタップし、［設定］▶［Xperia™］▶［優先アプリ設定］▶［ホームアプリ］をタップして切り替えます。
また、本端末で利用するアプリ（ホームアプリ、ロック画面、電話帳アプリ、動画や音楽を再生するアプリ）を一括で切り替える場合は、ホーム画面で［優先アプリ設定］▶［OK］をタップするか、ホーム画面で[アプリ]をタップし、［設定］▶［Xperia™］▶［優先アプリ設定］▶［一括設定］をタップして切り替えます。
- ホームアプリを切り替えると、ホーム画面のレイアウトなどによっては、画面上のウィジェットやアプリケーションのショートカットなどが正しく表示されない場合があります。
- ホーム画面の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップして、ホーム画面を表示します。

ホーム画面を切り替える

1 ホーム画面を左右にフリックする

- ホーム画面が切り替わります。

❖お知らせ

- ホーム画面上部に表示される[■■■■■]で、現在表示しているホーム画面の位置を確認できます。

- ホーム画面の一覧を表示し、任意のホーム画面をタップしても切り替えることができます。ホーム画面一覧の表示については、「ホーム画面の一覧を表示する」（P.67）をご参照ください。

ホーム画面の一覧を表示する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

❖**お知らせ**

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、［ホーム画面一覧］をタップしても表示することができます。
- ホーム画面一覧の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップします。
- ホーム画面に戻るには、ピンチアウトするか、［⌂］または［↩］をタップします。

ホーム画面に追加する

1 ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示され、ホーム画面を変更できます。

■ 操作を選択

ショートカット	アプリケーションや設定画面などのショートカットを追加します（P.67）。
ウィジェット	ウィジェットを追加します（P.68）。
フォルダ	新しいフォルダを作成します（P.69）。
きせかえ	ホーム画面やアプリケーション画面の背景を変更したり、ウェブサイトからダウンロードして追加します（P.69）。
壁紙	壁紙を変更したり、ウェブサイトからダウンロードして追加します（P.70）。
グループ	アプリケーション画面のグループのショートカットを追加します（P.70）。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧を表示します（P.67）。
壁紙ループ設定	ホーム画面の壁紙の表示をループさせるかどうかを設定します。

ホーム画面にショートカットを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［ショートカット］をタップする

2 追加したいショートカットを選択する

- ショートカットがホーム画面に表示されます。

❖**お知らせ**

- ホーム画面で▦をタップし、追加したいアイコンをロングタッチして［ホームへ追加］をタップしても追加することができます。

ホーム画面にウィジェットを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［ウィジェット］をタップする

- ウィジェットの一覧が表示されます。

Contents Headline	dマーケットにあるおすすめの音楽、動画、電子書籍、アプリ情報を表示します。
docomo Wi-Fiかんたん接続	Wi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。
Eメール	Eメールの受信トレイなどを表示します。
Facebook	友達のコメントを表示します。
Gmail	Gmailの受信トレイなどを表示します。
Google+投稿	Google+の投稿を表示します。
Google検索	Googleの検索ボックスを表示します。
ICタグ・バーコードリーダー	ICタグの読取モードのオン／オフを切り替えることができます。
ｉチャネルウィジェット	ニュースや天気などの最新情報を表示します。
Music Unlimited	Music Unlimitedを表示します。
NFCカンタン起動	Reader/Writer, P2P機能のオン／オフを切り替えることができます。
OfficeSuiteの最近の履歴	最近のOfficeSuiteを使用した履歴を表示します。
Playストア	Google Playのおすすめのアプリケーションを表示します。
TrackID™	TrackIDを表示します。
YouTube	再生回数の多い動画やおすすめの動画などを表示します。
カテゴリナビ	トピックスなどを表示したり、グルメや乗換案内などのカテゴリを選択して情報を検索できます。
カレンダー	カレンダーを表示します。
スクリーンミラーリング	スクリーンミラーリングのオン／オフを切り替えることができます。
スケジュール&メモ	メモやフォトメモをカレンダーに表示します。
スマホなるほどツアーズ	スマホなるほどツアーズを表示します。
ドコモ位置情報	ドコモ位置情報アプリを表示します。
パーソナルエリア	パーソナルエリアを表示します。
ブックマーク	ブラウザのブックマークを表示します。
ブックマーク	Chromeのブックマークを表示します。
マチキャラ	不在着信などの情報を表示したり、しゃべってコンシェルを利用できます。
交通状況	任意のウィジェット名と目的地を入力すると、ホーム画面に現在地から目的地までの所要時間がウィジェットで表示され、タップすると提供されている交通状況を確認できます。
診断ツール	診断ツールを表示します。
赤外線通信	赤外線通信を使って自分の連絡先を送信したり、1件のデータを受信できます。

電話帳	ドコモの提供する電話帳アプリから電話帳を表示します。
電話帳ピックアップメンバー	電話帳の中から3つの連絡先の発着信履歴やメッセージ（SMS）の履歴などを固定／ランダムに表示します。
連絡先	Xperia™の電話帳アプリから連絡先を表示します。

2 項目を選択する

❖**お知らせ**

- Google Playからウィジェットのあるアプリケーションをインストールした場合、インストールしたウィジェットもウィジェット一覧に表示されます。

ホーム画面にフォルダを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［フォルダ］をタップする

- フォルダがホーム画面に追加されます。

■ 名称を変更する

名称を変更したいフォルダをタップする▶名称入力欄をタップし、フォルダ名を入力して［完了］をタップする▶画面上をタップする

■ 項目を追加する

ホーム画面でフォルダに追加したいショートカットをロングタッチする▶任意のフォルダの上にドラッグする

- ショートカットがフォルダの中に移動します。

❖**お知らせ**

- フォルダをロングタッチし、［名称変更］をタップして、フォルダ名を入力し、［OK］をタップしても、名称を変更することができます。

きせかえを変更する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［きせかえ］をタップする

2 左右にフリックし、変更したいきせかえをタップする

❖**お知らせ**

- 変更したいきせかえを選択して［設定する］をタップしても、きせかえを変更できます。
- ホーム画面で をタップし、 をタップして、［きせかえ］をタップしても変更することができます。
- きせかえのコンテンツは、［サイトから探す］をタップして、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。追加したきせかえのコンテンツを削除するには、画像を選択して［削除］▶［削除する］をタップします。

壁紙を変更する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［壁紙］をタップする

2 ［Xperia™の壁紙］／［アルバム］／［ライブ壁紙］をタップする

- ［Xperia™の壁紙］をタップした場合は、壁紙にする画像を選択し、［壁紙を設定］をタップします。
- ［アルバム］をタップした場合は、壁紙にする画像を選択し、ドラッグして壁紙に使用したい画像の範囲にトリミング枠を設定して、［トリミング］をタップすると、壁紙に設定されます。
- ［ライブ壁紙］をタップした場合は、コンテンツを選択し、［壁紙を設定］をタップします。ライブ壁紙のコンテンツは、ウェブサイトからダウンロードして追加することもできます。コンテンツによっては［設定］をタップすると、種類を変更したり、壁紙に表示される内容を変更できるものがあります。

ホーム画面にグループを追加する

1 「操作を選択」メニュー画面で（P.67）、［グループ］をタップする

2 追加したいアプリケーションのグループを選択する

❖お知らせ

- アプリケーション画面（P.72）でグループ名をロングタッチし、［ホームへ追加］をタップしても追加することができます。

ホーム画面を変更する

ホーム画面一覧を表示中に、ホーム画面を追加したり、削除したり、並べ替えできます。

- ホーム画面一覧の表示については、「ホーム画面の一覧を表示する」（P.67）をご参照ください。

ホーム画面を追加する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 ［+］をタップする

❖お知らせ

- お買い上げ時は5つのホーム画面で構成されていて、7つのホーム画面を追加することができます。

ホーム画面を削除する

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 削除したいホーム画面のサムネイルの［×］をタップする

❖お知らせ

- ホーム画面一覧で、削除したいホーム画面のサムネイルをロングタッチし、［削除］をタップしても削除できます。

ホーム画面を並べ替える

1 ホーム画面でピンチインする

- ホーム画面一覧が表示されます。

2 並べ替えたいホーム画面をロングタッチする

3 移動したい場所までドラッグする

ホーム画面のアイコンを移動する

1 ホーム画面で移動したいアイコンをロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- ロングタッチしたままホーム画面の左右にドラッグすると、別のホーム画面へ移動できます。

ホーム画面のアイコンを削除する

1 ホーム画面で削除したいアイコンをロングタッチする

2 ［削除］をタップする

❖お知らせ

- ホーム画面で削除したいアイコンをロングタッチし、画面下部に表示される🗑にドラッグしても削除できます。

ホーム画面のショートカットやウィジェットをアンインストールする

- ホーム画面のショートカットやウィジェットをアンインストールする前に、アプリケーションやウィジェット内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションやウィジェットに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

1 ホーム画面でアンインストールしたいショートカットまたはウィジェットをロングタッチする

2 ［アンインストール］をタップする

- アンインストール画面が表示されます。

3 ［OK］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 設定メニュー画面からもアンインストールできます。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.138）をご参照ください。

アプリケーション画面

アプリケーション画面から本端末に搭載されているアプリケーションにアクセスして、各機能を利用します。

アプリケーション画面の見かた

1　ホーム画面で（アプリケーションボタン）をタップする

- アプリケーション画面が表示されます。

① アプリタブ
- アプリケーション画面を表示します。

② おすすめタブ
- ドコモがおすすめするアプリケーションをインストールできます。

③ オプションメニューアイコン
- 本体設定などのオプションメニューを表示します。

④ グループ名
- タップすると、グループ内アプリケーションを表示／非表示できます。

⑤ アプリケーションアイコン
- 新着アプリケーションには、が表示されます。
- 不在着信や未読メールの件数などが数字で表示されるアイコンがあります。

⑥ グループ内アプリケーションの数

⑦ グループ内アプリケーション
- アプリケーション画面でピンチアウト／ピンチインすると、すべてのグループ内アプリケーションを表示／非表示できます。

❖お知らせ

- アプリケーション画面の操作ガイドが表示されたら、［OK］／［以後表示しない］をタップします。
- アプリケーション画面を閉じるには、 または をタップします。
- ウェブサイトからアプリケーションをダウンロードすると、アプリケーション画面にの付いたアプリケーションアイコンが追加されます。
- アプリケーションアイコンをロングタッチし、［アプリ情報］をタップすると、アプリケーションの情報を確認できます。

アプリケーションの種類

お買い上げ時のアプリケーション画面に表示されるアプリケーションは次のとおりです。

- 一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがあります。

■ ドコモサービス

dメニュー

ｉモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「ｄメニュー」へのショートカットアプリです。→P.169

dマーケット

ｄマーケットを起動するアプリです。ｄマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。→P.169

ｉチャネル

ｉチャネルを利用するためのアプリです。

ｉコンシェル

ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。

しゃべってコンシェル

「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。

ドコモバックアップ

「ケータイデータお預かりサービス」、「電話帳バックアップ」もしくは「SDカードバックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。ドコモバックアップ（microSDカードへ保存）の内容については「ドコモバックアップ」（P.229）をご参照ください。

docomo Wi-Fiかんたん接続

ドコモの公衆無線LANサービス「docomo Wi-Fi」もしくは自宅のWi-Fi環境を便利に利用するためのアプリです。ウィジェットによりWi-Fiエリア内では、ワンタッチでWi-Fiへの接続／切断ができます。

■ 基本機能／設定

電話

ドコモの提供する電話アプリを起動し、電話の発信／着信、通話の切り替えを行います。→P.82

ドコモ電話帳

ドコモの提供する電話帳アプリを起動し、友人や同僚の電話帳を管理します。→P.90

spモードメール
ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。→P.101

災害用キット
緊急速報「エリアメール」の受信メール確認と各種設定、災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。

取扱説明書
本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
※「はじめに」の「SO-01Eの取扱説明書について」をご参照ください。

設定
本端末の各種設定を行います。→P.118

遠隔サポート
「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。

■ エンタメ／便利ツール

カメラ
写真や動画の撮影ができます。→P.187

フォトコレクション
写真・動画の無料ストレージサービスです。クラウド上で顔やシーンを識別して自動でグループ分けすることができます。

ワンセグ
ワンセグを視聴します。→P.178

メディアプレイヤー
音楽や動画を再生することができるアプリです。→P.212

メモ
メモを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。

スケジュール
スケジュールを作成・管理できるアプリです。ｉコンシェルサービスに対応しています。

赤外線
電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。→P.160

ICタグ・バーコードリーダー
ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。

電卓
加算、減算、乗算、除算などの基本的な計算を行います。

アラームと時計
アラームを設定したり、時計を表示します。→P.226

おサイフケータイ
おサイフケータイを利用できます。→P.171

iDアプリ
電子マネー iDを利用するための設定などを行うアプリです。→P.176

カレンダー
カレンダーを表示して、予定の管理をします。→P.224

トルカ
トルカの取得・表示・検索・更新などができます。→P.177

■ Xperia

FMラジオ
FMラジオを利用できます。→P.185

Music Unlimited
いつでも、どこでも世界中の音楽を聴くことができるサービス「Music Unlimited（ミュージックアンリミテッド）」へ接続します。

PlayMemories Online
ソニーの写真・動画クラウドサービスに、写真や動画を簡単にアップロードし、アップロードされた写真や動画を特定の友人と共有できます。

PSMを始めよう
『PS Store』を紹介するサイトを表示します。ゲームをダウンロードして本端末で楽しむことができます。

Timescape™
ソーシャルネットワークサービス（SNS）の履歴を閲覧できます。→P.215

TrackID™
再生している音楽の情報を確認するサービスを利用できます。

Video Unlimited
お気に入りの映像作品を本端末にダウンロードして、どこでも視聴することができるサービス「Video Unlimited（ビデオアンリミテッド）」へ接続します。

WALKMAN
内部ストレージやmicroSDカードに保存した音楽データを再生します。

Xperia Start Up
Google Playにアクセスして、Xperia™をより便利に楽しく使うためのアプリをダウンロードします。

アルバム
撮影した写真や動画、PicasaやFacebookなどにアップした画像を閲覧できます。→P.208

ダイヤル
Xperia™の電話アプリを起動し、電話の発信／着信、通話の切り替えを行います。

ノート
作成したメモやボイスメモを他の端末に送信して情報を共有できます。Evernoteと同期することもできます。

ムービー
Video Unlimitedで本端末にダウンロードした作品や、PCなどから本端末に転送した動画を再生できます。Wi-Fi機能を利用して、DLNA機器の動画を本製品で再生したり、ブルーレイディスクレコーダーで録画した番組などをワイヤレスおでかけ転送して、本端末で再生できます。

電子書籍 Reader by Sony
ソニーのeBookストア「Reader Store」で今話題の書籍や人気コミックなどを好きなときに購入して楽しめます。

連絡先
Xperia™の電話帳アプリを起動し、友人や同僚の連絡先を管理します。

Facebook
Facebookクライアントアプリを起動します。→P.142

OfficeSuite
Office ドキュメントを閲覧、表示できます。→P.231

ファイルコマンダー
静止画、動画、音楽データ、ダウンロードしたファイルなどを簡単に探すことができます。

■ Google

Eメール
Eメール（複数のアカウントを使用可）を送受信します。→P.104

Gmail
Googleアカウントのメールを送受信できます。→P.111

メッセージ
メッセージ（SMS）を送受信します。→P.101

トーク
Google トークを利用してチャットができます。→P.112

ブラウザ
ウェブサイトおよびWAPサイトの閲覧（WMLは除く）や、ファイルのダウンロードができます。→P.114

Chrome
Google Chromeでインターネットに接続します。

検索
キーワードから本端末内やウェブページを対象に検索できます。→P.45

Playストア
Google Playにアクセスして新しいアプリケーションのダウンロード・購入ができます。→P.170

YouTube
世界中の動画を再生したり、録画した動画をアップロードできます。→P.210

Playムービー
Google Playの映画レンタルサービスにアクセスして、鑑賞したい映画作品を選択してレンタルできる動画アプリです。

マップ
現在地の表示、他の場所の検索や経路検索などGoogleマップのサービスを利用できます。→P.221

ナビ
Googleマップナビを表示して、目的地への音声ナビゲーションなどを利用できます。→P.223

ローカル
Googleマップ上に登録された現在地付近のお店など各種情報を利用できます。→P.222

Latitude
地図上で特定の友人と位置の確認や位置情報などを共有できます。→P.223

Google+
Googleが提供するソーシャルネットワークサービス（SNS）のクライアントアプリであるGoogle+を起動します。

メッセンジャー
Google+を利用してグループでチャットができます。

❖お知らせ

- このアプリケーション画面に表示されているものは、お買い上げ時にプリインストールされています。プリインストールされているアプリケーションには、一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P.170）で再度ダウンロードできます。
- ホーム画面でをタップし、「おすすめ」タブ▶［おすすめアプリを見る］をタップすると、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。詳しくは、「「おすすめ」アプリケーションをインストールする」（P.81）をご参照ください。
- アプリケーションによっては、名称が最後まで表示されない場合があります。
- アプリケーションによっては、ダウンロードとインストールが必要になるものがあります。アプリケーションをタップしてもダウンロードできない場合は、ホーム画面でをタップし、［設定］▶［セキュリティ］▶［提供元不明のアプリ］▶［OK］をタップし、チェックを入れてからアプリケーションをダウンロードします。
- 複数のアプリケーションを起動していると、電池の消費量が増えて使用時間が短くなることがあります。このため使用しないアプリケーションは終了することをおすすめします。アプリケーションを終了するには、使用中のアプリケーションの画面でをタップしてホーム画面（P.66）を表示させてください。

アプリケーション画面を変更する

アプリケーション画面で、アプリケーションアイコンをホーム画面に追加したり、並べ替えたり、アプリケーションをアンインストールできます。また、グループの設定を変更することができます。

アプリケーションアイコンをホーム画面に追加する

1 アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2 ［ホームへ追加］をタップする

- ホーム画面にアプリケーションアイコンが追加されます。

❖お知らせ

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、［ショートカット］▶［アプリケーション］をタップして、任意のアプリケーションを選択しても追加することができます。

アプリケーションアイコンを並べ替える

1 アプリケーション画面で、並べ替えたいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- アプリケーションアイコンが移動します。

❖お知らせ

- アプリケーションアイコンを別のアプリケーションのグループに移動するには、アプリケーション画面でアイコンをロングタッチし、［移動］をタップして移動先のグループを選択するか、アプリケーション画面でアイコンをロングタッチし、移動したいグループへドラッグしても移動できます。

アプリケーションをアンインストールする

アプリケーション画面から一部のアプリケーションアイコンを削除できます。

- アンインストールする前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- アプリケーションやウィジェットによっては、アンインストールできない場合があります。

1　アプリケーション画面で、アンインストールしたいアプリケーションアイコンをロングタッチする

2　［アンインストール］をタップする

- アンインストール画面が表示されます。

3　［OK］▶［OK］をタップする

❖**お知らせ**

- 設定メニュー画面からもアンインストールできます。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.138）をご参照ください。

グループのショートカットをホーム画面に追加する

1　アプリケーション画面で、ホーム画面に追加したいグループ名をロングタッチする

2　［ホームへ追加］をタップする

- ホーム画面にグループのショートカットが追加されます。

❖**お知らせ**

- ホーム画面上のアイコンがない部分で画面をロングタッチし、［グループ］をタップして、任意のグループを選択しても追加することができます。

グループ名のラベルの色を変更する

1　アプリケーション画面で、ラベルの色を変更したいグループ名をロングタッチする

2　［ラベル変更］をタップし、変更したいラベルの色を選択する

- グループ名のラベルの色が変更されます。

グループを削除する

1　アプリケーション画面で、削除したいグループ名をロングタッチする

2　［削除］▶［OK］をタップする

- 削除したグループに分類されていたアプリケーションアイコンは「ダウンロードアプリ」グループに移動します。

❖**お知らせ**

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは削除できません。

グループ名を変更する

1 アプリケーション画面で、名称を変更したいグループ名をロングタッチする

2 ［名称変更］をタップする

3 入力ボックスで任意のグループ名を入力し、［OK］をタップする

- グループ名が変更されます。

❖お知らせ

- 「最近使ったアプリ」「ドコモサービス」「ダウンロードアプリ」グループは、グループ名を変更することはできません。

グループを追加する

1 アプリケーション画面で ⋮ をタップし、［グループ追加］をタップする

2 入力ボックスで任意のグループ名を入力し、［OK］をタップする

- 新しくグループが追加されます。

グループを並べ替える

1 アプリケーション画面で、並べ替えたいグループ名をロングタッチする

2 任意の場所までドラッグする

- グループが移動します。

スモールアプリ

最近使用したアプリケーションをサムネイルで一覧表示し、起動できます。また、任意のアプリケーションを使用しながらスモールアプリを利用できます。

1 ［□］をタップする

- 最近使用したアプリケーションのサムネイルや、設定されたスモールアプリが表示されます。

❖お知らせ

- サムネイル表示されたアプリケーションをタップすると起動し、ロングタッチすると「リストから削除」／「アプリ情報」を選択できます。また、サムネイル表示されたアプリケーションを左右にフリックすると一覧から削除できます。
- お買い上げ時はスモールアプリに「電卓」「タイマー」「ノート」「レコーダー」が設定されていますが、＋をタップしてPlayストアからスモールアプリをインストールして設定することができます。

アプリケーションを検索する

本端末にインストールされているアプリケーションを検索し、起動することができます。

1 アプリケーション画面で ⋮ をタップし、［検索］をタップする

- ソフトウェアキーボードが表示されます。

2 **検索するアプリケーション名を入力する**

- 文字の入力に従って、検索結果の候補が表示されます。

3 **検索項目をタップする**

- アプリケーションが起動します。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、現在地情報をGoogleの検索結果やサービスで利用するかどうかの確認画面が表示されますので、利用規約を読んで［OK］をタップします。
- ホーム画面でをタップし、［検索］をタップしてもアプリケーションを検索することができます。詳しくは、「本端末内やウェブページの情報を検索する」（P.45）をご参照ください。

アプリケーション画面の表示を切り替える

アプリケーション画面のアプリケーションアイコンを、リスト形式またはタイル形式で表示します。

1 **アプリケーション画面でをタップし、［リスト形式］／［タイル形式］をタップする**

「おすすめ」アプリケーションをインストールする

アプリケーション画面の「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます（P.72）。

1 **アプリケーション画面で「おすすめ」タブをタップする**

2 **［おすすめアプリを見る］をタップする**

3 **任意のアプリケーションをタップする**

- ダウンロード画面が表示されますので、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- ダウンロードしたアプリケーションは、アプリケーション画面の「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。

ホームアプリの情報を確認する

1 **アプリケーション画面でをタップし、［アプリケーション情報］をタップする**

- ホームアプリの情報が表示されます。

電話をかける／受ける

電話をかける

1 ホーム画面で をタップし、「ダイヤル」タブをタップする

2 電話番号を入力し、 をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、 をタップして消すことができます。

3 通話を終了するときは［通話終了］をタップする

❖お知らせ

- 手順2で、電話番号が未入力の状態で をタップすると、発着信履歴の最新の電話番号が入力されます（不在着信は含まれません）。
- ホーム画面で をタップし、［ダイヤル］をタップすると、Xperia™の電話アプリを起動することができます。

ポーズ（,）を入力する

ご自宅の留守番電話、チケットの予約、銀行の残高照会などのサービスに利用します。

1 ホーム画面で をタップし、「ダイヤル」タブをタップする

2 電話番号を入力し、 をタップし、［2秒間の停止を追加］をタップする

緊急通報

本端末が電波の届く範囲内にあるときは、緊急電話番号の110番（警察）、119番（消防と救急）、118番（海上保安庁）を入力して電話をかけることができます。

1 ホーム画面で をタップし、「ダイヤル」タブをタップする

2 緊急電話番号を入力し、 をタップする

- 電話番号の入力を間違えた場合は、 をタップして消すことができます。

❖注意

- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 画面ロックの解除画面などで［緊急通報］をタップして、緊急通報をかけることができます。ただし、日本国内では、PINコード入力画面、PINコードロック中、PUKロック中には緊急通報110番、119番、118番に発信できません。
- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。
  なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急

通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。接続されないときは、お近くの公衆電話または一般電話からかけてください。

国際電話をかける（WORLD CALL）

WORLD CALLについての詳細は、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

1 **ホーム画面で をタップし、「ダイヤル」タブをタップする**

2 **プラス（+）記号が表示されるまで、数字［0］のキーをロングタッチする**

- 日本から国際電話をかけるときに「+」を国際電話アクセス番号に置き換えて発信しています。

3 **国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力し、 をタップする**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。

電話を受ける

1 着信時に（左）をロングタッチして（右）へドラッグする

2 通話を終了するときは［通話終了］をタップする

❖**お知らせ**

- 画面ロックされている場合もアイコンが表示され、同様の操作で応答できます。

着信音を聞こえないようにする

1 着信時に［◁ ▷］／［⏻］を押す

❖**お知らせ**

- マナーモード（バイブレーション）設定中の着信時に［◁ ▷］／［⏻］を押すと、着信バイブレータの振動を止めることができます。
- ホーム画面で［◁ ▷］の上下を押すと、着信音量を調節できます。

着信を拒否する

1 着信時に（右）をロングタッチして（左）へドラッグする

❖**お知らせ**

- 画面ロックされている場合もアイコンが表示され、同様の操作で拒否することができます。
- 留守番電話サービスを利用中に着信を拒否すると、留守番電話サービスセンターに接続されます。

着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信する

電話に出られない場合などに、着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信することができます。あらかじめ送信するメッセージは登録されており、必要に応じて編集することもできます。

1 着信時に［拒否してメッセージ送信］を上にドラッグする

2 送信したいメッセージをタップする

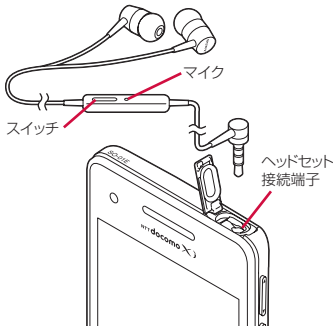
- 発信者にメッセージ（SMS）が送信されます。

❖**お知らせ**

- 留守番電話サービスを利用中は、着信を拒否してメッセージ（SMS）が送信され、留守番電話サービスセンターに接続されます。

- 送信するメッセージを新規作成する場合は、着信時に[拒否してメッセージ送信]を上にドラッグし、[新規メッセージ作成]をタップしてメッセージを作成し、送信します。
メッセージを編集する場合は、あらかじめホーム画面でをタップし、をタップして［通話設定］▶［応答拒否メッセージ］をタップし、既存のメッセージを選択して編集し、［OK］をタップします。

マイク付ステレオヘッドセットで電話をかける／受ける

マイク付ステレオヘッドセット（試供品）を接続した状態で電話をかけたり、受けたりすることができます。

■ 電話をかける

1 マイク付ステレオヘッドセットを接続した状態で電話をかける

- 電話をかける操作は、通常の操作と同様になります（P.82）。

2 通話を終了するときはスイッチを押す

■ 電話を受ける

1 着信時にマイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押す

- 電話がつながり、通話できます。
- 着信時にスイッチを1秒以上押し続けると、着信を拒否することができます。

2 通話を終了するときは再度スイッチを押す

❖お知らせ

- マイクの付いていない一般的なヘッドフォンを使用している場合、本端末の送話口（マイク）を使用して通話する必要があります。
- マイク付ステレオヘッドセットを接続して音楽などを聴いているときに着信した場合、スイッチを押すと一時停止して電話に出ることができます。再生しているアプリケーションによっては、通話が終了すると音楽などが自動的に再開します。
- 通話中、マイク付ステレオヘッドセットの抜き差しを繰り返すと通話が切断される場合があります。

通話中の操作

通話中画面

通話中画面でスピーカーやミュートを設定したり、電話番号を入力して別の相手に電話をかけることができます。

① 通話相手の名前
② 通話相手の電話番号
③ 電話帳に設定された写真
④ 通話時間
⑤ スピーカー：スピーカーフォンのオン／オフを設定
- 相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。
- スピーカーフォンがオンになっているときは、ステータスバーにスピーカーフォンアイコンが表示されます。

⑥ 電話帳：電話帳一覧画面（P.90）を表示
⑦ オプションメニュー：通話中に保留を設定
- 保留の解除は、保留中に［保留解除］をタップします。
- 保留を設定するには、「キャッチホン」の契約が必要です（P.89）。

⑧ ミュート：通話中のマイクの消音のオン／オフを設定
- マイクがオフになっているときは、ステータスバーに消音アイコンが表示されます。

⑨ ダイヤルキー：追加したい電話番号を入力して電話をかける
- 最初の通話は自動的に保留中になります。
- 通話を追加するには、「キャッチホン」の契約が必要です（P.89）。

⑩ 通話終了

❖注意

- 聴力を損わないために、スピーカーフォンがオンになっている状態で本端末を耳に当てないでください。

通話音量を調節する

1 **通話中に［◁ ▷］を押して調節する**

❖お知らせ

- 通話中以外は、通話音量を調節することはできません。

発着信履歴

発着信履歴を表示する

1　ホーム画面で📞をタップし、「発着信履歴」タブをタップする

- 発着信履歴画面が表示されます。

発着信履歴画面

発着信履歴画面には、着信履歴や発信履歴などが時系列で一覧表示されます。

① 全てタブ
② 電話番号／名前
③ 履歴アイコン
　[×←]：不在着信履歴
　[From←]：着信履歴
　[To→]：発信履歴
④ 着信タブ
⑤ 発信タブ
⑥ 発着信ステータスアイコン
　[アイコン]：発信者番号通知
　[アイコン]：発信者番号非通知
- 電話番号の前に「186」（通知）／「184」（非通知）を入力して発信した場合に表示されます。
- 電話番号を入力して⋮をタップし、［発信者番号通知］▶［通知する］／［通知しない］をタップして発信した場合、発着信履歴画面に[アイコン]／[アイコン]は表示されません。

　[声]：声の宅配便発信
- 声の宅配便の詳細は、「声の宅配便」（P.89）およびドコモのホームページをご覧ください。

　[アイコン]：国際電話発着信
⑦ 発着信日時
⑧ 発信
⑨ 電話帳

❖お知らせ

- 発着信履歴画面で⋮をタップし、［通話設定］をタップすると、「ネットワークサービス」や「応答拒否メッセージ」などを設定・編集できます（P.89）。

発着信履歴から電話をかける

1　発着信履歴画面（P.87）で、📞をタップする

発着信履歴の電話番号を電話帳に登録する

1 発着信履歴画面（P.87）で、電話番号をタップし、[電話帳に登録］をタップする

- 電話番号をロングタッチし、［発信前に番号を編集］▶［電話帳に登録］をタップしても登録できます。

2 電話番号を追加する電話帳、または［新規登録］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、［新規登録］をタップすると、設定したアカウントを登録先として選択できます。

3 プロフィール編集画面で情報を入力して［登録完了］をタップする

発着信履歴を削除する

1 発着信履歴画面（P.87）で、⋮をタップする

2 ［全件削除］▶［OK］をタップする

❖**お知らせ**

- 発着信履歴を1件のみ削除する場合は、発着信履歴画面で削除したい発着信履歴をロングタッチし、［通話履歴から削除］▶［OK］をタップします。
- 着信履歴または発信履歴のどちらかを全件削除する場合は、発着信履歴画面で「着信」タブ／「発信」タブをタップし、⋮をタップして、［全件削除］▶［OK］をタップします。

不在着信を表示する

不在着信がある場合は、ステータスバーにが表示されます。

1 ステータスバーを下にドラッグする

2 ［不在着信］をタップする

- 着信履歴が表示されます。

❖**お知らせ**

- 不在着信があると、画面ロック解除画面に不在着信と件数を示すアイコンが表示されます。

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、応答拒否メッセージを編集したりできます。

1 ホーム画面で をタップし、 をタップする

2 ［通話設定］をタップする

ネットワークサービス	**声の宅配便**	お客様に代わって音声メッセージをお預かりするサービスです。
	留守番電話サービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、相手のメッセージをお預かりするサービスです。
	転送でんわサービス	かかってきた電話に応答できなかったときに、電話を転送するサービスです。
	キャッチホン	通話中の電話を保留にして、かかってきた電話に出たり、別の相手に電話をかけることができるサービスです。
	発信者番号通知	電話をかけたときに相手の電話機のディスプレイへお客様の電話番号を通知します。
	迷惑電話ストップサービス	迷惑電話の番号を着信拒否登録します。
	番号通知お願いサービス	電話番号非表示の電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答します。
	通話中着信設定	通話中にかかってきた電話に対してどのように対応するかを設定できます。
	着信通知	電源オフ時や圏外時などの着信ができない場合に、メッセージ（SMS）で着信をお知らせするサービスです。
	英語ガイダンス	音声ガイダンスを英語や日本語に切り替えます。
	遠隔操作設定	留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。
海外設定	P.238	
通話詳細設定	**サブアドレス設定**	電話番号に含まれる「*」をサブアドレスの区切りにするかどうかを設定します。
	プレフィックス設定	電話をかけるときに電話番号の先頭に付加できるプレフィックス番号を登録します。
	登録外着信拒否	電話帳に登録していない電話番号から着信があった場合に、自動的に着信を拒否するかどうかを設定します。
応答拒否メッセージ	着信を拒否してメッセージ（SMS）を送信するときのメッセージを編集・設定します。	
マイクのノイズ抑制	通話中に通話相手が会話の内容を聞き取りやすくなります。	
アカウント	インターネット通話（SIP）アカウントの設定をします。	

通話方法	インターネット通話（SIP）の通話方法を設定します。

電話帳

電話帳では、電話番号、メールアドレス、各種サービスのアカウントなど、連絡先に関するさまざまな情報を入力できます。

電話帳を表示する

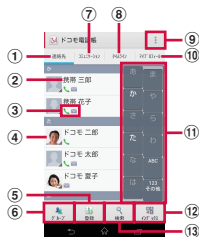
1 **ホーム画面で をタップし、［ドコモ電話帳］をタップする**

- 電話帳一覧画面が表示されます。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、「クラウドの利用について」画面が表示され、［利用する］をタップすると、クラウドの利用を開始できます。電話帳のクラウドサービスには、ドコモの電話帳アプリが必要となります。
- ホーム画面で をタップし、［電話帳］をタップしても電話帳一覧画面が表示されます。
- 「ドコモバックアップ」アプリケーションを利用すると、電話帳のデータをmicroSDカードにバックアップできます。バックアップの方法については、「ドコモバックアップ」（P.229）をご参照ください。
- ホーム画面で をタップし、［連絡先］をタップすると、Xperia™の電話帳アプリを起動することができます。

電話帳一覧画面

電話帳一覧画面では、連絡先の各種情報が表示されます。電話帳に写真を追加したり、グループごとの電話帳を表示したりすることもできます。

① 連絡先タブ
② 電話帳に登録された名前
③ 登録内容
- 登録内容がアイコンで表示されます。

④ 電話帳に設定された写真
⑤ 登録
⑥ グループ
- 表示するグループを選択します。

⑦ コミュニケーションタブ
- 電話発着信、メッセージ（SMS）の送受信、spモードメール、SNSのメッセージの送受信履歴が表示されます。SNSのメッセージは、クラウドを利用開始の上、「マイSNS」機能を利用している場合のみ表示されます。

⑧ タイムラインタブ
- 「フレンドNEWS」機能、および「マイSNS」機能によるSNS・ブログのタイムラインが表示されます。表示するためにはクラウドを利用開始している必要があります。

⑨ オプションメニュー
⑩ マイプロフィールタブ
- 自分の電話番号を確認できます。

⑪ インデックス文字表示域
- インデックス文字をタップすると、インデックス文字に振り分けられている電話帳を表示します。

⑫ インデックス
- インデックス文字を表示し、五十音順、アルファベット順などで検索できます。

⑬ 検索

電話帳を管理する

電話帳を追加する

1 電話帳一覧画面（P.90）で、［登録］をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントを登録先として選択できます。

2 プロフィール編集画面で名前を入力する

3 任意の項目を選択し、入力する

- 電話番号やメールアドレス、グループなどを設定できます。「その他」の ^ をタップし、［追加］をタップして、任意の情報を追加します。

4 ［登録完了］をタップする

❖お知らせ

- 「ふりがな（姓／名)」を登録した場合、電話帳一覧画面には「ふりがな」の五十音順、アルファベット順で表示されます。電話帳登録時に、「姓／名」を漢字で入力し、「ふりがな」を入力しなかった場合は、電話帳一覧画面の「他」欄に表示されます。
- 電話帳の登録件数は、電話帳一覧画面で、⋮ をタップし、［その他］▶［アプリケーション情報］をタップすると確認できます。
- 電話帳登録時に保存先として「docomo」アカウントを選択すると、SNSやブログのアカウントを設定できます。

電話帳のショートカットを利用する

電話帳一覧画面（P.90）で写真（画像）部分をタップすると、電話やメールなどのショートカットが表示され、ショートカットをタップして電話をかけたり、メールを作成して送信したりできます。

	登録した電話番号に電話をかけることができます。
	メッセージ（SMS）を作成して送信できます。
	Eメールアプリを選択し、Eメールを作成して送信できます。 ・「常にこの操作で使用する」にチェックを入れると、次回からアプリケーションの選択画面が表示されません。

※その他、登録した住所から地図を表示するなどの機能を利用することができます。

❖お知らせ

- 電話帳一覧画面で写真（画像）以外の部分をタップすると、ショートカットは表示されず、電話帳のプロフィール画面が表示されます。
- Eメールのショートカットは、選択している電話帳にEメールアドレスが登録されていて、自分のEメールアカウントを設定している場合に表示されます。自分のEメールアカウントを設定していない場合は、Gmailのショートカット（ ）が表示されます。
- 電話帳に名前のみ登録している場合、写真（画像）部分をタップしてもショートカットは表示されません。

電話帳から電話をかける

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、電話をかけたい電話帳をタップする**

2 **プロフィール画面で電話番号をタップする**

3 **［電話をかける］をタップする**

電話帳を検索する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、［検索］をタップする**

2 **検索する名前や読みを入力する**

- 入力した文字で始まる電話帳（姓／名）が表示されます。

電話帳の表示順を変更する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、 をタップし、［その他］▶［連絡先の表示順］をタップする**

2 **［あいうえお順］／［ABC順］／［123順］をタップする**

電話帳の表示条件を変更する

登録している電話帳のうち、電話帳一覧画面に表示させる電話帳を設定することができます。

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、⋮ をタップし、[その他］▶［表示するアカウント］をタップする**

2 **［すべてのアカウントを表示］／［docomo］をタップする**

- Googleアカウントなどを設定している場合は、表示させるアカウントとして選択できます。
- ［カスタマイズ…］をタップして、アカウントの各項目にあるチェックボックスを選択して、電話帳一覧画面の表示をカスタマイズできます。

電話帳をグループごとに表示する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、[グループ］をタップする**

2 **任意のグループをタップする**

- 電話帳登録時に設定したグループごとに電話帳が表示されます。
- グループを非表示にする場合は、［閉じる］をタップします。

電話帳をグループに設定する

電話帳一覧画面から任意のグループに設定することができます。

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、[グループ］をタップする**

2 **グループ設定したい電話帳をロングタッチし、任意のグループの上にドラッグする**

❖お知らせ

- グループ設定を解除したい場合は、解除したい電話帳をロングタッチし、設定していたグループの上にドラッグします。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、アカウントごとにグループが表示され、同じアカウント内でグループを設定／解除することができます。

電話帳のグループを新規作成する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、[グループ］▶［追加］をタップする**

- 「追加」が表示されない場合は、グループ上をフリックすると表示されます。
- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントを追加先として選択できます。

2 グループ追加画面で色、アイコン、グループ名を入力し、[OK]をタップする

- 設定項目は、アカウントの種類により異なります。

❖**お知らせ**

- 新規作成したグループと、お買い上げ時に登録されているグループの「家族」「友人」「会社」は、編集/削除できます。編集する場合は、グループをロングタッチし、[グループ編集]をタップして、編集内容を入力したら[OK]をタップします。削除する場合は、グループをロングタッチし、[グループ削除]▶[OK]をタップします。削除したグループに設定されていた電話帳は、「グループなし」タブに移動します。
- 既存のグループ名と同じ名称のグループは追加できません。

電話帳を編集する

1 電話帳一覧画面(P.90)で、編集する電話帳をタップする

2 プロフィール画面で[編集]をタップする

3 必要な項目を選択し、編集する

- [追加]をタップして電話番号やメールアドレスを設定したり、「その他」のをタップし、[追加]をタップして、任意の情報を追加します。

4 [登録完了]をタップする

電話帳をお気に入り登録する

電話帳にお気に入りのマークを付けることができます。お気に入りリストを使用すると、マークを付けた電話帳にすばやくアクセスできます。

1 電話帳一覧画面(P.90)で、お気に入り登録する電話帳をタップする

2 プロフィール画面でをタップする

- (黄色)になり、お気に入りに登録されます。

❖**お知らせ**

- docomoアカウントやGoogleアカウントなどに保存された電話帳は、お気に入りに登録できます。
- お気に入りに登録した電話帳を表示するには、電話帳一覧画面で[グループ]▶[お気に入り]をタップするか、ホーム画面でをタップし、「お気に入り」タブをタップします。

電話帳に写真を設定する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、写真を設定する電話帳をタップする**

2 **プロフィール画面で［編集］をタップする**

3 **画像の［設定］をタップする**

4 **［写真を撮影］／［画像を選ぶ］をタップする**

- ［写真を撮影］をタップした場合は、「カメラ」／「ピクチャーエフェクト」を選択して写真を撮影します。「ピクチャーエフェクト」での撮影方法については、「ピクチャーエフェクト」（P.204）をご参照ください。
- ［画像を選ぶ］をタップした場合は、「アルバム」／「ファイルコマンダー」を選択して画像を選びます。

5 **表示する画像の範囲を設定して、［トリミング］をタップする**

- ドラッグまたはピンチなどでトリミング枠を調整しながら画像の範囲を設定します。

6 **［登録完了］をタップする**

❖**お知らせ**

- 次の操作でも、電話帳に写真を設定できます。
ホーム画面で をタップし、［アルバム］をタップします。設定したい画像を選択して画面上をタップし、 をタップして、［登録］▶［電話帳の写真］をタップします。登録したい電話帳を選択し、表示する画像の範囲を設定して［トリミング］をタップします。

電話帳に着信音を設定する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、着信音を設定する電話帳をタップする**

2 **プロフィール画面で をタップし、［着信音を設定］をタップする**

3 **着信音を選択し、［完了］をタップする**

❖**お知らせ**

- お買い上げ時に登録されている着信音以外の音を設定する場合は、 をタップして設定できます。
- 保存先のアカウントによっては、電話帳登録時に着信音を設定できます。

電話帳を統合する

複数の電話帳として登録された電話帳を1つに統合させて、まとめることができます。

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、統合する電話帳をタップする**

2 **プロフィール画面で ⋮ をタップし、［統合／分割］をタップする**

- 統合する電話帳候補が表示されます。

3 **統合する電話帳をタップする**

❖お知らせ

- 電話帳の統合を解除するには、電話帳のプロフィール画面で ⋮ をタップし、［統合／分割］▶［分割］をタップします。

電話帳を削除する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、⋮ をタップし、［削除］をタップする**

2 **削除する電話帳にチェックを入れる**

- すべての電話帳を削除するには「全選択」にチェックを入れます。
- ［インデックス］をタップして、電話帳を検索できます。

3 **［削除］▶［OK］をタップする**

❖お知らせ

- 電話帳を1件のみ削除する場合は、電話帳一覧画面で、削除したい電話帳をタップし、⋮ をタップして、［削除］▶［OK］をタップします。

マイプロフィールを確認して情報を編集する

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、「マイプロフィール」タブをタップする**

2 **［編集］をタップする**

3 **マイプロフィール画面で必要な情報を入力する**

- ［追加］をタップして電話番号やメールアドレスを入力し、［設定］をタップしてSNSやブログのアカウントを登録します。「その他」の ^ をタップし、［追加］をタップして、任意の情報を追加します。

4 **［登録完了］をタップする**

❖お知らせ

- マイプロフィールには、複数の電話番号やメールアドレス、SNSやブログのアカウントなどを登録することができます。
- 名刺作成アプリを使って作成した名刺データをマイプロフィールに保存し、名刺データをネットワーク経由で交換することができます。初めて使用するときは、電話帳一覧画面で、「マイプロフィール」タブをタップし、［新規作成］をタップして、表示される画面に従って操作してください。

赤外線通信を使って電話帳を送信する

1 電話帳一覧画面（P.90）で、⋮ をタップし、［その他］▶［赤外線送信］をタップする

- 1件送信する場合は、［1件送信］をタップし、送信したい電話帳を選択して［OK］▶［OK］をタップします。
- 全件送信する場合は、［全件送信］▶［開始する］をタップし、ドコモアプリパスワードを入力して［OK］をタップし、受信側と同じ認証パスワードを入力して［決定］▶［OK］▶［OK］をタップします。

❖お知らせ

- 赤外線通信を利用して電話帳を全件送信する場合は、認証パスワードとドコモアプリパスワードを入力します。認証パスワードとは、送信する前にあらかじめ受信側と取り決めておく4桁の数字です。ドコモアプリパスワードについては、「ドコモアプリパスワード」（P.140）をご参照ください。
- 電話帳を選択してから赤外線通信を利用するには、プロフィール画面で ⋮ をタップし、［赤外線］▶［OK］▶［OK］をタップします。マイプロフィールを送信するには、電話帳一覧画面で、「マイプロフィール」タブをタップし、⋮ をタップして、［赤外線送信］▶［OK］▶［OK］をタップします。名刺データをマイプロフィールに保存している場合は、［赤外線送信］をタップすると、「マイプロフィール（名刺以外）を送信」または「名刺交換（赤外線）」の選択画面が表示されます。
- 「赤外線」アプリを使って、電話帳を送信することもできます。詳細については、「赤外線通信でデータを送信する」（P.161）をご参照ください。

電話帳をBluetooth／Eメール／Gmailで送信する

登録した電話帳やマイプロフィールの情報をBluetooth機能（P.163）やEメールの添付機能などを利用して送信できます。

■ 電話帳を送信する

1 電話帳一覧画面（P.90）で、送信したい電話帳をタップする

2 プロフィール画面で ⋮ をタップし、［共有］をタップする

3 送信方法を選択して、画面の指示に従って操作する

■ マイプロフィールを送信する

1 電話帳一覧画面（P.90）で、「マイプロフィール」タブをタップする

2 ⋮ をタップし、［共有］をタップする

3 送信方法を選択して、画面の指示に従って操作する

❖お知らせ

- Bluetooth機能を利用する場合は、あらかじめBluetooth機能をオンに設定するか（P.163）、手順3で［Bluetooth］▶［ONにする］をタップします。
- Eメールを利用する場合は、あらかじめEメールのアカウントを設定する必要があります（P.104）。

- Eメール／Gmailに添付して送信する場合は、アカウントを設定したメール作成画面から送信します。Gmailのアカウントを設定していない場合は、設定ウィザードが表示され、設定後にメールを作成、送信できます。
- メッセージ（SMS）はご利用いただけません。
- 電話帳に設定している名刺データなど、一部の情報は送信できません。
- 電話帳を全件送信する場合は、「表示している電話帳を共有する」（P.98）をご参照ください。

表示している電話帳を共有する

1 電話帳一覧画面（P.90）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする

2 ［表示可能な電話帳を共有］をタップする

3 送信方法を選択して、画面の指示に従って操作する

- 「常にこの操作で使用する」にチェックを入れると、次回からアプリケーションの選択画面が表示されません。

❖お知らせ

- 電話帳の表示条件（P.93）を設定している場合は、表示設定している電話帳のみ共有されます。
- Bluetooth機能を利用する場合は、あらかじめBluetooth機能をオンに設定するか（P.163）、手順3で［Bluetooth］▶［ONにする］をタップします。
- Eメールを利用する場合は、あらかじめEメールのアカウントを設定する必要があります（P.104）。

- Eメール／Gmailに添付して送信する場合は、アカウントを設定したメール作成画面から送信します。Gmailのアカウントを設定していない場合は、設定ウィザードが表示され、設定後にメールを作成、送信できます。
- メッセージ（SMS）はご利用いただけません。
- 電話帳に設定している名刺データなど、一部の情報は送信できません。

電話帳のエクスポート／インポート

microSDカードやドコモminiUIMカードへ電話帳をエクスポート／インポートすることができます。エクスポートした情報は、別の電話に転送する場合などに役立ちます。

❖お知らせ

- オンラインの同期サービスでも電話帳などを同期することができます。詳細については、「自動同期を設定する」（P.144）をご参照ください。

電話帳をmicroSDカードにエクスポートする

あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.30）。

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする**

2 **［SDカードにエクスポート］をタップする**

3 **［1つの連絡先をエクスポート］／［複数の連絡先をエクスポート］／［すべての連絡先をエクスポート］▶［OK］をタップする**

- ［1つの連絡先をエクスポート］／［複数の連絡先をエクスポート］をタップした場合は、エクスポートしたい連絡先にチェックを入れて［OK］をタップします。

4 **名刺添付の［無し］／［有り］を選択する**

5 **［OK］をタップする**

microSDカードから電話帳をインポートする

あらかじめmicroSDカードを本端末に取り付けておきます（P.30）。

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、⋮をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする**

2 **［SDカードからインポート］をタップする**

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントをインポート先として選択できます。
- vCardファイルが1件しかない場合は、すぐにインポートが開始されます。

3 **［電話帳を1つインポート］／［複数の電話帳をインポート］／［すべての電話帳をインポート］▶［OK］をタップする**

- ［電話帳を1つインポート］／［複数の電話帳をインポート］をタップした場合は、インポートしたいvCardファイルにチェックを入れて［OK］をタップします。
- vCardファイルの中に複数の電話帳が入っている場合は、すべて一度にインポートされます。

❖お知らせ

- 電話帳によっては、データの一部がインポートまたはエクスポートされない場合があります。

ドコモminiUIMカードから電話帳をインポートする

1 **電話帳一覧画面（P.90）で、⋮ をタップし、［その他］▶［インポート／エクスポート］をタップする**

2 **［SIMカードからインポート］をタップする**

- Googleアカウントなどを設定している場合は、設定したアカウントをインポート先として選択できます。

3 **インポートする電話帳をタップする**

- インポートする電話帳をロングタッチし、［インポート］をタップしてもインポートできます。
- すべての電話帳をインポートする場合は、⋮をタップし、［すべてインポート］をタップします。

❖お知らせ

- インポート可能な情報は、名前と電話番号です。
- インポートした際に、同じ名前の電話帳がすでに存在していても、別々の電話帳としてインポートされます。
- 電話帳をドコモminiUIMカードにエクスポートする場合は、Xperia™の「連絡先」アプリケーションをご利用ください。ただし、ドコモminiUIMカードのメモリ容量が限られているため、名前と1つ目の電話番号のみが保存されます。電話帳によっては、データの一部がエクスポートされない場合があります。

spモードメール

ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。
絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1　ホーム画面で をタップする

2　画面を上にフリックして［ダウンロード］をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- 「ドコモバックアップ」アプリケーションを利用すると、spモードメールのデータをmicroSDカードにバックアップできます。バックアップの方法については、「ドコモバックアップ」（P.229）をご参照ください。

メッセージ（SMS）

携帯電話番号を宛先にして、全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）まで、テキストメッセージを送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1　ホーム画面で をタップし、［メッセージ］をタップする

2　（新規作成）をタップする

3　送信相手の電話番号を入力する

- をタップすると連絡先一覧画面が表示され、登録されている連絡先の中から選択できます。画面上部の検索ボックスに名前または電話番号を入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。

4　［メッセージを作成］をタップして、本文を入力する

- をタップし、［テンプレート選択］をタップすると、「テンプレート設定」（P.103）で登録した定型文を選択して入力できます。
- 入力した文字数が制限文字数に近づくと、入力できる残り文字数がテキストボックスの左上に表示されます。

5　［送信］をタップする

❖お知らせ

- テキストの入力については、「文字入力」(P.46)をご参照ください。
- 海外通信事業者のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者について詳しくは、『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご参照ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます(受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください)。

メッセージ(SMS)を受信して読む

1 ホーム画面で をタップし、[メッセージ]をタップする

2 読みたいメッセージ(SMS)の相手先をタップする

- メッセージ(SMS)が表示されます。

❖お知らせ

- メッセージ(SMS)を受信すると、ステータスバーに が表示されます。メッセージ(SMS)を読むには、ステータスバーを下にドラッグし、通知されたメッセージ(SMS)の項目をタップします。
- メッセージ(SMS)本文の / をタップすると (黄色)に変わります。ホーム画面で をタップし、[メッセージ]をタップし、 をタップして[スター付きメッセージ]をタップすると、マークを付けたメッセージ(SMS)にすばやくアクセスできます。

メッセージ(SMS)の電話番号を連絡先に保存する

1 ホーム画面で をタップし、[メッセージ]をタップする

2 保存する電話番号を選択する

3 をタップし、[連絡先に追加]をタップする

4 電話番号を追加する電話帳、または[新規登録]をタップする

- Googleアカウントなどを設定している場合は、[新規登録]をタップすると、設定したアカウントを登録先として選択できます。

5 必要な項目を入力し、[登録完了]をタップする

メッセージ（SMS）を設定する

1 **ホーム画面で をタップし、［メッセージ］をタップする**

2 **をタップし、［設定］をタップする**

配信確認レポート	送信相手がメッセージ（SMS）を受信するたびに、自分の送ったメッセージ（SMS）にチェックをつけるかどうかを設定します。
通知	新着メッセージ（SMS）の通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知音	メッセージ（SMS）を受信した場合の通知音を設定します。
通知バイブレーション※	メッセージ（SMS）を受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
通知ライト	メッセージ（SMS）を受信した場合に通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
SIMメッセージ	ドコモminiUIMカードに保存したメッセージ（SMS）を管理します。
テンプレート設定	テキスト作成時に挿入することができる定型文を登録します。
プッシュ設定	プロバイダから送信されるメッセージ（SMS）を設定します。
SMSセンター番号	SMSセンターの番号を確認します。

※ あらかじめマナーモード（バイブレーション）に設定するか、「着信時バイブレーション」（P.132）にチェックを入れておく必要があります。

メッセージ（SMS）を削除する

1 **ホーム画面で をタップし、［メッセージ］をタップする**

2 **削除するメッセージ（SMS）の相手先を選択する**

3 **削除するメッセージ（SMS）をロングタッチする**

4 **［メッセージを削除］▶［削除］をタップする**

❖お知らせ

- 相手先の複数のメッセージ（SMS）を削除する場合は、手順3で をタップして［メッセージを削除］をタップし、削除したいメッセージ（SMS）にチェックを入れて をタップし、［削除］をタップします。また、相手先のすべてのメッセージ（SMS）を削除する場合は、画面上部の をタップして［すべて選択］をタップし、 をタップして［削除］をタップします。

メッセージ（SMS）を相手先ごとに削除する

1 **ホーム画面で をタップし、［メッセージ］をタップする**

2 **削除する相手先をロングタッチする**

- 削除する相手先にチェックが入ります。画面上部の をタップして［すべて選択］をタップすると、すべての相手先を選択できます。

3 をタップし、[削除]をタップする

❖お知らせ

- 手順2で をタップし、[複数のメッセージを削除]をタップしても、削除する相手先を選択して削除したり、すべてのメッセージ（SMS）を削除することができます。

Eメール

mopera UメールのEメールアカウント、一般のISP（プロバイダ）が提供するPOP3やIMAPに対応したEメールアカウント、Exchange ActiveSyncアカウントなどを設定して、Eメールを送受信できます。

Eメールの初期設定をする

Eメールセットアップウィザードが表示されますので、画面の指示に従って設定します。複数のEメールアカウントを設定することもできます。
mopera Uメールの設定方法については「mopera Uメールを利用する」（P.110）をご参照ください。

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

2 Eメールアドレスとパスワードを入力する

3 [次へ]をタップする

- Eメールを手動で設定する場合は、[手動セットアップ]をタップし、画面に従って設定してください。

4 受信トレイを確認する頻度を設定し、必要な項目にチェックを入れて、[次へ]をタップする

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

5 アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力し、[次へ]をタップする

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、Eメールに表示される名前を設定することはできません。Eメールの初期設定が終わった後、Eメールアカウントの設定の「名前」（P.108）から設定してください。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。

- Eメールアカウントに Exchange ActiveSync アカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去される場合があります。ただし、microSDカード内のデータは消去されません。
- Eメールは、Timescapeには表示されません。

Eメールを作成して送信する

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

2 (作成)をタップする

3 送信相手のEメールアドレスを入力する

- をタップすると連絡先一覧画面が表示され、登録されている連絡先の中から選択できます。画面上部の検索ボックスに名前またはEメールアドレスを入力すると、一致する連絡先がリスト表示されます。
- CcまたはBccを追加する場合は、 をタップして、[Cc／Bccを表示]をタップします。
- 複数のEメールアドレスを文字で直接入力する場合は、カンマ(,)で区切って次のEメールアドレスを入力します。

4 件名や本文を入力する

5 (送信)をタップする

❖お知らせ

- ファイルを添付する場合は、Eメール作成中に をタップし、次の操作でファイルを添付します。

画像を追加	保存した画像ファイルの一覧から選択して添付します。
写真を撮影	カメラを起動して撮影した写真を添付します。
動画を追加	保存した動画ファイルの一覧から選択して添付します。
動画を録画	カメラを起動して撮影した動画を添付します。
サウンドを追加	WALKMAN：保存した音楽ファイルの一覧から選択して添付します。 **音声レコーダー**：音声メッセージを録音して添付します。

- Eメールで添付可能なファイル種別は最大5MBの画像／動画／音楽ファイルとなります。
- Eメール作成中に下書き保存したいときは、必ず宛先、件名、本文のいずれかを入力するか、ファイルを添付してください。入力／添付をしていない場合は、下書き保存されません(署名自動添付のみの場合も下書き保存されません)。
- Eメール作成中に をタップし[下書き保存]をタップすると、作成中のメールを下書き保存できます。また、Eメール作成中に他の画面を表示すると、自動的に下書き保存します。
- Eメールの送受信には、画面に表示される文字や画像以外に通信が必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。
- Eメールは、パソコンからのメールとして扱われます。受信する端末で「PCからの受信拒否」の設定を行っていると、Eメールを受信できません。

Eメールを受信して読む

1 ホーム画面で をタップし、［Eメール］をタップする

- 複数のEメールアカウントを設定している場合は、［受信トレイ］をタップして、受信するEメールアカウントを選択します。

2 受信トレイで をタップし、［更新］をタップする

3 読みたいEメールをタップする

- Eメール本文が表示されます。

❖お知らせ

- 受信したEメールの送信者名は、送信側で設定している名前が表示されます。
- Eメールアカウントの設定（P.108）で「Eメール受信通知」を設定し、「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定している場合、新しいEメールの受信をお知らせする がステータスバーに表示されます。ステータスバーを下にドラッグすると、受信したEメールを確認できます。
- Eメールアカウントの設定（P.108）で「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびに課金が発生する場合があります。
- 受信したEメールのアドレスをタップすると、電話帳に登録したり、すでに登録した電話帳の場合は電話帳の内容を表示したりすることができます。
- 受信トレイやEメール本文の画面で、 をタップすると （黄色）に変わり、マークを付けたEメールが「スター付き」フォルダに追加されます。「スター付き」フォルダは、［受信トレイ］▶［すべてのフォルダを表示］をタップすると表示されます。「スター付き」フォルダを使用すると、マークを付けたEメールにすばやくアクセスできます。Eメール本文の画面に が表示されていない場合は、 をタップすると表示されます。
- 本端末の空き容量が少なくなるとメモリが少ない旨のメッセージが表示され、Eメールの受信ができなくなります。保存しているEメールを削除するなどして本端末の容量を空けてください。

受信トレイの表示を変更する

プレビュー画面をオンに設定して受信トレイで本端末を横向きにすると、Eメール本文のプレビューを表示することができます。横画面表示に切り替えるには、あらかじめ画面の自動回転をオンに設定する必要があります（P.44）。

1 ホーム画面で をタップし、［Eメール］をタップする

2 をタップし、［設定］▶［全般］▶［プレビュー画面］をタップする

3 ［ON（横画面時のみ利用可）］をタップする

❖お知らせ

- 複数のアカウントを登録している場合、いずれかのアカウントで変更するとすべてのアカウントが同じ表示方法に変更されます。

Eメールメッセージの添付ファイルを保存する

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

2 添付ファイル付きのEメールをタップし、 をタップする

- 添付ファイルの一覧が表示されます。

3 保存したいファイルの[保存]をタップする

- 添付ファイルがダウンロードされていない場合は、[読込]をタップします。
- [表示]をタップすると、添付ファイルを表示することができます。

❖お知らせ

- 添付ファイルは内部ストレージに保存されます。

Eメールを返信/転送する

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

2 返信または転送するEメールをタップし、 をタップする

3 [返信]/[全員に返信]/[転送]のいずれかをタップする

- [転送]をタップした場合は、転送先のEメールアドレスを入力します。

4 本文を入力する

5 (送信)をタップする

❖お知らせ

- 受信トレイで返信または転送したいEメールをロングタッチして[返信]/[全員に返信]/[転送]をタップしても、返信または転送することができます。
- Eメールを返信または転送すると、返信または転送元のEメールの内容が引用されます。元のEメールの内容の引用を削除するには、「引用あり」のチェックを外します。
- Eメールを転送すると、元のEメールの添付ファイルが引用されます。添付ファイルの引用を削除するには、 をタップします。

Eメールを削除する

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする

2 削除するEメールをタップする

3 をタップし、[削除]をタップする

❖お知らせ

- 削除するEメールをロングタッチして[削除]▶[削除]をタップしても、Eメールを削除できます。
- 複数のEメールを削除する場合は、受信トレイで をタップして[削除]をタップし、削除したいEメールにチェックを入れて[削除]▶[削除]をタップします。また、すべてのEメールを削除する場合は、[すべて選択]▶[削除]▶[削除]をタップします。

Eメールアカウントの設定を変更する

1 **ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **をタップし、[設定]をタップする**

3 **設定を変更するEメールアカウントをタップする**

アカウント名	アカウント名を変更します。
名前	あなたの名前（差出人名）を変更します。
署名	署名を変更します。
クイック返信	Eメール作成時に挿入することができる定型文を登録します。
優先アカウント	Eメールアカウントが複数設定されている場合、Eメールを作成するときの優先アカウントに設定します。
Eメールの受信確認頻度	新着Eメールの自動確認の有無や自動確認の間隔を設定します。
自動ダウンロード※1	Wi-Fi接続時に添付ファイルを自動的にダウンロードするかどうかを設定します。
Eメール受信通知	新着Eメールの通知をステータスバーに表示するかどうかを設定します。
通知音	Eメールを受信した場合の通知音を設定します。
バイブレーション※2	Eメールを受信した場合に振動でお知らせするかどうかを設定します。
通知ライト	Eメールを受信した場合に通知LEDでお知らせするかどうかを設定します。
受信サーバー設定	受信メールサーバーを設定します。
送信サーバー設定	送信メールサーバーを設定します。
アカウントの削除	Eメールアカウントを削除します。

※1 Gmailのメールアカウント（@gmail.com）を設定した場合に表示されます。
※2 あらかじめマナーモード（バイブレーション）に設定するか、「着信時バイブレーション」（P.132）にチェックを入れておく必要があります。

❖お知らせ

- 設定できる項目は、アカウントの種類により異なります。
- Exchange ActiveSyncアカウントでは、「外出中の自動返信設定」「同期するEメールの期間」「連絡先を同期」「カレンダーを同期」も設定できます。また、「送信サーバー設定」は設定できません。
- 「Eメールの受信確認頻度」を「手動」以外に設定すると、従量制データ通信をご利用の場合は、新着Eメールを確認するたびに課金が発生する場合があります。
- 手順3で［全般］をタップすると、「Eメール」アプリケーション全体の設定を変更できます。

別のEメールアカウントを設定する

1 **ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **をタップし、[設定]▶[アカウントを追加]をタップする**

3 **Eメールアドレスとパスワードを入力する**

- 必要に応じて、「いつもこのアカウントでEメールを送信」にチェックを入れます。

4 **[次へ]をタップする**

- Eメールを手動で設定する場合は、[手動セットアップ]をタップし、画面に従って設定してください。

5 **受信トレイを確認する頻度を設定し、必要な項目にチェックを入れて、[次へ]をタップする**

- アカウントのタイプを選択する画面が表示された場合は、設定するEメールアカウントの種類をタップし、画面の指示に従って設定してください。

6 **アカウントの名前と送信Eメールに表示される名前を入力し、[次へ]をタップする**

- 設定したEメールアカウントの受信トレイが表示されます。
- Exchange ActiveSyncアカウントを設定する場合、Eメールに表示される名前を設定することはできません。Eメールの初期設定が終わった後、Eメールアカウントの設定の「名前」(P.108)から設定してください。

❖お知らせ

- 設定を手動で入力する必要がある場合は、Eメールサービスプロバイダまたはシステム管理者に、正しいEメールアカウント設定を問い合わせてください。
- EメールアカウントにExchange ActiveSyncアカウントを設定した場合、サーバー管理者がリモートワイプを設定していると、本端末内のデータが消去される場合があります。ただし、microSDカード内のデータは消去されません。
- [受信トレイ]をタップすると、設定したアカウントの一覧が表示されます。[全アカウント]をタップすると、すべてのアカウントの受信トレイが統合して表示されます。
- Eメールは、Timescapeには表示されません。

Eメールアカウントを削除する

1 **ホーム画面で をタップし、[Eメール]をタップする**

2 **をタップし、[設定]をタップする**

3 **削除するアカウントをタップする**

4 **[アカウントの削除]▶[OK]をタップする**

mopera Uメールを利用する

mopera Uをご利用いただいているお客様は、mopera Uメールのご利用が可能です。mopera Uの設定方法については「mopera Uを設定する」（P.130）をご参照ください。

mopera UメールはPOPメール、IMAPメール両方の利用が可能です。メールBOXは50MB利用可能です。ウェブメールでも利用が可能です。

■ POPメールの場合

1 ホーム画面で をタップし、[Eメール] をタップする

- すでにEメールアカウントを設定している場合は、 をタップし、[設定] ▶ [アカウントを追加] をタップします。

2 mopera Uメールアドレスとmopera Uのパスワードを入力し、[手動セットアップ] ／ [次へ] をタップする

- [次へ] をタップした場合は、自動的にPOP3アカウントとなるので、手順4へ進みます。

3 メールアカウントのタイプから [POP3] をタップする

4 mopera Uの「ユーザー名」、「パスワード」を正しく入力し、POP3サーバーには「mail.mopera.net」を入力して、入力内容を確認する

- 手順2で [次へ] をタップした場合は、POP3サーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。

5 セキュリティの種類を選択する

- セキュリティを設定しない場合は、「なし」を選択します。

6 入力内容を確認して、[次へ] をタップする

7 SMTPサーバーには「mail.mopera.net」を入力し、mopera Uの「ユーザー名」、「パスワード」の入力内容を確認する

- 手順2で [次へ] をタップした場合、mopera Uの「ユーザー名」「パスワード」の入力内容を確認するには、「ログインが必要」にチェックを入れておく必要があります。
- 手順2で [次へ] をタップした場合は、SMTPサーバー欄に「mail.mopera.net」が入力されています。また、ポート欄は「587」に設定してください。

8 [次へ] をタップする

9 アカウントの設定画面で、受信トレイを確認する頻度などを設定し、[次へ]をタップする

10 アカウント設定画面で、送信メールに表示される名前を入力し、[次へ]をタップする

- メーラーが表示され、設定したメールが利用可能になります。

❖お知らせ

- SMTPサーバーの設定画面で「ログインが必要」にチェックを入れていない場合は、メールを送信することができないため、「ログインが必要」にチェックを入れておく必要があります。

Gmail

Googleアカウントをお持ちの場合は、本端末でGmailを使用してEメールの送受信を利用できます。Googleアカウントをお持ちでない場合は、「Googleアカウントを設定する」（P.141）をご参照ください。

❖お知らせ

- Gmailは、Timescapeには表示されません。

Gmailを更新する

1 ホーム画面で をタップし、[Gmail]をタップする

2 受信トレイで をタップする

- 本端末の「Gmail」アプリケーションとGmailアカウントを同期させ、受信トレイを更新します。

Googleトーク（チャット）

Googleトークを使用してチャットをすることができます。Googleトークを使用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳細については、「Googleアカウントを設定する」（P.141）をご参照ください。

Googleトークにログインする

すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で をタップし、［トーク］をタップする

2 ［既存のアカウント］をタップし、ユーザー名とパスワードを入力する

3 ［ログイン］をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- Googleトークについて詳しくは、Googleトークの画面で をタップし、［ヘルプ］をタップしてご参照ください。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 音声電話中
  - 圏外時
  - 電源オフ時
  - 国際ローミング中
  - 機内モード中
  - ソフトウェア更新中
  - 他社のSIMカードをご利用時
  - メッセージ（SMS）送受信中
- テザリング設定中およびパケット通信を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

内容通知画面が表示され、ブザー音／専用着信音とバイブレーションでお知らせします。

1 エリアメールを自動的に受信する

2 エリアメールを受信すると、専用の着信音が鳴り通知LEDが点滅する

- 着信音および着信音量は変更することはできません。
- 通知LEDは画面のバックライト消灯中にのみ点滅します。

3 エリアメールの本文が自動で表示される

受信したエリアメールを後で閲覧する

1 ホーム画面で をタップし、［災害用キット］をタップする

- 初めて使用するときは、「ご利用にあたって」画面が表示されます。［同意して利用する］をタップすると、利用を開始できます。

2 ［緊急速報「エリアメール」］をタップする

3 エリアメール一覧から、任意のエリアメールを選択する

- エリアメールの本文を閲覧することができます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で をタップし、［災害用キット］をタップする

2 ［緊急速報「エリアメール」］をタップする

3 をタップし、［設定］をタップする

受信設定	エリアメールを受信するかどうかを設定します。
着信音	エリアメール受信時の鳴動時間と、マナーモード中でも専用の着信音を鳴らすかどうかを設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信画面と着信音を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外で利用するエリアメールの受信登録／削除の設定をします。

❖お知らせ

- ドコモminiUIMカードを挿入していないとエリアメールを設定することはできません。

ウェブブラウザ

ウェブブラウザを利用して、パソコンと同じようにウェブページを閲覧できます。
本端末では、パケット通信またはWi-Fiによる接続でウェブブラウザを利用できます。

ブラウザを開く

1 ホーム画面で をタップする
- ブラウザ画面が表示されます。

ウェブページを表示する

ウェブページを移動する

1 ブラウザ画面で画面上部のウェブページのアドレス入力欄をタップする
- ウェブページのアドレス入力欄が表示されていない場合は、画面を下にフリックすると表示されます。

2 ウェブページのアドレスまたは検索する語句を入力する
- アドレスや文字の入力に従って、一致するウェブページの候補が表示されます。

3 表示された候補の一覧またはソフトウェアキーボードの［確定］▶［実行］をタップする
- ウェブページに移動します。

❖**お知らせ**
- 手順2で をタップすると、音声で検索する語句を入力し、ウェブページを検索できます。

前のページに戻る

1 をタップする

新しいタブを追加する

複数のタブを開き、ウェブページの閲覧ができます。

1 ブラウザ画面で をタップし、 をタップする
- 新しいタブが開き、設定されているホームページを表示します。

タブを切り替える

1 ブラウザ画面で をタップし、表示したいタブをタップする

タブを閉じる

1 ブラウザ画面で をタップし、閉じるタブの をタップする
- タブを左右にフリックしても閉じることができます。

ウェブページを拡大／縮小する

ウェブページを拡大／縮小するには、次のいずれかの操作を行ってください。

- 画面上の拡大／縮小したい場所でダブルタップ
- 画面上の拡大したい場所でピンチアウト、縮小したい場所でピンチイン

❖お知らせ

- 画面にフィットするように作られたウェブページは拡大／縮小できません。

ウェブページでテキストを検索する

1　ブラウザ画面で をタップし、[ページ内を検索］をタップする

- 画面上部に検索バーが表示されます。

2　検索する語句を入力する

- 文字を入力すると、一致する文字が強調して表示されます。

前の一致項目に戻る	
次の一致項目に進む	

3　検索バーを閉じるには、 をタップする

ウェブページでテキストをコピーする

1　ブラウザ画面でコピーしたいテキストをロングタッチする

- リンクが設定されたテキストは、ロングタッチして［テキストを選択してコピー］をタップします。

2　 または をドラッグしてコピーするテキストの範囲を選択する

- 選択されたテキストは青色でハイライト表示されます。

3　（コピー）をタップする

- 「テキストをクリップボードにコピーしました。」と表示されます。

4　貼り付け先の入力欄をロングタッチし、［貼り付け］をタップする

❖お知らせ

- ウェブページでは、文字を選択できない場合があります。

ブラウザを設定する

1　ブラウザ画面で をタップし、［設定］をタップして、ブラウザの設定項目を選択する

ホームページを設定する

新しいタブを開いたときに表示されるホームページを設定できます。

1 ブラウザ画面で ⋮ をタップし、[設定]▶[全般]をタップする

2 [ホームページを設定]をタップし、ホームページの設定項目を選択する

リンクを操作する

1 リンクを操作するウェブページを開く

2 リンクをタップする

- 選択すると、リンクは青色でハイライト表示されます。
- リンクをロングタッチすると、「開く」「新しいタブで開く」「リンクを保存」「URLをコピー」「テキストを選択してコピー」のメニューが表示されます。画像または画像を含むリンクをロングタッチすると、「画像を保存」「画像を表示」「壁紙として設定」も表示されます。
- ブラウザでは一部の電話番号が認識されるため、電話番号に発信できます。電話番号への発信を行うには、電話番号をタップします。
- Basic認証またはSSL通信を必要とするウェブサイトから「リンクを保存」でファイルをダウンロードする際、ダウンロードできない場合があります。

ブックマークと履歴を管理する

本端末では、履歴の確認や多数のブックマークの保存を行えます。

ウェブページをブックマークする

1 ブラウザ画面でブックマークするウェブページを表示する

2 ⋮ をタップし、[ブックマークに保存]をタップする

3 ラベルなどの項目を設定し、[OK]をタップする

- 次の設定ができます。

ラベル	ブックマークに表示する名前を設定します。
アドレス	ブックマークに保存するURLを設定します。
アカウント	Googleアカウントなどを設定している場合は、ブックマークの保存先として選択できます。
追加先	ホーム画面にブックマークのショートカットを追加したり、フォルダを作成したりすることができます。

ブックマークを開く

1 ブラウザ画面で ⋮ をタップし、［ブックマーク］をタップする

2 開くブックマークをタップする

- ブックマークをロングタッチすると、ブックマークの編集や削除などができます。

履歴を確認する

1 ブラウザ画面で ⋮ をタップし、［ブックマーク］▶「履歴」タブをタップする

2 ［今日］、［昨日］など閲覧した時期をタップする

- よく閲覧するウェブページを確認するには、［よく見るサイト］をタップします。
- ウェブページを開くには、履歴をタップします。

❖お知らせ

- ブラウザ画面で ⮌ をロングタッチしても、履歴を確認することができます。

履歴を削除する

1 ブラウザ画面で ⋮ をタップし、［ブックマーク］▶「履歴」タブをタップする

2 閲覧した時期をタップして削除する履歴をロングタッチし、［履歴から削除］をタップする

❖お知らせ

- 履歴をすべて削除するには、ブラウザ画面で ⋮ をタップし、［設定］▶［プライバシーとセキュリティ］▶［履歴削除］▶［OK］をタップします。
- キャッシュなどの一時インターネットファイルを消去するには、ブラウザ画面で ⋮ をタップし、［設定］▶［プライバシーとセキュリティ］をタップして、各項目を設定してください。

設定メニューを表示する

1 ホーム画面で をタップし、[設定]をタップする

■ 設定メニュー

無線とネットワーク	P.118
端末	P.131
ユーザー設定	P.140
システム	P.153

❖お知らせ

- ホーム画面で をタップし、 をタップして、[本体設定] をタップするか、ステータスバーを下にドラッグして、 をタップしても設定メニューを表示できます。

無線とネットワーク

Wi-Fi、Bluetooth機能など、各種ネットワークに関する設定をします。

Wi-Fi		P.119
Bluetooth		P.122、P.163
データ使用		P.123
その他の設定	機内モード	P.124
	VPN	P.125
	テザリング	P.126
	メディアサーバー設定	P.167
	NFC／おサイフケータイ 設定	P.171
	Wi-Fi Direct	P.128
	Wi-Fi Direct設定	P.128
	エリア連動Wi-Fi	P.128
	モバイルネットワーク	P.128、P.236

Wi-Fi

Wi-Fi機能を利用して、自宅や社内ネットワーク、公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続して、メールやインターネットを利用できます。

- Wi-Fiがオンのときでもパケット通信を利用できます。ただしWi-Fiネットワーク接続中は、Wi-Fiが優先されます。
- Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE/WCDMA/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。切り替わったままご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がございますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときは、オフにすることで電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiを使用する前に

Wi-Fiを使用するには、Wi-Fiをオンにしてから利用可能なWi-Fiネットワークを検索して接続します。

- Wi-Fiを使用してインターネットへ接続する場合、事前にWi-Fiネットワークへの接続を行ってください。

❖お知らせ

- Wi-Fiを使用するときには十分な電波強度が得られるようご注意ください。Wi-Fiネットワークの電波強度は、お使いの本端末の位置によって異なります。Wi-Fiルーターの近くに移動すれば、電波強度が改善されることがあります。

■ Bluetooth機器との電波干渉について

Bluetooth機器と無線LAN（IEEE802.11b/g/n）は同一周波数（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近くで使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。また、ストリーミングデータ再生時などで通信が途切れたり音声が乱れることがあります。この場合、次の対策を行ってください。

- 本端末やワイヤレス接続するBluetooth機器は、無線LANと10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、ワイヤレス接続するBluetooth機器の電源を切ってください。

Wi-Fiをオンにする

1 設定メニュー画面で（P.118）、Wi-Fiの をタップまたは右にドラッグする

❖お知らせ

- Wi-Fi接続がオンになるまで、数秒かかる場合があります。
- ステータスバーを下にドラッグして、をタップしてもWi-Fiをオンにできます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 設定メニュー画面で（P.118）、[Wi-Fi]をタップする

- 利用可能なオープンネットワーク、またはセキュリティで保護されたWi-Fiネットワークが表示されます。

2 接続したいWi-Fiネットワークを選択する

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続する場合は、Wi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が必要になります。

❖お知らせ

- 次回接続時は、本体にセキュリティキーが記録されています。
- アクセスポイントを選択して接続するときに誤ったパスワード（セキュリティキー）を入力した場合、下記のいずれかが表示されます。
  - 保存済み、WEPで保護
  - インターネット接続不良により無効※
  - 認証に問題
  - 接続が制限されています

  ※[接続]をタップしてからメッセージが表示されるまでに5分以上かかる場合があります。

  パスワード（セキュリティキー）をご確認ください。

  なお、正しいパスワード（セキュリティキー）を入力しても上記いずれかのメッセージが表示される場合は、正しいIPアドレスを取得できていないことがあります。電波状況をご確認の上、接続し直してください。
- WPS対応機器でWi-Fiネットワークに接続する場合は、設定メニュー画面で（P.118）、[Wi-Fi]▶[自動設定（WPS）]をタップし、画面の指示に従って操作します。
- ドコモサービスをWi-Fi経由で利用する場合は「Wi-Fiオプションパスワード」の設定が必要です。ホーム画面で▶[設定]▶[ドコモサービス]▶[ドコモアプリWi-Fi利用設定]▶[Wi-Fiオプションパスワード]をタップして設定します。

■ ステータスバーに表示されるWi-Fiネットワーク状態表示アイコン

Wi-Fiネットワークの接続状態によって、ステータスバーに次のアイコンが表示されます。

	Wi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	Wi-Fiネットワークで通信すると表示されます。
	Auto IP機能を使ってWi-Fiネットワークに接続すると表示されます。
	オープンネットワークを検出すると表示されます。※

※Wi-Fiネットワークに接続していない状態で、あらかじめWi-Fiネットワークの通知をオンにしておく必要があります（P.121）。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする**

2 **現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする**

3 **［切断］をタップする**

Wi-Fiネットワークのステータス

Wi-Fiネットワークに接続している場合、または近くにWi-Fiネットワークが存在する場合、これらのWi-Fiネットワークのステータスを表示できます。また、セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出した場合は、通知するように設定することもできます。

Wi-Fiネットワークの通知をオンにする

1 **Wi-Fiがオンになっていることを確認し、設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする**

2 **⋮をタップし、［詳細設定］をタップする**

3 **「ネットワークの通知」にチェックを入れる**

Wi-Fiネットワークを手動でスキャンする

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする**

2 **［スキャン］をタップする**

- Wi-Fiネットワークのスキャンが開始されます。

3 **一覧にあるWi-Fiネットワークをタップし、ネットワークに接続する**

Wi-Fiネットワークを手動で追加する

あらかじめWi-Fi設定をオンにしておく必要があります（P.119）。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする**

2 **⋮タップし、［ネットワークを追加］をタップする**

3 **追加するWi-FiネットワークのネットワークSSIDを入力する**

4 **「セキュリティ」の設定項目をタップし、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティタイプをタップする**

- 「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類が表示されます。

5 必要に応じて、追加するWi-Fiネットワークのセキュリティ情報を入力する

6 ［保存］をタップする

接続中のWi-Fiネットワーク情報を確認する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする

2 現在接続中のWi-Fiネットワークをタップする

- ネットワーク情報の詳細が表示されます。

❖お知らせ

- 手順2で ⁝ をタップし、［詳細設定］をタップすると、Auto IP機能のオン／オフを切り替えたり、「MACアドレス」および「IPアドレス」を確認できます。

Wi-Fiのスリープ設定

Wi-Fiのスリープ設定を変更することで、画面のバックライトが消灯したときに本体のWi-Fi機能がオフになるように設定できます。また、Wi-Fi機能を常にオンにするか、あるいは充電時には常にオンにするように設定することもできます。

❖お知らせ

- Wi-Fiネットワークが切断された場合は、自動的にLTE/WCDMA/GSMネットワークモードでの接続に切り替わります。

Wi-Fiのスリープ設定を追加する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［Wi-Fi］をタップする

2 ⁝ をタップする

3 ［詳細設定］をタップする

4 ［スリープ時のWi-Fi接続］をタップする

5 ［使用する］／［充電時にのみ使用する］／［使用しない（モバイルデータ使用量増加）］のいずれかをタップする

Bluetooth

Bluetooth機能を利用して、Bluetoothデバイスにワイヤレス接続できます。Bluetooth通信について詳しくは、「Bluetooth機能を利用する」（P.163）をご参照ください。

データ使用

データ通信を有効／無効に設定したり、データ使用量の上限を設定できます。

❖お知らせ

- アプリケーションごとの通信量を確認することができ、アプリケーションによっては設定を表示できる場合もあります。

データ通信を有効にする

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする**

2 **モバイルデータの をタップまたは右にドラッグする**

3 **注意文を読んで［はい］をタップする**

❖お知らせ

- ステータスバーを下にドラッグして、をタップしてもデータ通信を有効に設定できます。

データ使用量の上限を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする**

2 **［モバイルデータの制限を設定］をタップし、注意文を読んで［OK］をタップする**

- 「モバイルデータの制限を設定」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- データ使用量が指定の上限に達した場合は、データ通信が無効となります。ご注意ください。
- データ使用量の上限の設定値と、警告用の設定値は、グラフ内のそれぞれのバーの右端を上下にドラッグして変更します。

データの測定期間を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする**

2 **「データ使用周期」の設定項目をタップし、設定されている期間／［データ使用周期を変更］をタップする**

- ［データ使用周期を変更］をタップした場合は、毎月のリセット日を選択して［設定］をタップします。

データローミングを許可する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする

2　⋮をタップし、［データローミング］をタップして、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「データローミング」にチェックが入ります。

バックグラウンドデータを制限する

あらかじめ「モバイルデータの制限を設定」にチェックを入れておく必要があります（P.123）。

1　設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする

2　⋮をタップし、［バックグラウンドデータ制限］をタップして、注意文を読んで［OK］をタップする

- 「バックグラウンドデータ制限」にチェックが入ります。

Wi-Fiの使用状況を表示する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［データ使用］をタップする

2　⋮をタップし、「Wi-Fiの使用状況を表示」にチェックを入れる

- 「Wi-Fi」タブが表示され、タップするとWi-Fiの使用状況を確認できます。

機内モード

電話、インターネット接続（メールの送受信含む）など、電波を発する機能をすべて無効にします。電話やメールの着信などを気にしないで本端末を操作したいときに便利です。

機内モードをオンにする

1　設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］をタップする

2　「機内モード」にチェックを入れる

- 「機内モード」のチェックを外すと、機内モードはオフになります。

❖**お知らせ**

- ⓘを1秒以上押して、ポップアップ画面の［機内モード］をタップするか、ステータスバーを下にドラッグして、✈／✈をタップしてもオン／オフを切り替えることができます。
- 機内モードがオンの場合でもWi-FiやBluetooth機能、Reader/Writer, P2P機能をオンにすることができます。航空機内や病院など電波の使用を禁止された区域ではWi-Fi、Bluetooth機能、Reader/Writer, P2P機能を使用しないよう注意してください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。

本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。詳しくは、次のホームページをご覧ください。

http://www.sonymobile.co.jp/support/

❖**お知らせ**

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPはご利用いただけません。

VPNを追加する

あらかじめ画面ロックの解除方法を設定しておく必要があります。詳しくは「画面ロックの解除方法を設定する」（P.149）をご参照ください。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［VPN］をタップする**

2 **［VPNネットワークの追加］をタップする**

3 **編集画面が表示されたら、ネットワーク管理者の指示に従い、VPN設定の各項目を入力／設定する**

4 **［保存］をタップする**

❖**お知らせ**

- 追加したVPNは編集／削除できます。
  編集するには、変更したいVPNをロングタッチし、［ネットワークの編集］をタップします。必要に応じてVPNの設定を変更し、［保存］をタップします。削除するには、削除したいVPNをロングタッチし、［ネットワークを削除］をタップします。

VPNに接続する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［VPN］をタップする**

2 **接続するVPNをタップする**

3 **必要な認証情報を入力し、［接続］をタップする**

- VPNに接続すると、接続中を示す🔑がステータスバーに表示されます。切断すると、VPN設定画面に戻るための通知が表示され、再接続できます。

VPNを切断する

1. **ステータスバーを下にドラッグする**
2. **VPN接続中を示す通知をタップする**
3. **［切断］をタップする**

テザリング機能を利用する

テザリングとは、スマートフォンなどのモバイル機器をモデムとして使い、USB対応機器や、無線LAN対応機器をインターネットに接続させることです。

❖お知らせ

- ご利用の料金プランにより、テザリング利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスへのご加入を強くおすすめします。
- ご利用時の料金など詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.nttdocomo.co.jp/
- ドコモminiUIMカード未挿入時やデータ通信を無効にしている場合、または圏外の場合、USBテザリングやWi-Fiテザリングは利用できません。
- テザリングについて詳しくは、設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［テザリング］▶［ヘルプ］をタップしてヘルプをご覧ください。

USBテザリングを設定する

本端末をmicroUSB接続ケーブル 01（別売品）などでUSB対応のパソコンと接続し、モデムとして利用することで、パソコンをインターネットに接続することができます。

1. **設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする**
2. **本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する（P.35）**
   - 初めてmicroUSB接続ケーブルを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionソフトウェアのインストール確認画面が表示された場合は［スキップ］をタップします。
3. **［USBテザリング］をタップする**
4. **「注意事項の詳細」の内容を確認し、［OK］をタップする**
   - 「USBテザリング」にチェックが入ります。

❖**お知らせ**

- USBテザリングに必要なパソコンの動作環境（OS）は以下のとおりです。
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP※
  - Linux

  ※ Microsoft Windows XPはPC Companionのインストールが必要です。

Wi-Fiテザリングを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする**

2 **［Wi-Fiテザリング］をタップする**

3 **「注意事項の詳細」の内容を確認し、［OK］をタップする**

- 「Wi-Fiテザリング」にチェックが入ります。

❖**お知らせ**

- Wi-Fiネットワークに接続しているときに、Wi-Fiテザリングを開始するとWi-Fi接続は切断されますが、Wi-Fiテザリングを終了すると自動的に接続されます。また、Wi-Fi機能を利用してDLNA機器と本端末を接続しているときも、Wi-Fiテザリングを開始すると自動的に切断／接続されます。
- USBテザリングとWi-Fiテザリングは同時に利用できます。
- ステータスバーを下にドラッグして、をタップしてもWi-Fiテザリングを設定できます。

ポータブルWi-Fiアクセスポイントを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに10台まで同時に接続することができます。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［テザリング］をタップする**

2 **［Wi-Fiテザリング設定］をタップする**

3 **設定するWi-FiアクセスポイントのネットワークSSIDを入力する**

- お買い上げ時には「Xperia AX_XXXX」が設定されています。

4 **「セキュリティ」の設定項目をタップし、設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティタイプをタップする**

- 「なし」「WPA2 PSK」が表示されます。

5 **必要に応じて、設定するWi-Fiアクセスポイントのセキュリティ情報を入力する**

6 **［保存］をタップする**

❖**お知らせ**

- お買い上げ時にはパスワードがランダムに設定されていますが、任意のパスワードに変更することもできます。

Wi-Fi Direct機能をオンにする

アクセスポイントを設定しなくても、Wi-Fi Direct機能に対応したデバイス間で直接Wi-Fi接続ができます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［Wi-Fi Direct］をタップする

- Wi-Fi設定がオンになっている場合は注意文が表示されます。注意文を読んで［OK］をタップします。
- 「Wi-Fi Direct」にチェックが入ります。

Wi-Fi Direct対応機器を利用する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［Wi-Fi Direct設定］をタップする

2 ［検索］をタップする

- 検出されたWi-Fi Direct対応機器名が一覧表示されます。

3 接続するWi-Fi Direct対応機器名を選択し、［接続］をタップする

❖**お知らせ**

- Wi-Fi Direct機能を利用するには、Wi-Fi Direct機能に対応したアプリケーションが必要です。対応するアプリケーションをインストールすることで利用可能となります。

エリア連動Wi-Fi機能を利用する

登録された場所付近でのみWi-Fiに接続し、電池消費を抑えることができます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［エリア連動Wi-Fi］をタップする

2 エリア連動Wi-Fiの をタップまたは右にドラッグする

- Wi-Fiネットワークが未登録の場合は、［Wi-Fiを設定］をタップしてWi-Fiに接続します（P.120）。

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）は、あらかじめ登録されており、必要に応じて追加、変更することもできます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモード（P.130）が設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

- 利用可能なアクセスポイント（APN）が表示されます。

- 表示されるアクセスポイント（APN）は編集せずにそのままお使いいただくことをおすすめします。

❖**お知らせ**
- 使用できる接続が複数ある場合は、右側のラジオボタンにチェックの付いたものが、現在使用されているネットワーク接続を示します。

アクセスポイントを追加で設定する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［アクセスポイント名］をタップする

2 ⋮をタップする

3 ［新しいAPN］をタップする

4 ［名前］をタップし、任意の名前を入力して［OK］をタップする

5 ［APN］をタップし、アクセスポイント名を入力して［OK］をタップする

6 通信事業者によって要求されているその他すべての情報をタップして入力する

7 ⋮をタップし、［保存］をタップする

❖**お知らせ**
- APN設定の際に、MCC/MNCをデフォルト設定値（440/10）以外に変更すると、APN画面上に表示されなくなりますので、変更しないでください。APN画面上に表示されなくなった場合には、⋮をタップし、「初期設定にリセット」または「新しいAPN」から再度APNの設定を行ってください。
- POBox Touch（日本語）の設定画面で「自動スペース入力」（P.61）にチェックを入れて、半角英字（英語モード）にて予測変換を利用する際は、確定時に自動的にスペースが入力される場合があります。手動でスペースを削除してください。

アクセスポイント切替抑止機能を利用する

アクセスポイントが自動的に切り替わらないよう設定します。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］をタップする

2 「アクセスポイント切替抑止」にチェックを入れる

❖**お知らせ**
- お買い上げ時は有効に設定されています。無効に設定するとアクセスポイントが自動的に切り替わり、お客様の意図しない課金が発生する場合がありますのでご注意ください。
- お客様ご自身でアプリケーションをインストールした場合、一部のアプリケーションでは本設定が有効の場合に正常に動作しない可能性があります。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 設定メニュー画面で（P.118）、[その他の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]をタップする

2 ⋮をタップし、[初期設定にリセット]をタップする

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、ｉモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申し込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTTドコモのISPです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1 設定メニュー画面で（P.118）、[その他の設定]▶[モバイルネットワーク]▶[アクセスポイント名]をタップする

2 「mopera U」／「mopera U設定」のラジオボタンにチェックを入れる

- ホーム画面に戻ってブラウザを開くと、インターネットへの快適なアクセスを楽しめます。

❖お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントのご利用は、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

端末

通話設定

ネットワークサービスを設定したり、利用可能なネットワークを検索したりできます。通話設定について詳しくは、「通話設定」（P.89）をご参照ください。

音設定

着信音や操作音、バイブレータなどを設定します。

Clear Phase™	内蔵スピーカーに適した音質に設定します。
xLOUD™	オーディオ再生レベル強調技術（"xLOUD"）を設定すると、WALKMAN、YouTube、アルバムなどの再生時に、内蔵スピーカーで迫力のあるサウンドを楽しめます。
音量	P.131
マナーモード	P.132
着信音	P.132
通知音	P.132
着信時バイブレーション	P.132
ダイヤルパッド操作音	P.133
タッチ操作音	P.133
画面ロック解除時の音	画面ロックの解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
操作時バイブレーション	特定のソフトキー操作など一部の操作時に、本端末を振動させるかどうかを設定します。

各種音量を調節する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、[音設定] ▶ [音量] をタップする**

- 次の項目の音量を調節します。
  - 音楽、動画、ゲーム、その他のメディア
  - 着信音と通知音
  - アラーム

2 **スライダを左右にドラッグする**

- 音量を下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 **[OK] をタップする**

❖**お知らせ**

- 音設定でアラームの音量を設定していても、「アラームと時計」アプリケーションで設定している「アラームの音量」（P.226）が優先されます。

着信音の音量を音量キーで調節する

1　ホーム画面で［◁　▷］の上下を押す

- 音量の調節バーが表示され、音を大きくまたは小さくできます。

❖お知らせ

- 着信時に［◁　▷］または［⏻］を押すと、着信音を消音にすることができます。

マナーモードを設定する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［音設定］▶［マナーモード］をタップする

2　［OFF］／［バイブレーション］／［ミュート］のいずれかをタップする

❖お知らせ

- ［⏻］を1秒以上押して、ポップアップ画面の／／をタップするか、ステータスバーを下にドラッグして、／／をタップしても、ミュート（着信音0）、バイブレーション、OFF（マナーモード解除）を切り替えることができます。
- 本端末ではマナーモードに設定中でも、シャッター音、動画再生、音楽再生、アラームなどの音声、通話中のダイヤルパッド操作音や［通話終了］をタップしたときの音は消音されません。また、音量設定（P.131）の「着信音と通知音」の音量を調節したり、［◁　▷］の上を押して音量を上げたりすると、マナーモードは解除されますのでご注意ください。

着信音を設定する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［音設定］▶［着信音］をタップする

2　着信音を選択し、［完了］をタップする

❖お知らせ

- Media Go（P.160）から転送したり、インターネットからダウンロードした「.wav」「.m4a」または他の形式の音声ファイルを着信音として設定できます。
- お買い上げ時に登録されている着信音以外の音を設定する場合は、をタップします。

通知音を設定する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［音設定］▶［通知音］をタップする

2　通知音を選択し、［完了］をタップする

❖お知らせ

- お買い上げ時に登録されている通知音以外の音を設定する場合は、をタップします。

着信時のバイブレーションを設定する

1　設定メニュー画面で（P.118）、［音設定］をタップし、「着信時バイブレーション」にチェックを入れる

- 着信中に着信音と着信バイブレータが鳴動します。

タッチ操作時の音をオンにする

1 設定メニュー画面で（P.118）、［音設定］をタップする

2 「ダイヤルパッド操作音」、「タッチ操作音」にチェックを入れる

- チェックを外すと、タップしたときに操作音が鳴らないようになります。

❖お知らせ

- 「ダイヤルパッド操作音」はダイヤルパッドを操作したときの音です。「タッチ操作音」はメニューを選択したときの音です。
- ソフトウェアキーボードのキー操作音の設定は、「文字入力の設定」（P.58）から設定します。

画面設定

画面の明るさや表示方法などを設定します。

モバイルブラビアエンジン2	色鮮やかで美しい写真や動画を表示するために、画質改善処理（モバイルブラビアエンジン2）を設定します。コントラストや色合いなどが調節されます。※
画面の明るさ	P.133
壁紙	P.70
画面の自動回転	P.44
スリープ	P.134
フォントサイズ	フォントサイズを設定します。
テーマ	ホーム画面や設定メニュー画面などの背景を設定します。
ロック画面	P.134

※ モバイルブラビアエンジン2を設定すると、Xperia™のアプリを利用した場合に画質改善処理を行います。

画面の明るさを調節する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［画面設定］▶［画面の明るさ］をタップする

2 スライダを左右にドラッグする

- 画面の明るさを下げるにはスライダを左にドラッグ、上げるにはスライダを右にドラッグします。

3 ［OK］をタップする

❖お知らせ

- 「明るさを自動調整」にチェックを入れると、手動で設定した明るさを基準に、周囲の明るさに応じて自動で明るさを調整します。
- ステータスバーを下にドラッグして、をタップすると画面の明るさを最大値に設定できます。

画面のバックライトが消灯するまでの時間を設定する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［画面設定］▶［スリープ］をタップする

2 画面のバックライトが消灯するまでの時間を選択する

❖お知らせ

- 画面のバックライトをすぐ消灯するには、を押します。

画面ロック解除画面に表示される情報を設定する

画面ロック解除画面（P.37）に表示する通知情報を設定します。

❖お知らせ

- 通知情報を表示するには、あらかじめ優先アプリ設定（P.66）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定し、画面ロックの解除方法（P.149）を「スライド／タッチ」に設定する必要があります。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［画面設定］▶［ロック画面］をタップする

■ 通知情報を表示する

「不在着信」／「新着spモードメール」／「新着メッセージ」／「新着Eメール」／「カレンダーの予定」にチェックを入れる

- お買い上げ時は「不在着信」「新着spモードメール」「新着メッセージ」にチェックが入っています。
- Facebookにログインし、「Xperia™用Facebook」（P.143）を設定すると、「Facebookのお知らせ」が表示され、チェックを入れると、画面ロック解除画面にFacebookの新着メッセージの通知情報が表示されます（「友達リクエスト」や「イベント招待」などの通知情報は表示されません）。

■ 通知情報を詳細に表示しない

「プライバシー」にチェックを入れる

- 通知情報と件数を表示し、相手の情報やメッセージの内容などは表示されません。

■ アプリケーションのショートカットを変更する

［アプリケーションショートカット］▶［新規ショートカットを追加］／［連絡先］／［メッセージ］／［検索］をタップし、変更したいアプリケーションを選択する

- お買い上げ時は「連絡先」「メッセージ」「検索」が設定されています。

■ 壁紙を変更する

［壁紙］▶［Xperia™の壁紙］／［アルバム］をタップする

- 設定方法について詳しくは「壁紙を変更する」の手順2（P.70）をご参照ください。

ストレージ

本体メモリ、内部ストレージ、microSDカード、USBストレージの容量を確認できます。また、内部ストレージ、microSDカード、USBストレージ内のデータを削除して初期化できます。
USBストレージとは、市販のリーダライタケーブルを使って本端末に接続されたmicroSDカードなどの外部記録媒体のことです。

本体メモリー	
合計容量	本体メモリのアプリの容量や空き容量などを確認します。
内部ストレージ	
合計容量	内部ストレージのアプリ、画像・動画、オーディオ（音楽・着信音など）、ダウンロード、その他、空き容量などを確認します。
内部ストレージ内データ削除	P.136
SDカード	
合計容量	microSDカードの空き容量などを確認します。
SDカードのマウント解除※	microSDカードの認識を解除して、microSDカードを安全に取り外します。
SDカードをマウント※	microSDカードを認識させます。
SDカード内データを消去	P.136

外部USBストレージ	
合計容量	USBストレージの空き容量などを確認します。
USBストレージのマウント解除※	USBストレージの認識を解除して、USBストレージを安全に取り外します。
USBストレージをマウント※	USBストレージを認識させます。
USBストレージ内データ削除	P.136

※ microSDカードやUSBストレージの認識状態によって表示が変わります。

❖お知らせ

- 内部ストレージの空き容量が32KB以下になると、microSDカードをマウントできなくなるのでご注意ください。

本端末の内部ストレージをフォーマットする

1 設定メニュー画面で（P.118）、［ストレージ］をタップする

2 ［内部ストレージ内データ削除］▶［内部ストレージデータ削除］をタップする

- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

3 ［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、本端末の内部ストレージの内容がすべて消去されますのでご注意ください。
- フォーマット中は、削除中である旨のメッセージが表示され、電話を受けることができません。

microSDカードをフォーマットする

1 設定メニュー画面で（P.118）、［ストレージ］をタップする

2 ［SDカード内データを消去］▶［SDカード内データ削除］をタップする

- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

3 ［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、microSDカードの内容がすべて消去されますのでご注意ください。

USBストレージをフォーマットする

あらかじめ、microSDカードなどの外部記録媒体を挿入した市販のリーダライタケーブルを、本端末に接続しておきます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［ストレージ］をタップする

2 ［USBストレージ内データ削除］▶［削除］をタップする

- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

3 ［すべて削除］をタップする

❖お知らせ

- フォーマットを行うと、USBストレージ（microSDカードなどの外部記録媒体）の内容がすべて消去されますのでご注意ください。

端末内部の空き容量を増やす

端末内部の空き容量が少ない場合、次の操作を行うことで空き容量を増やすことができます。

- ブラウザで、すべての一時インターネットファイルとブラウザ履歴情報をクリアします。詳しくは、「履歴を削除する」（P.117）をご参照ください。
- 使用しないアプリケーションをアンインストールします。詳しくは、「インストールされたアプリケーションを削除する」（P.138）をご参照ください。

電源管理

電池の使用量を確認したり、省電力モードの設定をします。

電池	電池使用量、電池残量などを表示します。
省電力モード	電池の消費を抑えるための設定をします。

アプリ

インストールされたアプリケーションの管理や削除、メモリの使用状況などを表示したり、設定を変更したりできます。

本端末のアプリケーションに許可されている動作を表示する

各アプリケーションの操作に伴い、本端末内のネットワーク通信機能や位置情報機能など、アクセスが許可されている機能が確認できます。

1. **設定メニュー画面で（P.118）、[アプリ] をタップする**
2. **表示したいアプリケーションをタップする**
3. **画面を上にフリックして許可されている動作を表示する**
   - すべての許可されている動作が表示されていない場合は、[すべて表示] をタップします。

アプリケーションを強制停止する

アプリケーションが応答しないというポップアップウィンドウが表示された場合に、アプリケーションを強制停止することができます。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、[アプリ]をタップする**

2 **強制停止するアプリケーションをタップする**

3 **[強制停止]をタップする**

4 **注意文を読んで[OK]をタップする**

❖お知らせ

- アプリケーションを強制停止したくないときには、[キャンセル]をタップしてアプリケーションの応答を待ってください。

アプリケーションのすべてのデータを削除する

- インストールされたアプリケーションのすべてのデータを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、[アプリ]をタップする**

2 **データを削除したいアプリケーションをタップする**

3 **[データを削除]をタップする**

4 **注意文を読んで[OK]をタップする**

インストールされたアプリケーションを削除する

- インストールされたアプリケーションを削除する前に、アプリケーション内に保存されているデータも含めて、そのアプリケーションに関連する保存しておきたいコンテンツをすべてバックアップしておいてください。
- いくつかのアプリケーションは削除できません。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、[アプリ]をタップする**

2 **削除したいアプリケーションをタップする**

3 **[アンインストール]をタップする**

4 **[OK]をタップする**

5 **アンインストールが完了したら[OK]をタップする**

❖お知らせ

- 本端末にプリインストールされているアプリケーションは、アンインストールできない場合があります。アンインストールできないアプリケーションは無効化（P.139）することが可能です。
- Playストアから入手したアプリケーションは、Google Play画面から削除（P.171）することをおすすめします。
- アプリケーション画面でもアプリケーションを削除することができます。詳しくは、「アプリケーションをアンインストールする」（P.78）をご参照ください。

アプリケーションを無効化する

アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスを無効化することができます。無効化したアプリケーションはアプリケーション画面に表示されず、実行もされなくなりますが、アンインストールはされません。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［アプリ］をタップする

2 「すべて」タブをタップする

3 無効化したいアプリケーションをタップする

4 ［無効にする］をタップする

5 注意文を読んで［OK］をタップする

- 再度有効化するには［有効にする］をタップします。

❖お知らせ

- アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合があります。再度有効化することで正しく動作します。

アプリケーションのキャッシュを削除する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［アプリ］をタップする

2 キャッシュを削除したいアプリケーションをタップする

3 ［キャッシュを削除］をタップする

アプリケーションの起動時の設定を削除する

アプリケーションの起動時の設定を削除し、初期状態に戻すことができます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［アプリ］をタップする

2 設定を削除したいアプリケーションをタップする

3 ［設定を削除］をタップする

Xperia™

本端末内の優先アプリを設定できます。また、本端末のFacebookの同期機能を設定したり、パソコンや他の機器にUSB経由やWi-Fi経由で接続したときの設定をします。

PlayStation Certifiedについて	PlayStationの商標を確認します。
Xperia™用Facebook	P.143
スクリーンミラーリング※1	スクリーンミラーリングに対応したテレビ※2に接続し、本端末の画面を表示します。
スマートコネクト	マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホンを接続したとき、またはACアダプタで充電接続したときなどに、自動的にアプリケーションが起動するように設定できます。また、アプリケーションの起動時や停止時の動作を設定することもできます。
優先アプリ設定	P.66
接続設定	P.156

※1 著作権保護されたデータは表示できません。
※2 HDCPに対応した機器のみ接続可能です。

ユーザー設定

ドコモサービス

ドコモが提供するアプリケーションのパスワードを設定したり、オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。

アプリケーション管理	定期的にアプリケーションの更新を確認するための設定をします。
ドコモアプリWi-Fi利用設定	Wi-Fi接続時にドコモアプリを利用するための設定をします。
ドコモアプリパスワード	ドコモが提供するアプリケーションのパスワードを設定します。ドコモアプリパスワードの初期値は「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS対応のサービスを利用するための設定をします。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ、イマドコかんたんサーチ、ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定をします。
docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiや自宅Wi-Fiを利用するための設定をします。
データ量確認アプリ	データ量確認アプリの集計間隔や、計測の開始／停止などを設定します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

アカウントと同期

オンラインサービスのアカウント管理（追加または削除）や、オンラインサービス上の連絡先やメッセージなどの情報を本端末と同期させる設定をします。

Googleアカウントを設定する

Googleアカウントを本端末に設定し、Gmail、Google トーク、Googleカレンダー、Google PlayなどのGoogleサービスを利用できます。
なお、本端末には複数のGoogleアカウントを設定することができます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Google］をタップする

2 登録ウィザードの説明に従ってGoogleアカウントを設定する

- Googleアカウントを持っていない場合は、アカウントを作成してください。
- すでにGoogleアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

❖お知らせ

- Googleアカウントを設定しない場合でも本端末をお使いいただくことはできますが、Google トーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスがご利用になれません。
- ログインするためにはGoogleアカウントおよびパスワードが必要です。
- ログインすると、「バックアップと復元」の画面が表示される場合があります。Googleアカウントを使用して、アプリケーションやブックマークの設定などをバックアップするには、「Googleアカウントでこの端末を常にバックアップする」にチェックを入れて、［次へ］をタップします。
- 「アカウントと同期」の画面に表示されるGoogleアカウントをタップして、次の項目からそれぞれのデータを手動で同期することができます。

Gmailを同期	Googleアカウントで利用しているEメールの送受信履歴を本端末のGmailに同期します。
Google Play ムービーを同期	Google Playのムービーに同期します。
Googleフォトを同期※	ウェブアルバムのGoogleフォトを本端末のアルバムに同期します。
カレンダーを同期	Googleアカウントに登録されている予定などのカレンダー情報を本端末のカレンダーに同期します。
ブラウザを同期	Googleアカウントに保存されたブックマークなどのブラウザの設定を本端末のウェブ機能に同期します。
連絡先を同期	Gmailに登録されている連絡先を本端末の電話帳に同期します。

※ Googleアカウントで利用しているPicasaのウェブアルバムや、Google+でアップロードしたウェブアルバムに多数の写真が含まれている場合は、同期中に多くの電力を消費したり、データ通信量が増加する場合があります。

- 設定したGoogleアカウントでGoogle+をご利用の場合は、「Google+を同期」が表示され、タップして同期させると本端末のアルバムにインスタントアップロードされた写真が表示されます。
- Googleアカウントでログインする前に、データ接続可能な状態であることを確認してください。データ接続状態を知るには、「ステータスアイコン」（P.39）をご参照ください。

Facebookアカウントを設定する

Facebookアカウントの登録・ログインを行うと、オンラインサービス上の「友達」が公開しているプロフィール情報を電話帳に表示させることができます。また、Timescapeにも「友達」の更新情報が表示できるようになります。

❖お知らせ

- Facebookアカウントをまだお持ちでない場合は、次のホームページからもアカウントを作成することができます。
  http://www.facebook.com
- Twitter、mixiのクライアントアプリをダウンロード・インストールすると、Facebook同様にアカウントの設定や連絡先情報の同期ができます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、[アカウントと同期] ▶ [アカウントを追加] ▶ [Facebook] をタップする

- すでにFacebookアカウントを持っていて、本端末で電話帳やTimescapeなどからアカウント設定している場合は、追加する必要はありません。

2 画面の指示に従ってログイン情報などを設定する

- Facebookアカウントを持っていない場合は、アカウントを登録してください。
- すでにFacebookアカウントを持っている場合は、ログインしてください。

■ Xperia™用Facebookを設定する

Facebookのアカウントを設定すると、ステータスバーに[icon]が表示されます。ステータスバーを下にドラッグして、「Xperia™用Facebook」を設定すると、本端末のアプリケーションの機能と同期できます。

1 ステータスバーを下にドラッグし、［Xperia™用Facebook］をタップする

2 ［Xperia™用Facebook］をタップし、注意文を読んで［同意］▶［完了］をタップする

- 「Xperia™用Facebook」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- 「Xperia™用Facebook」の設定は、設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］▶［Xperia™用Facebook］をタップしても設定できます。
- 「アカウントと同期」の画面に表示される「Xperia™ with Facebook」アカウントをタップすると、次の設定ができます。

アプリケーション管理設定	本端末と同期するFacebookに関連したアプリの設定をします。各機能にチェックを入れると本端末のアプリケーションとFacebookが同期します。
カレンダーを同期	Facebookに登録されている友達の誕生日などのイベントを本端末のカレンダーに同期します。
友達の音楽を同期	友達がFacebookで「いいね！」を指定した音楽を本端末のWALKMANに同期します。
連絡先を同期	Facebookに登録されている友達のプロフィールを本端末の電話帳に同期します。

その他のアカウントを設定する

Googleアカウント（P.141）やFacebookアカウント（P.142）のほかに、docomoアカウント、Evernote、Eメール、コーポレート（Exchange ActiveSync）を設定できます。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］▶［アカウントを追加］をタップする

2 アカウントの種類をタップし、画面の指示に従って操作する

❖お知らせ

- docomoアカウントは、ドコモが提供する「ドコモバックアップ」アプリケーション（P.229）を利用する際に使用します。お買い上げ時から設定されています。

アカウントを削除する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］をタップし、削除したいアカウントを選択する**

2 **⋮をタップし、［アカウントを削除］▶［アカウントを削除］をタップする**

❖**お知らせ**

- 最初に登録したGoogleアカウントは、バックアップアカウントとして登録されています。バックアップアカウントを削除すると、ステータスバーに注意メッセージが表示されます。
- docomoアカウントは削除できません。

自動同期を設定する

本端末にオンラインサービス上の情報を同期することができます。本端末およびパソコンのどちらからでも情報を表示、編集できます。

同期するには、あらかじめ本端末にオンラインサービスのアカウント（Googleアカウントやfacebookアカウントなど）を設定する必要があります。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］をタップする**

2 **[OFF]をタップまたは右にドラッグする**

3 **注意文を読んで［OK］をタップする**

4 **アカウントを設定したオンラインサービスをタップする**

5 **自動同期する同期項目をタップしてチェックを入れる**

- 同期する項目にチェックが入っていてチェックボックスの前に⟳が表示されている場合は、同期が始まります。⟳が1つも表示されていない場合は、⋮をタップし、［今すぐ同期］をタップして同期を開始できます。

❖**注意**

- [OFF]をタップまたは右にドラッグすると、GoogleアカウントでのGmail、カレンダー、連絡先などのデータ、およびオンラインサービスで設定した「友達」などが公開しているプロフィールの情報などを自動的に同期することを許可します。これらの通信は、パケット通信料がかかる場合がありますのでご注意ください。
- [OFF]（自動同期が無効）の場合は、手動で同期できます。設定メニュー画面で（P.118）、［アカウントと同期］をタップし、アカウントを設定したオンラインサービスをタップして同期項目を表示させ、同期させたい項目をタップします。

同期を中止する

1 **同期中に⋮をタップする**

2 **［同期をキャンセル］をタップする**

位置情報サービス

位置情報サービスについて許可するかどうかを設定します。

Google位置情報サービス	P.220
GPS機能	P.220
位置情報とGoogle検索	Google検索の結果などを使用して、Googleが位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

セキュリティに関する設定をします。

画面のロック	P.148
顔認識の精度を改善※1	フェイスアンロックの精度を改善します。
パターンを表示する※1	パターン入力時にパターンを表示するかどうかを設定します。
自動ロック※1	画面消灯してから自動でロックがかかるまでの時間を設定します。
電源キーですぐにロック※1	[⏻]を押して画面ロックをするかどうかを設定します。
タッチ操作時のバイブ※1	ロック解除操作時に、バイブレータを振動させるかどうかを設定します。
所有者情報	画面ロック解除画面に表示されるテキストを設定します。
端末の暗号化※2	電源を入れるたびにPINコードまたはパスワードを入力して、本端末を復号化します。
SIMカードロック設定	P.147
パスワードを表示する	パスワードの入力画面で、「・」が表示される前に入力した文字を表示するかどうかを設定します。
端末管理機能	デバイス管理者を有効にするかどうかを設定します。
提供元不明のアプリ	P.151
信頼できる認証情報	安全な証明書とその他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可します。※3
内部ストレージからインストール	暗号化された証明書を内部ストレージからインストールします。
認証ストレージのデータ削除	認証情報ストレージ※4からすべての証明書や認証情報を削除します。

※1「画面のロック」の設定により表示される項目は異なります。
※2 暗号化を解除するには、本端末をリセット（P.153）し、お買い上げ時の状態に戻す必要があります。
※3 あらかじめ認証情報ストレージのパスワードを設定しておいてください。
※4 認証情報ストレージに証明書や認証情報を保管します。

ドコモminiUIMカードの保護

本端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要なものがあります。本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などがあります。用途ごとに上手に使い分けて、本端末を活用してください。

■ 各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、契約者ご本人であることが確認できる書類（運転免許証など）とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、裏表紙の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomoID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なおdメニューからは、ホーム画面で［dメニュー］をタップし、［お客様サポートへ］▶［各種お申込・お手続き］からお客様ご自身で変更ができます。
※「My docomo」「お客様サポート」については、裏表紙の裏面をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。

PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号（コード）です。PINコードを入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。

- 新しく本端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになるときは、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード（PUKコード）」（P.147）でロックを解除してください。

PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

SIMカードロックを設定する

ドコモminiUIMカードにPIN（暗証番号）を設定し、電源を入れたときにPINコードを入力することで、不正使用から保護できます。

1　設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIMカードをロック］をタップする

2　PINコードを入力して、［OK］をタップする

- 「SIMカードをロック」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- SIMカードのロックを解除するには、同様の操作で解除できます。

電源を入れたときにPINコードを入力する

1 **PINコードの入力画面で、PINコードを入力する**

2 **［OK］をタップする**

PINコードを変更する

- SIMカードロックを設定しているときのみ変更できます。

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］▶［SIMカードロック設定］▶［SIM PINの変更］をタップする**

2 **現在のPINコードを入力して、［OK］をタップする**

3 **新しいPINコードを入力して、［OK］をタップする**

4 **もう一度新しいPINコードを入力して、［OK］をタップする**

PINロックを解除する

1 **［PUKコード］欄をタップし、PINロック解除コードを入力する**

2 **［新しいPINコード］欄をタップし、新しいPINコードを入力して、［OK］をタップする**

3 **もう一度新しいPINコードを入力して、［OK］をタップする**

画面ロック

本端末の電源を入れたり、スリープモードから復帰したりするたびに画面ロック解除が必要になることで、データを保護できます。
画面ロックの設定には、「スライド／タッチ」「フェイスアンロック」「パターン」「PIN」「パスワード」の5種類があります（P.149）。

画面ロックの解除方法を設定する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］▶［画面のロック］をタップする

2 ［スライド／タッチ］／［フェイスアンロック］／［パターン］／［PIN］／［パスワード］をタップする

- ［フェイスアンロック］をタップした場合は、画面の指示に従って、顔認証を設定します。顔認証による画面ロック解除ができない場合の解除方法として、「パターン」または「PIN」を選択して設定する必要があります。
- ［パターン］をタップした場合は、画面の指示に従って、ロック解除パターンを入力します。
  パターンを忘れた場合の秘密の質問および答えを設定してください。
- ［PIN］をタップした場合は、画面の指示に従って、4〜16桁の数字を入力します。この「PIN」は、ドコモminiUIMカードに設定されるPINコード（P.147）とは別のものです。
- ［パスワード］をタップした場合は、画面の指示に従って、アルファベットを含む4〜16桁の文字を入力します。

画面ロックの解除方法を変更する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］▶［画面のロック］をタップする

2 現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力する

3 新しく設定する解除方法を選択する

- 設定方法は「画面ロックの解除方法を設定する」の手順2（P.149）をご参照ください。

画面ロックをかける

画面ロックの解除方法を設定（P.149）した後に、スリープモード、または［⏻］を押すと、画面ロックがかかります。

画面ロックを解除する

1 ［⏻］を押してバックライトを点灯する

2 画面のロック解除方法を入力する

- 設定されている画面ロックの解除方法（スライドまたはタップ／顔認証／パターン／PIN／パスワード）を入力します。

ロック解除方法を忘れた場合

■「パターン」を設定している場合

画面ロック解除パターンを5回続けて間違えると、「パターンが違います」と表示されます。

- ［次へ］をタップし、ロック解除パターンを設定したときの秘密の質問に答えて［ロック解除］をタップすると、画面ロックを解除できます。
- Googleアカウントを設定している場合は、「パターンが違います」画面で［次へ］をタップすると、「質問に回答」「Googleアカウント情報を入力」が表示されます。
  - 「質問に回答」にチェックを入れて［次へ］をタップし、秘密の質問に答えて［ロック解除］をタップすると、画面ロックを解除できます。
  - 「Googleアカウント情報を入力」にチェックを入れて［次へ］をタップし、Googleアカウントとパスワードを入力して、［ログイン］をタップすると、画面ロックを解除できます。
- 画面ロックを解除した後に新しくロック解除パターンを設定する場合は、「画面のロックが解除されました」と表示されたら［はい］をタップして、ロック解除パターンを設定し直してください。

❖お知らせ

- ［やり直す］をタップすると、30秒後にパターンの入力を再試行できます。
- ［やり直す］▶［パターンを忘れた場合］をタップすると、［次へ］をタップした後の画面が表示されます。
- 複数のGoogleアカウントを設定している場合、そのいずれかのGoogleアカウントとパスワードを入力して画面ロックを解除できます。

■「PIN」／「パスワード」を設定している場合

ドコモショップにお問い合わせください。

画面ロックがかからないようにする

一度設定した画面ロックをかからない設定に戻します。

1　設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］▶［画面のロック］をタップする

2　現在のロック解除パターン／PIN／パスワードを入力する

3　［設定しない］をタップする

提供元不明のアプリケーションのダウンロードを許可する

提供元不明のアプリケーションをダウンロードする前に、本体の設定でダウンロードを許可する必要があります。
ダウンロードするアプリケーションは発行元が不明な場合もあります。お使いの本端末と個人データを保護するため、Google Playなどの信頼できる発行元からのアプリケーションのみダウンロードしてください。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［セキュリティ］をタップする

2 ［提供元不明のアプリ］をタップする

3 注意文を読んで［OK］をタップする

- 「提供元不明のアプリ」にチェックが入ります。

言語と入力

使用する言語と入力方法を設定します。

項目	説明
地域／言語	P.151
スペルチェッカー	スペルチェッカーを設定します。
単語リスト	単語を登録します。
現在の入力方法	入力方法を設定します。
Google音声入力	P.58
POBox Touch（日本語）	
ドコモ文字編集	
中国語キーボード	
外国語キーボード	
音声検索	P.152
テキスト読み上げ	P.152
ポインターの速度	マウスなどのポインターの速度を設定します。

使用する言語を変更する

1 設定メニュー画面で（P.118）、［言語と入力］▶［地域／言語］をタップする

2 地域／言語を選択し、［完了］をタップする

- 日本語を選択すると「完了」が表示されますが、選択した地域／言語によって表示は異なります。

❖お知らせ

- 間違った言語を選択して表示内容が読めなくなった場合は、次のホームページのヘルプをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/so-01e/faq.html

音声検索の設定

言語	Google音声検索時に入力する言語を設定します。
セーフサーチ	アダルトフィルタを設定します。
不適切な語句をブロック	音声認識の不適切な結果を表示するかどうかを設定します。

テキスト読み上げの設定

Googleテキスト読み上げエンジン※	テキストを読み上げる言語を設定し、Googleテキストを読み上げるための音声合成エンジンを設定します。
Pico TTS※	インストールされている音声合成エンジンについて設定します。
音声の速度	テキストを読み上げる速度を設定します。
サンプルを再生	音声合成の短いサンプルを再生します。

※ 日本語には対応しておりません。

バックアップとリセット

Googleアカウントを使用して、アプリケーションなどのバックアップの設定をしたり、本端末をお買い上げ時の状態に初期化できます。

データのバックアップ	アプリケーションや設定、データなどをGoogleサーバーにバックアップするように設定します。
バックアップアカウント	Googleサーバーにバックアップするアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションの再インストール時に、バックアップ済みの設定やデータを復元するように設定します。
データ移行モード	ドコモショップ内の専用端末を使って本端末のデータを移行するモードに設定します。
データの初期化	P.153

本端末をリセットする

本端末をリセットすると、ダウンロードしたアプリケーションを含むすべてのデータ、およびアカウントなどが削除され、本端末は初期状態（お買い上げ時の状態）に戻ります。必ず本端末の重要なデータをバックアップしてから、本端末をリセットしてください。
初期設定については、「初期設定を行う」（P.38）をご参照ください。

1 設定メニュー画面で（P.118）、［バックアップとリセット］▶［データの初期化］▶［携帯端末をリセット］をタップする

- 「内部ストレージ内データの削除」にチェックを入れると、内部ストレージの内容（音楽、写真、動画など）がすべて削除されます。
- 必要に応じて、画面ロックの解除方法を入力します。

2 ［すべて削除］をタップする

- 本端末は自動的に再起動します。

❖お知らせ

- 本端末の再起動またはリセット中は、そのままお待ちください。再起動またはリセット中に電池パックを取り外すと、本端末が故障する恐れがあります。

セットアップガイド

セットアップガイドを表示し、各機能の初期設定を行います。

- 詳しくは「初期設定を行う」（P.38）をご参照ください。

システム

日付と時刻

本端末の日付と時刻を変更できます。
日付、時刻、タイムゾーンを手動で設定する場合は、あらかじめ「日付と時刻を自動設定」、「タイムゾーンを自動設定」のチェックを外してネットワーク自動設定を解除する必要があります。

日付と時刻を自動設定	ネットワーク上の日付・時刻情報を使って自動的に補正します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワーク上のタイムゾーン情報を使って自動的に補正します。
日付設定	P.154
時刻設定	P.154
タイムゾーンの選択	P.154
24時間表示	P.154
日付形式	P.154

❖お知らせ

- 海外通信事業者によっては時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定（P.154）してください。

日付を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［日付と時刻］▶［日付設定］をタップする**

2 **数字をドラッグして日付を合わせる**

3 **［設定］をタップする**

時刻を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［日付と時刻］▶［時刻設定］をタップする**

2 **数字をドラッグして時間と分を合わせる**

- 「24時間表示」のチェックを外している場合は、「AM」／「PM」をドラッグして午前／午後を切り替えます。

3 **［設定］をタップする**

タイムゾーンを設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［日付と時刻］▶［タイムゾーンの選択］をタップする**

2 **設定したいタイムゾーンを選択する**

時間形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［日付と時刻］をタップし、「24時間表示」にチェックを入れる／外す**

- チェックを入れると時刻の表示が24時間表示になり、チェックを外すと12時間表示になります。

日付形式を設定する

1 **設定メニュー画面で（P.118）、［日付と時刻］▶［日付形式］をタップする**

2 **設定したい日付形式を選択する**

ユーザー補助

ユーザーの操作に音や振動で反応するユーザー補助サービスや、通話終了時の動作を設定します。

TalkBack	ユーザー補助サービス（TalkBack）を設定します。
大きい文字サイズ	文字サイズを大きくします。
電源ボタンで通話を終了	[電源キー] を押すことで、通話の終了ができるように設定します。
画面の自動回転	P.44
パスワードの音声出力	パスワードを音声出力します。
長押し感知までの時間	画面をロングタッチして操作するときの反応速度を設定します。
ウェブスクリプト	Googleからスクリプトをインストールするかどうかを設定します。

開発者向けオプション

USB接続時にデバックモードにしたり、充電中に画面のバックライトをオンに設定します。

充電中に画面のバックライトをオンにしておく

1 設定メニュー画面で（P.118）、［開発者向けオプション］をタップする

2 「スリープモードにしない」にチェックを入れる

端末情報

電話番号や電波状態、法定情報などの情報を確認できます。

ソフトウェア更新	P.251
端末の状態	自分の電話番号や電波の状態、電池残量などを確認できます。
法的情報	オープンソースライセンスやGoogle利用規約などを確認できます。
モデル番号	バージョンや番号を確認できます。
Androidバージョン	
ベースバンドバージョン	
カーネルバージョン	
ビルド番号	

ファイルの操作

本端末でのファイル操作は、ファイルを取り扱うアプリケーションにより行います。例えば、内部ストレージやmicroSDカード内に保存されたファイルの削除は、各アプリケーションの削除機能で削除できます。
また、各アプリケーションの「共有」機能では、赤外線通信、Bluetooth機能、メールのファイル添付機能などにより対応している他の端末と送受信して、ファイルをやり取りすることができます。
このほかパソコンと接続した状態で、パソコン上に内部ストレージやマウントされたmicroSDカード内のファイルを移動、削除できます。
PC CompanionをインストールしてMedia Goを利用すると、パソコンと本端末の間で相互にファイル管理を行うことができます。
PC Companionを利用すると、本端末の連絡先、カレンダーをパソコンと同期させることができます。

データの転送と移動

画像やミュージックなどのデータは、転送および移動できます。一部の著作権で保護されたデータのやり取りは許可されていない場合もあります。

microUSB接続ケーブルを使用する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル01（別売品）などで接続すると、本端末とパソコンの間で、データをやり取りできるようになります。

microUSB接続ケーブルで本端末とパソコンを接続する

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する（P.35）

- 初めてmicroUSB接続ケーブルを接続したときは、パソコンに本端末のドライバソフトがインストールされます。インストール完了までしばらくお待ちください。完了後、続いてPC Companionソフトウェアのインストール確認画面が表示されます。

- お買い上げ時は「メディア転送モード（MTP）」でパソコンに接続されます。パソコンの画面に従って操作すると、本端末の内部ストレージおよびmicroSDカードにアクセスできるようになります。

2 ［スキップ］をタップする

❖お知らせ

- パソコンに接続したときに表示される画面は、パソコンの動作環境（OS）によって異なる場合があります。
- ホーム画面で▦をタップし、［設定］▶［Xperia™］▶［接続設定］をタップすると、USB接続モードの接続状態の確認や以下の接続設定を変更できます。

PC Companionのインストール	パソコン接続時にPC Companionのインストールウィザードを表示します。
USB接続モード	パソコン接続時のUSB接続モードを「メディア転送モード（MTP）」「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えます。
信頼された機器	Wi-Fiネットワーク経由でホストとなる機器と本端末とをペア接続します（P.159）。

- USB接続モードを「ファイル転送モード（MSC）」に切り替えて接続操作を行ってもリムーバブルディスクとしてmicroSDカードにアクセスできます。本端末側でmicroSDカードにアクセスできなくなるため、カメラ、アルバムなどでmicroSDカードを使用する機能が利用できなくなる場合があります。
- 手順2で［インストール］をタップし、PC Companionをインストールすると、本端末とパソコンを接続して、メディアファイルを管理したり、バックアップファイルを作成したりするなど、パソコン上から次のアプリケーションを利用できます。詳細については、インストール後のPC Companion画面で確認することができます。

Support Zone	本端末のソフトウェア更新をパソコンに接続して行います（P.253）。
Contacts Setup	以前ご利用の携帯電話の電話帳を本端末にコピーできます。
Media Go	P.160
アドレス帳	Outlook、Lotus Notes、Googleと本端末の間で連絡先を同期します。
カレンダー	Outlook、Lotus Notes、Googleと本端末の間でカレンダーを同期します。
バックアップと復元	本端末のデータをバックアップしたり、別の携帯電話に移動したりできます。
ファイルマネージャ	本端末内のファイルの種類、更新時間、場所などを確認できます。

- パソコンに接続すると、自動的に充電を開始します。詳細については、「パソコンを使って充電する」（P.35）をご参照ください。

microUSB接続ケーブルを安全に取り外す

- データ転送中にmicroUSB接続ケーブルを取り外さないでください。データが破損する恐れがあります。
- メディア転送モード（MTP）の場合は、データ転送中でないことを確認してそのままmicroUSB接続ケーブルを取り外すことができます。

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 ステータスバーを下にドラッグする

2 ［SDカードが接続されました］をタップする

- ステータスバーに「SDカードが接続解除されました」と表示されます。

3 microUSB接続ケーブルを取り外す

本端末とパソコンでデータをドラッグ＆ドロップする

■ メディア転送モード（MTP）の場合

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- ステータスバーに「内部ストレージ／SDカード接続」と表示されます。

2 本端末とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ＆ドロップする

■ ファイル転送モード（MSC）の場合

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- ステータスバーに「SDカードが接続されました」と表示されます。

2 本端末とパソコンの間で、選択したデータをドラッグ＆ドロップする

❖お知らせ

- USB大容量記憶インターフェースをサポートしているほとんどのデバイスと以下のオペレーティングシステム（OS）で、microUSB接続ケーブルを使用してファイルを転送できます。
  - Microsoft Windows 7
  - Microsoft Windows Vista
  - Microsoft Windows XP

Wi-Fi上で本端末とパソコンを接続する

Wi-Fiネットワーク上で本端末とパソコン※をペアになるように接続設定すると、本端末のユーザーがWi-Fiネットワークエリア内に出たり入ったりする際、本端末の内部ストレージとパソコンが自動的に接続／切断できるようになります。接続したパソコンから内部ストレージ内にあるファイルに簡単にアクセスできるようになります。

※パソコンのOSは、Microsoft Windows 7である必要があります。Microsoft Windows XP、Microsoft Windows Vista、その他のOSではペア設定できません。

1　ペア接続したいパソコンを、Wi-Fiネットワークにつなぐ

2　Wi-Fiネットワークに本端末を接続する（P.120）

3　本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

- 本端末上にPC Companionソフトウェアのインストール確認画面が表示された場合は、［スキップ］をタップしてください。

4　パソコン上の「コンピューター」画面に、ポータブルデバイスとして本端末が表示されていることを確認する

5　ポータブルデバイスのアイコンを右クリックし、「ネットワーク構成」をクリックする

6　「次へ」をクリックする

7　本端末上でポップアップ画面の［ペア］をタップする

8　パソコンのポータブルデバイスのネットワーク構成画面で、「完了」をクリックする

9　microUSB接続ケーブルを取り外す

10　本端末のホーム画面で をタップし、［設定］▶［Xperia™］▶［接続設定］▶「信頼された機器」欄の「ホスト名」（パソコン名）をタップする

11　［接続］をタップする

- Wi-Fiネットワーク上でパソコンと本端末が「メディア転送モード（MTP）」で接続され、ファイルをやり取りできるようになります。

❖お知らせ

- 本端末のホーム画面で をタップし、［設定］▶［Xperia™］▶［接続設定］をタップすると、「信頼された機器」欄に「ホスト名」（パソコン名）が表示されます。ホスト名をタップし、［除外する］をタップして接続設定を解除できます。「除外する」をタップするまでは、Wi-Fiネットワークのエリア内外で接続／切断を繰り返しても、接続設定自体は継続されます。
- Wi-Fiネットワーク（アクセスポイント）のプライバシーセパレータ機能が有効になっている場合はペア接続ができません。

Media Goを利用する

Media Goは、本端末とパソコンのメディアコンテンツの転送および管理を支援するパソコンのアプリケーションです。

Media Goを利用すると、CDからパソコンに楽曲を取り込み、本端末へ転送することができます。

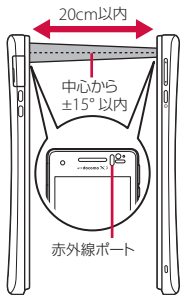
- Media GoはPC Companionからインストールすることができます。パソコンにインストールしたPC Companionを起動し、「Sony PC Companion」画面でMedia Goをインストールしてください。PC Companionのインストール方法については、「PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合」（P.253）をご参照ください。

❖お知らせ

- Media Goは、次のホームページからダウンロードして入手することもできます。
http://www.sonymobile.co.jp/mediago/
- Media Goの使用方法の詳細については、Media Goのヘルプをご参照ください。

赤外線通信を利用する

赤外線通信機能を持つ他の端末などとの間で、連絡先やカメラで撮影した写真や動画などのデータを送受信できます。

- 赤外線の通信距離は、20cm以内でご利用ください。また、データの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手側の端末によっては、データが送受信しにくい場合があります。

❖**お知らせ**

- 赤外線通信中に指などで赤外線ポートを覆わないようにしてください。
- 本端末の赤外線通信は、IrMCバージョン1.1に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMCバージョン1.1に準拠していても、機能によって正しく送受信できないデータがあります。
- 送受信時に認証パスワードとドコモアプリパスワードの入力が必要になる場合があります。認証パスワードは、送受信を行う前にあらかじめ通信相手と取り決めた4桁の数字です。送る側と受ける側で同じ番号を入力します。ドコモアプリパスワードについては、「ドコモアプリパスワード」(P.140)をご参照ください。
- 赤外線通信中に着信した場合は、赤外線通信を終了して着信画面を表示します。
- 赤外線通信中にアラーム設定時刻になった場合は、赤外線通信を終了してアラームが鳴ります。
- 赤外線通信中は、ステータスバーにが表示されます。
- 送受信できるデータは、電話帳、マイプロフィール、名刺、spモードメール、スケジュール＆メモ、静止画(.jpeg、.png、.gif、.bmp)、動画(.mp4、.3gp)、トルカです。データ容量や相手の機器によって通信に時間がかかる場合があります。
- 著作権保護されたデータなど、データによっては送信しても他の機器では再生できない場合があります。
- 相手の機器やデータの種類、容量によっては再生や登録ができない場合があります。
- 受信した画像や動画は内部ストレージに保存され、その他のデータは本体メモリに保存されます。

赤外線通信でデータを送信する

「赤外線」アプリケーションから、「電話帳」「spモードメール」「スケジュール＆メモ」データを全件送信することができます。また、「ドコモ電話帳」、「アルバム」などの各アプリケーションの共有メニューから、1件ずつデータを送信したり、静止画や動画データなどを送信したりすることもできます。

■「赤外線」アプリケーションから送信する場合

1 **ホーム画面でをタップし、[赤外線]をタップする**

2 **[全件送信]をタップする**

3 ［電話帳］／［spモードメール］／［スケジュール&メモ］をタップする

- ［spモードメール］をタップした場合は「受信ボックス」「送信ボックス」「未送信ボックス」から選択します。

4 ［開始する］をタップする

5 ドコモアプリパスワードを入力して［OK］をタップする

6 受信側と同じ認証パスワードを入力して［決定］▶［OK］▶［OK］をタップする

■ 各機能の共有メニューから送信する場合

1 各アプリケーションの共有メニューで「赤外線」を選択する

❖お知らせ

- 赤外線通信ウィジェットを使って、マイプロフィール（名刺以外）を送信することもできます。ホーム画面で（赤外線通信ウィジェット）のをタップし、表示される画面に従って操作してください。
- 「ドコモ電話帳」アプリからの送信については、「赤外線通信を使って電話帳を送信する」（P.97）をご参照ください。
- 「アルバム」からの送信については、「画像ファイルを共有する」（P.209）をご参照ください。
- マイプロフィール、名刺、静止画、動画、トルカの複数件の送信はできません。

赤外線通信でデータを受信する

■ 1件受信する場合

1 ホーム画面でをタップし、［赤外線］をタップする

2 ［1件受信］▶［OK］をタップする

3 受信完了後、［OK］▶［OK］をタップする

■ 全件受信する場合

1 ホーム画面でをタップし、［赤外線］をタップする

2 ［全件受信］をタップする

3 ドコモアプリパスワードを入力して［OK］をタップする

4 送信側と同じ認証パスワードを入力して［決定］▶［OK］▶［OK］▶［保存する］をタップする

❖お知らせ

- 赤外線通信ウィジェットを使って、1件のデータを受信することもできます。ホーム画面で（赤外線通信ウィジェット）のをタップし、表示される画面に従って操作してください。
- 電話帳、spモードメール、スケジュール&メモを全件受信する場合は、本端末内のデータを消去した後に保存されます。
- 動画の複数件の受信はできません。
- 本端末の容量がいっぱいの場合は、受信したデータを保存できないことがあります。

- データが保存されるときにファイル名が変更される場合があります。また、ファイル名が127文字（Unicode）以上のデータは正しく保存できない場合があります。

Bluetooth機能を利用する

Bluetooth機能によって、Bluetoothデバイス（ハンズフリーデバイスなど）にワイヤレス接続できます。障害物のない10m以内の範囲での使用を推奨します。Bluetoothデバイスと通信するには、Bluetooth機能をオンにする必要があります。本端末とBluetoothデバイスのペア設定を行う必要がある場合もあります。

❖お知らせ

- 初期設定では、Bluetooth機能はオフです。オンにして本端末の電源を切ると、Bluetooth機能もオフになります。電源を再度入れると、Bluetooth機能は自動的にオンになります。
- 使用しない場合は電池の消耗を抑えるためにBluetooth機能をオフにしてください。

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は、同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- Bluetooth対応機器と無線LAN対応機器は、10m以上離してください。
- 10m以内で使用する場合は、Bluetooth対応機器または無線LAN対応機器の電源を切ってください。

※すべてのBluetooth機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。Bluetooth DUNには対応しておりません。

Bluetooth機能をオンにして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で をタップし、［設定］をタップする

2 Bluetoothの をタップまたは右にドラッグする

- がステータスバーに表示され、Bluetooth機能がオンになります。

3 ［Bluetooth］をタップする

4 ［Xperia AX］をタップする

- 本端末が、他のBluetoothデバイスから2分間検出可能になります。

本端末の名前を入力する

Bluetooth機能を使用するときに、Bluetoothデバイスに表示される本端末の名前を入力できます。

1 Bluetooth機能がオンになっていることを確認する

2 ホーム画面で をタップし、[設定]▶[Bluetooth]をタップする

3 をタップし、[端末の名前を変更]をタップする

4 名前を入力し、[名前を変更]をタップする

Bluetoothデバイスとペア設定する

本端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うことによって、本端末をBluetoothハンズフリーヘッドセットなどに接続し、これらのデバイスを使用して発着信できるようになります。

一度本端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うと、ペア設定情報は記憶されます。本端末とBluetoothデバイスのペア設定を行うときに、パスコード(PIN)の入力を必要とする場合があります。本端末は、自動的にパスコード「0000」を試行します。この試行でうまくいかない場合は、Bluetoothデバイスの取扱説明書をご参照ください。ペア設定を行ったBluetoothデバイスに次回接続するときは、パスコードを再入力する必要はありません。

2つのBluetoothヘッドセットとペア設定するという使い方はできませんが、同じBluetoothプロファイルを使用していない状態で、複数のBluetoothデバイスとペア設定を行うことはできます。本端末では、HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、PAN、HDP、PXP、DIDのBluetoothプロファイルがサポートされています。

1 **Bluetooth機能がオンになっていることを確認する**

2 **ホーム画面で をタップし、[設定]▶[Bluetooth]をタップする**

3 **[機器の検索]をタップする**
- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。

4 **本端末とペア設定を行うBluetoothデバイス名をタップする**

5 **「ペア設定リクエスト」画面でパスコードを確認し、[ペア設定する]をタップする**
- ペア設定を行ったBluetoothデバイスを使用できます。
- Bluetoothデバイスによっては、ペア設定完了後、続けて接続まで行うデバイスがあります。
- 「ペア設定リクエスト」画面でパスコードの入力が必要な場合があります。

❖お知らせ
- ペア設定を行うデバイス側で、Bluetooth機能がオンになっていることとBluetooth検出機能がオンになっていることを確認してください。
- セキュアシンプルペアリング(SSP)機能に対応したBluetoothデバイスとペア設定を行う場合は、画面にパスキーが表示されます。表示されたパスキーが正しいことを確認した後、ペア設定します。

Bluetoothデバイスと接続する

1 **Bluetooth機能がオンになっていることを確認する**

2 **ホーム画面で をタップし、[設定]▶[Bluetooth]をタップする**

3 **[機器の検索]をタップする**
- 検出されたBluetoothデバイスが、一覧表示されます。
- 必要に応じて、Bluetoothデバイスのペア設定を行います。

4 **接続したいBluetoothデバイス名をタップする**
- デバイスと接続中は、ステータスバーに が表示され、デバイス名の下に接続状況が表示されます。

❖お知らせ
- 接続中のBluetoothデバイス名の をタップすると、接続したBluetooth機器の状態を確認したり、設定を変更できます。

Bluetoothデバイスの接続を解除する

1 **ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [Bluetooth] をタップする**

2 **接続中のBluetoothデバイス名をタップする**

3 **[OK] をタップする**
- 再接続するときは、デバイス名をタップします。

Bluetoothデバイスのペア設定を解除する

1 **ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [Bluetooth] をタップする**

2 **ペア設定を解除したいBluetoothデバイス名の をタップし、[ペアを解除] をタップする**
- 接続が切断され、ペア設定も解除されます。

Bluetooth機能でデータを送受信する

あらかじめ、Bluetooth機能をオンにして、相手のBluetoothデバイスとペア設定を行ってください。

Bluetooth機能でデータを受信する

1 **相手のBluetoothデバイスからデータを送信する**
- ステータスバーに が表示されます。

2 **ステータスバーを下にドラッグして、[Bluetooth共有：ファイル受信] ▶ [受信] をタップする**

Bluetooth機能でデータを送信する

1 **各アプリケーションの共有メニューで「Bluetooth」を選択する**

2 **送信する相手のBluetoothデバイスをタップする**
- 送信が完了すると、画面に送信済みのメッセージが表示されます。

❖お知らせ
- 「ドコモ電話帳」アプリからの送信については、「電話帳をBluetooth／Eメール／Gmailで送信する」（P.97）をご参照ください。
- 「アルバム」からの送信については、「画像ファイルを共有する」（P.209）をご参照ください。

DLNA機器とファイルを共有する

Wi-Fi機能を利用して、他のクライアント（DLNA：Digital Living Network Alliance）機器と本端末のメディアファイルを共有し再生できます。
あらかじめ他のクライアント機器とWi-Fi接続（P.119）を設定しておきます。

メディアサーバーを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［設定］▶［その他の設定］をタップする

2 ［メディアサーバー設定］をタップする

- メディアサーバー設定画面が表示され、次の設定ができます。

SO-01E **サーバー名の変更**	クライアント機器上で見える本端末（サーバー）の名称を変更できます。
コンテンツ共有	クライアント機器からWi-Fi経由で本端末に接続できるように設定します。
アクセス許可待ちの機器	アクセス許可待ちのクライアント機器を管理します。
登録された機器	本端末に登録されたクライアント機器を管理します。

❖**お知らせ**

- メディアサーバー設定画面で をタップし、［Wi-Fi設定］をタップすると、Wi-Fi接続を設定できます。

DLNA機器のメディアファイルを本端末で再生する

あらかじめDLNA機器をWi-Fi接続し、本端末からのアクセスを許可しておいてください。

1 メディアサーバー設定画面で「コンテンツ共有」の をタップまたは右にドラッグする

- ステータスバーに「メディアサーバーがONです」と表示されます。

2 をタップする

- ホーム画面が表示されます。

3 ホーム画面で をタップし、［アルバム］／［ムービー］をタップする

4 ［オンライン］／［Devices］をタップする

5 接続するデバイス名を選択し、フォルダを選択する

6 メディアファイルをタップして再生する

本端末のメディアファイルをDLNA機器で再生する

あらかじめDLNA機器と本端末をWi-Fi接続しておいてください。

1 メディアサーバー設定画面で「コンテンツ共有」の をタップまたは右にドラッグする

- ステータスバーに「メディアサーバーがONです」と表示されます。

2 をタップする

- ホーム画面が表示されます。

3 ホーム画面で をタップし、[アルバム]／[ムービー]をタップする

4 再生したいファイルをタップする

5 をタップし、[Throw]をタップする

- 「Throw」画面が表示されます。

6 「Throw」画面に表示されたデバイスをタップする

- DLNA機器で再生されます。

dメニュー

dメニューでは、ドコモのおすすめするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

dメニューを開く

1 ホーム画面で［dメニュー］をタップする

- ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

❖お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信（LTE/3G/GPRS）もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

dマーケットを開く

1 ホーム画面で［dマーケット］をタップする

- 初めて使用するときは、「dマーケットソフトウェア使用許諾契約書」への同意画面が表示されます。「同意する」にチェックを入れ、［利用開始］をタップします。

❖お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Google Playを利用すると、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスでき、本端末にダウンロード、インストールすることができます。また、アプリケーションのフィードバックや意見を送信したり、好ましくないアプリケーションや本端末と互換性がないアプリケーションを不適切なコンテンツとして報告することができます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定（P.141）が必要となります。
- ダウンロードするアプリケーションやゲームには無料のものと有料のものがあり、Google Playのアプリケーション一覧ではその区別が明示されています。有料アプリケーションの購入、返品、払い戻し請求などの詳細については、「ヘルプ」（P.171）をご参照ください。

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で［Playストア］をタップする

- 初めて使用するときは、利用規約の同意画面が表示されます。［同意する］をタップすると、利用を開始できます。

2 アプリケーションを検索し、インストールしたいアプリケーションをタップする

- 表示内容をよくご確認の上、画面に従って操作してください。
- 多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。ダウンロードの操作を行うと、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。

❖お知らせ

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままです。手動でパケット通信を切断するには、ステータスバーを下にドラッグして、をタップします。
- アプリケーションによっては、自動的にアップデートが実行される場合があります。

アプリケーションを削除する

1 **ホーム画面で［Playストア］をタップする**

2 **⋮をタップし、［マイアプリ］をタップする**

3 **削除したいアプリケーションをタップし、［アンインストール］▶［OK］をタップする**

- 有料アプリケーションをアンインストールする場合は、払い戻し画面が表示される場合があります。詳細については、「ヘルプ」（P.171）をご参照ください。

ヘルプ

Google Playについてヘルプが必要なときや質問がある場合は、Google Playの画面を表示した状態で⋮をタップし、［ヘルプ］をタップしてGoogle Playヘルプウェブページに進みます。

おサイフケータイ

お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券などとして使える「おサイフケータイ対応サービス」や、家電やスマートポスターなどにかざして情報にアクセスできる「かざしてリンク対応サービス」がご利用いただける機能です。
電子マネーやポイントのバリューをICカード内、またはドコモminiUIMカード内に保存することができます。
さらに、ネットワークを使って電子マネーの入金や残高、ポイントの確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。
おサイフケータイの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。なお、ドコモminiUIMカード内データはiCお引っこしサービスをご利用後も、そのままドコモminiUIMカード内に残ります。
iCお引っこしサービスは、お近くのドコモショップなどでご利用いただけます。
iCお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイ対応端末のご利用にあたって

- 本端末の故障により、ICカード内データ※1及びドコモminiUIMカード内データ※2が消失・変化してしまう場合があります（修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます）。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。
- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データ及びドコモminiUIMカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。
- ドコモminiUIMカード（赤色）をお使いの場合は、海外利用などドコモminiUIMカードを利用する一部のおサイフケータイ対応サービスを利用することができませんので、2013年2月以降（予定）にドコモショップ窓口にてお取り替えください。
上記のほか、ご利用にはおサイフケータイに関連したソフトウェア更新（本端末の製品アップデート）が必要です。ソフトウェア更新について詳しくは、「ソフトウェアを更新する」（P.251）をご参照ください。
なお、ICカード内に保存することができる「おサイフケータイ対応サービス」や、「かざしてリンク対応サービス」については、ご利用いただけます。

※1 おサイフケータイ対応端末に搭載されたICカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含む）
※2 ドコモminiUIMカードに保存されたデータ（電子マネーやポイントのバリューを含み、電話帳データ及びSMSデータを除く）

「おサイフケータイ対応サービス」を利用する

1　ホーム画面で をタップし、［おサイフケータイ］をタップする

2　サービス一覧から利用したいサービスを選択する

- サービスのサイト、またはサービスに対応したアプリケーションをダウンロードしてから設定してください。
- マークを読み取り機にかざすだけで、読み取り機と通信できます。

❖お知らせ

- ドコモサービスの初期設定時に（P.38）、おサイフケータイの初期設定を行っていない場合は、手順1で初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- おサイフケータイ対応のアプリを起動せずに、読み取り機とのデータの読み書きができます。
- 本体の電源を切っていても利用できますが、電池パックを取り付けていない場合は利用できません。電池パックを取り付けていても、本端末の電源を長期間入れなかったり、電池残量が少なかったりする場合は、利用できなくなることがあります。
- おサイフケータイ対応サービスは、ドコモminiUIMカードのPINコード解除ができない場合またはPINロック状態となった場合においても利用できます。
- spモードをご契約されていない場合は、おサイフケータイ対応サービスの一部機能がご利用できなくなる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

「かざしてリンク対応サービス」を利用する

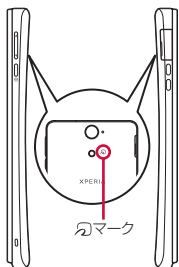
1　ホーム画面で をタップし、［設定］▶［その他の設定］をタップする

2　［NFC／おサイフケータイ 設定］▶［Reader/Writer, P2P］▶［OK］をタップする

- 「Reader/Writer, P2P」「Androidビーム」にチェックが入ります。
- Reader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーに が表示されます。

3　NFCモジュールが内蔵された機器、またはスマートポスターなどに マークをかざす

ワンタッチ機能でデータを送信／受信する

ワンタッチ機能とは、NFC技術をもとにソニーが独自に開発した機能です。NFCを搭載した携帯電話などの機器との間でデータを送信／受信できます。また、NFCを搭載したソニー製品との間でワンタッチ機能を利用すると、簡単な操作で画像や音楽、本端末で撮影した写真や動画を送ったり受け取ったりすることができます。

- データを送信／受信するにはあらかじめReader/Writer, P2P機能をオンにしてください（P.174）。
- 2台の携帯電話を平行にしてマークを向かい合わせ、送信／受信が終了するまで動かさないようにしてください。
- 送信／受信の操作や送信／受信できるデータについては、対応するアプリケーションによって異なります。画面に従って操作してください。
- マークを向かい合わせても、送信／受信を失敗する場合があります。失敗した場合は、送信／受信の操作を再度行ってください。
- マークをゆっくりと向かい合わせると送信／受信を失敗することがあります。
- すべてのNFC搭載機器との通信を保証するものではありません。

Reader/Writer, P2P機能をオンにする

1 **ホーム画面でをタップし、［設定］▶［その他の設定］をタップする**

2 **［NFC／おサイフケータイ 設定］▶［Reader/Writer, P2P］▶［OK］をタップする**

- 「Reader/Writer, P2P」「Androidビーム」にチェックが入ります。
- Reader/Writer, P2P機能がオンになり、ステータスバーにが表示されます。

❖お知らせ

- ホーム画面の「NFCカンタン起動ウィジェット」を利用しても、Reader/Writer, P2P機能のオン／オフを切り替えることができます。

データを送信する

1 **Reader/Writer, P2P機能がオンになっていることを確認する**

2 **送信したいデータを画面に表示させる**

3 **受信側の端末と、マークを向かい合わせる**

- 表示されている画面が小さくなり、「タップしてビーム」と表示されます。

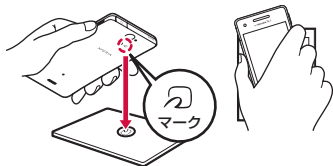
4 **小さくなった画面をタップする**

データを受信する

1 **Reader/Writer, P2P機能がオンになっていることを確認する**

2 **送信側の端末と、マークを向かい合わせる**

- データを受信すると、受信データに対応したアプリケーションが起動します。画面の指示に従って操作してください。

読み取り機やNFCモジュールが内蔵された機器など、対向機にかざす際の注意事項

- マークを対向機にかざす際に、強くぶつけないようにご注意ください。
- マークは対向機の中心に平行になるようにかざしてください。
- マークを対向機にかざす際はゆっくりと近づけてください。
- マークを対向機の中心にかざしても読み取れない場合は、本端末を少し浮かす、または前後左右にずらしてかざしてください。
- マークと対向機の間に金属物があると読み取れないことがあります。また、マークの付近にシールなどを貼り付けると、通信性能に影響を及ぼす可能性がありますのでご注意ください。

おサイフケータイの機能をロックする

「NFC／おサイフケータイ ロック」設定を利用すると、おサイフケータイの機能やサービスの利用を制限できます。

- NFC／おサイフケータイのロックは、本端末の画面ロック、SIMカードロックとは異なります。

1 **ホーム画面でをタップし、［設定］▶［その他の設定］をタップする**

2 **［NFC／おサイフケータイ 設定］▶［NFC／おサイフケータイ ロック］をタップする**

3 **パスワードを入力して［次へ］をタップする**

- おサイフケータイの機能がロックされ、ステータスバーにまたはが表示されます。

- 初めて「NFC／おサイフケータイ ロック」をご利用になる場合は、パスワード、秘密の質問と回答の設定が必要です。画面の指示に従って設定してください。

❖お知らせ

- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中に電池が切れると、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できなくなります。電池残量にご注意ください。「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除する場合は、充電後に解除してください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中におサイフケータイのメニューをご利用になるには、ロックの解除が必要になります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードは、本端末を初期化しても削除されません。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」のパスワードを忘れた場合は、「NFC／おサイフケータイ 設定」画面で⋮をタップし、[パスワードを忘れた場合]をタップして、パスワードを設定したときの秘密の質問に答えると解除できます。パスワードおよび秘密の質問を忘れた場合には、「NFC／おサイフケータイ ロック」を解除できませんので、ご注意ください。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」の解除は、「NFC／おサイフケータイ ロック」を設定した際に本端末に挿入していたドコモminiUIMカードを取り付けた状態で行ってください。

iDアプリ

「iD」とは、クレジット決済のしくみを利用した便利な電子マネーです。クレジットカード情報を設定したおサイフケータイやiD対応のカードをお店の読み取り機にかざすだけで簡単・便利にショッピングができます。おサイフケータイには、クレジットカード情報を2種類まで登録できるので特典などに応じて使い分けることもできます。ご利用のカード発行会社によっては、キャッシングにも対応しています。

- おサイフケータイでiDをご利用の場合、iDに対応したカード発行会社へのお申し込みのほか、iDアプリで設定を行う必要があります。
- iDサービスのご利用にかかる費用（年会費など）は、カード発行会社により異なります。
- ご利用時には別途パケット通信料がかかります。
- 海外でのご利用の場合は国内でのパケット通信料と異なります。
- iDに関する情報については、iDのホームページをご覧ください。
  http://id-credit.com/

トルカ

トルカとは、携帯電話に取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。
トルカの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

❖お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得／更新／トルカの共有／microSDカードへの移動、コピー／地図表示
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- 「NFC／おサイフケータイ ロック」設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。
- 重複チェックにチェックを入れた場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したいときは、重複チェックのチェックを外してください。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

■ NFCとは

NFCとはNear Field Communicationの略で、ISO（国際標準化機構）で規定された国際標準の近接型無線通信方式です。非接触ICカード機能やリーダー／ライター機能（R/W）、機器間通信機能（P2P）などがご利用いただけます。

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声と共にデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。
「ワンセグ」サービスの詳細については、次のホームページをご覧ください。
社団法人　デジタル放送推進協会
http://www.dpa.or.jp/

ワンセグのご利用にあたって

ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、NHKの受信料については、NHKにお問い合わせください。
データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の2種類があります。「データ放送」は映像・音声と共に放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。
「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。

- サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

放送波について

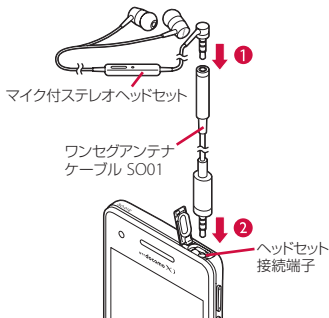
ワンセグは、放送サービスの1つであり、XiサービスおよびFOMAサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、XiサービスおよびFOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。
また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

ワンセグアンテナケーブルを使用する

本端末でワンセグを視聴するには、付属のワンセグアンテナケーブル SO01をご使用ください。
ワンセグの音声をスピーカーから出力する場合には、ワンセグアンテナケーブル SO01のみ、本端末へ接続してください。
ワンセグの音声をマイク付ステレオヘッドセット（試供品）から出力する場合は、ワンセグアンテナケーブル SO01にマイク付ステレオヘッドセットを接続してから、本端末へ接続してください。

1 マイク付ステレオヘッドセットの接続プラグをワンセグアンテナケーブル SO01のヘッドセット接続端子に接続する（❶）

2 ワンセグアンテナケーブル SO01の接続プラグを、本端末のヘッドセット接続端子に接続する（❷）

❖お知らせ

- ワンセグアンテナケーブル SO01のみを接続した状態で、スピーカーからワンセグの音声を出力しているときにワンセグアンテナケーブル SO01にマイク付ステレオヘッドセットを接続しても、音声出力はマイク付ステレオヘッドセットに切り替わりません。マイク付ステレオヘッドセットで音声を出力する場合は、一度ワンセグアンテナケーブル SO01を取り外し、マイク付ステレオヘッドセットをワンセグアンテナケーブル SO01に接続した状態で、本端末に接続してください。
- マイク付ステレオヘッドセットとワンセグアンテナケーブル SO01を接続した状態で、マイク付ステレオヘッドセットからワンセグの音声を出力しているときにワンセグアンテナケーブル SO01からマイク付ステレオヘッドセットを取り外しても、音声出力はスピーカーに切り替わりません。スピーカーで音声を出力する場合は、一度ワンセグアンテナケーブル SO01を取り外し、もう一度ワンセグアンテナケーブル SO01のみ本端末に接続してください。

ワンセグの初期設定をする

ワンセグを初めて使用するときは、ワンセグメニューからチャンネル設定を行います。設定が完了すると、ワンセグを見ることができます。

1 ホーム画面で をタップし、[ワンセグ]をタップする

2 [視聴する]をタップする

- [さらに詳しく]をタップすると、操作ガイドを確認できます。

3 [設定]▶[チャンネル設定]をタップする

4 [現在地から設定]をタップする

- 受信可能なチャンネルを検索します。

5 入力ボックスをタップし、任意のタイトル名を入力して[完了]をタップする

- ワンセグメニューに戻るには、 をタップします。

❖お知らせ

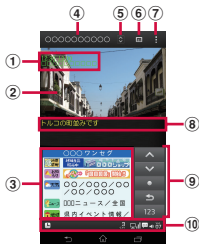
- チャンネルの設定は、手順4で［地域選択］をタップし、現在の地域を選択しても登録できます。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で をタップし、［ワンセグ］をタップする

2 ［視聴］をタップする

- ワンセグ視聴画面が表示されます。映像をタップすると一時的に番組名などの情報を表示します。

■ ワンセグ画面

ワンセグ視聴画面（データ放送あり）

ワンセグ視聴画面（全画面）

① 番組情報
② 映像
③ データ放送：データ放送コンテンツを表示
④ 放送局名
⑤ リモコン：チャンネル切り替え用のチャンネルキーとサーチ選局キーを表示
⑥ 番組表：番組表を表示
⑦ オプションメニュー表示
⑧ 字幕
⑨ データ放送用リモコン：フォーカス移動、フォーカス選択、戻る、テンキー表示など、データ放送中に操作するキーを表示
⑩ ワンセグステータスバー：オフタイマー、チャンネル表示、受信レベル、字幕あり表示、ミュート、音量表示などのアイコンを表示

❖お知らせ

- ワンセグ視聴中に を押すと、音量を調節できます。
- ワンセグ視聴中は本端末を横向きにして視聴することもできます。本端末を横向きにしても自動的に画面の向きが変わらないときは、ステータスバーを下にドラッグして、 をタップします。
- データ放送は縦向きの画面で表示されます。
- ワンセグ視聴画面を左右にフリックすると、視聴中のチャンネルの前／後を選局します。

- ⌂ をタップしてホーム画面に戻っても、ワンセグは終了しません。ワンセグを起動したままだと電池の消耗が早くなる場合があります。ワンセグを終了するには、ワンセグ視聴画面を表示中に ↩ をタップします。
- ワンセグを起動したりチャンネルを変更したりすると、デジタル放送の特性として映像やデータ放送のデータ取得に時間がかかる場合があります。
- 電波状態によって映像や音声が途切れたり、止まったりする場合があります。
- ワンセグを視聴中に音声着信があったときは、ワンセグは中止され、通話終了後再開します。

データ放送を見る

データ放送では、画面に表示される説明などに従って操作することで、いろいろな情報を見ることができます。

❖お知らせ

- データ放送を見る場合は、通話料やパケット通信料はかかりません。ただし、パケット通信を使用してデータ放送の付加サービスなどを利用する場合は、パケット通信料がかかります。

ワンセグの設定をする

ワンセグ視聴画面、データ放送の設定や各種初期化を行うことができます。

オプションメニューを利用する

ワンセグの録画、字幕表示の切り替えなどが行えます。

1 ワンセグ視聴画面で（P.180）、⋮ をタップする

録画開始	録画を開始／停止します（P.184）。 録画中は「録画停止」と表示されます。
ミュート	消音します。 消音中は「ミュート解除」と表示されます。
字幕表示切替	字幕表示のオン／オフを切り替えます。
視聴設定	ワンセグ視聴に関する設定をします（P.182）。
テレビリンク	テレビリンクのリスト画面を表示します（P.183）。
ワンセグメニュー	ワンセグメニューに戻ります。

ワンセグの視聴設定をする

1 ワンセグ視聴画面で（P.180）、 をタップし、［視聴設定］をタップする

チャンネル情報	視聴可能なチャンネル情報が表示されます。
番組情報表示	取得した番組情報が表示されます。
チャンネルリスト選択	登録した地域（放送エリア）がチャンネルリストとして一覧で表示されます。
チャンネル追加登録	ワンセグ視聴画面からチャンネルを追加登録します。
番組予約	視聴、録画の予約をしたり、予約の結果を表示します。
画面表示切替	映像＋データ放送とデータ放送の表示を切り替えます。
オフタイマー	ワンセグ視聴を終了するタイマーの設定をします。
主／副音声設定	主／副音声の設定をします。
音声切替	音声切り替えの設定をします。
音量設定	音量レベルを調節します。
効果音設定	データ放送の効果音のオン／オフを切り替えます。
データ放送へ戻る	データ放送が表示されます。
サービス選局	1つのチャンネルを複数のサブチャンネルに分けたマルチ編成番組の放送が行われている場合は、サブチャンネルを選択できます。

放送エリアを登録・変更する

お使いの地域（放送エリア）によって視聴できるチャンネルは異なります。

■ 放送エリアを登録する

1 ホーム画面で をタップし、［ワンセグ］をタップする

2 ［設定］▶［チャンネル設定］をタップする

3 ［現在地から設定］をタップする

- 受信可能なチャンネルを検索します。

4 入力ボックスをタップし、任意のタイトル名を入力して［完了］をタップする

❖お知らせ

- チャンネルの設定は、手順3で［地域選択］をタップし、現在の地域を選択しても登録できます。

■ 放送エリアを変更する

1 ホーム画面で をタップし、［ワンセグ］をタップする

2 ［設定］▶［チャンネルリスト選択］をタップし、登録されているチャンネルリストを選択する

- 視聴する放送エリアが変更されます。

❖お知らせ

- チャンネルリスト選択画面で登録した放送エリアなどをロングタッチするとメニューが表示され、チャンネル情報の表示、チャンネル設定、タイトル編集などの操作が行えます。

リモコン番号を変更する

各放送局に割り当てられたリモコン番号を変更します。各放送局はリモコン番号に対応した番号で呼び出すことができます。

1 ホーム画面で をタップし、［ワンセグ］をタップする

2 ［設定］▶［チャンネルリスト選択］をタップし、変更したいチャンネルリストをタップする

3 チャンネル情報をロングタッチする

4 ［リモコン番号設定］をタップし、リモコン番号を変更したい放送局をタップする

5 選択した放送局を設定したいリモコン番号をタップする

- 別の放送局が設定されているリモコン番号を選択した場合は、設定されていた放送局と手順4で選択した放送局のリモコン番号が入れ替わります。

6 をタップし、［はい］をタップする

設定を初期化する

チャンネル設定やワンセグ設定などを初期化します。

1 ホーム画面で をタップし、［ワンセグ］をタップする

2 ［設定］▶［リセット］をタップし、初期化する項目を選択する

3 ［はい］をタップする

テレビリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（テレビリンク）が表示される場合があります。テレビリンクを登録すると、後で関連サイトに接続できます。

テレビリンクを登録する

1 ワンセグ視聴画面（データ放送あり）で（P.180）、登録するテレビリンクを選択する

- 以降は画面の指示に従って登録してください。

テレビリンクを表示する

1 ワンセグ視聴画面で（P.180）、 をタップする

2 [テレビリンク] をタップする

- テレビリンクのリスト画面が表示されます。

3 テレビリンクを選択する

- リンクコンテンツまたはHTMLコンテンツを選択した場合は［はい］をタップします。

❖お知らせ

- テレビリンクには有効期限が設定されている場合があります。有効期限が過ぎたテレビリンクは利用できません。

テレビリンクの詳細を見る／削除する

1 ワンセグ視聴画面で（P.180）、⋮をタップする

2 [テレビリンク] をタップし、⋮をタップする

登録件数確認	テレビリンクの登録件数を確認します。
全件削除	登録されているテレビリンクをすべて削除します。
複数件削除	登録されているテレビリンクを複数件削除します。 削除するテレビリンクにチェックを入れて⋮をタップし、［削除］▶［はい］をタップします。

❖お知らせ

- テレビリンクのリスト画面でテレビリンク項目をロングタッチするとメニュー項目が表示され、詳細表示などの操作が行えます。

テレビ番組を録画予約／視聴予約する

テレビ番組の録画や視聴の予約ができます。

1 ホーム画面で▦をタップし、[ワンセグ] をタップする

2 [番組予約] ▶「録画」タブ／「視聴」タブをタップする

3 ⋮をタップし、[新規] をタップする

4 [チャンネル名] をタップし、チャンネルを選択する

5 番組名、開始日時などを設定して[登録] をタップする

- 録画予約の場合は、終了日時も設定します。

ワンセグを録画する

表示中の映像・音声・字幕・データ放送を録画します。

1 ワンセグ視聴画面で（P.180）、⋮をタップし、[録画開始] をタップする

2 ワンセグ視聴画面で（P.180）、⋮をタップし、[録画停止] ▶ [はい] をタップする

❖お知らせ

- 録画保存できる最大ファイルサイズは4GB、連続録画可能時間は約24時間です。
  保存できる保存件数は99件までです。
- 録画中に他のアプリケーションからmicroSDカードを利用した場合、録画が失敗することがあります。

録画した番組を再生する

1 ホーム画面で をタップし、[ワンセグ]をタップする

2 [録画データ]をタップし、再生したい番組をタップする

番組表を利用する

1 ホーム画面で をタップし、[ワンセグ]をタップする

2 [番組表]をタップする

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

FMラジオ

本端末でFM放送を聴くことができます。自動または手動で選局でき、お好みの局をお気に入りに登録することもできます。FMラジオをご利用になる場合は、マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などのハンズフリー機器やヘッドフォンをご使用ください。受信アンテナとして機能します。

放送局を検索して登録する

1 マイク付ステレオヘッドセットを本端末に接続する

- マイク付ステレオヘッドセットの接続については、「マイク付ステレオヘッドセットを使用する」（P.207）をご参照ください。

2 ホーム画面で をタップし、[FMラジオ]をタップする

- FMラジオ画面が表示され、自動的に放送局の検索を開始し、放送局の電波をキャッチすると検索が終了します。

3 ⏮／⏭をタップして選局する

- 画面中央を左右にフリックして選局することもできます。

4 ★をタップし、[+ XX.Xをお気に入りに追加]をタップする

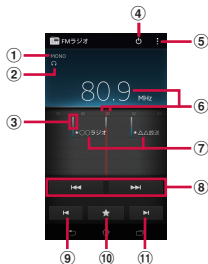
5 入力ボックスをタップし、任意の名前を入力して［保存］をタップする

- 選局した放送局の帯域がお気に入りに登録されます。

6 FMラジオを停止するには、⏻をタップする

❖お知らせ

- FMラジオ画面で⋮をタップし、［チャンネルを検索］をタップしても放送局を検索できます。
- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらFMラジオをバックグラウンドで聴くことができます。FMラジオ画面に戻るには、ホーム画面で▦をタップして［FMラジオ］をタップするか、ステータスバーを下にドラッグして［FMラジオ］をタップします。
- ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、87.5MHz～108.0MHzの周波数帯となるため、日本国内のFMラジオは聴取できません。
- FMラジオを起動中は、スモールアプリ（P.80）の「レコーダー」を使用することはできません。

■ FMラジオ画面

① モノラル／ステレオ効果
② ヘッドフォンで再生／スピーカーで再生
③ 受信状態がよい場合に表示される帯域ポイント
④ FMラジオのオン／オフ
⑤ オプションメニューを表示
⑥ 現在聴いている放送局
⑦ お気に入りに登録した放送局
⑧ 自動的にチャンネルを選局
⑨ 左方向にお気に入りを選局
⑩ お気に入りの登録／編集／選局
⑪ 右方向にお気に入りを選局

スピーカーとハンズフリー機器を切り替える

1 FMラジオ画面で⋮をタップする

2 ［スピーカーで再生］／［ヘッドフォンで再生］をタップする

- 音の出力がスピーカー／ハンズフリー機器に切り替わります。

カメラ

シャッターアイコン、または画面をタップして、写真や動画の撮影ができます。写真の撮影は、横向きと縦向きの画面のどちらでも利用できます（ただし、スイングパノラマ撮影の場合は、横向きの画面のみ利用できます）。動画の撮影は横向きの画面のみ利用できます。撮影した写真や動画は自動的に内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。

始める前に

- 本端末で撮影した写真または動画は、すべて内部ストレージまたはmicroSDカードに保存されます。microSDカードに保存する場合は、カメラを使用する前にmicroSDカードを挿入してください。また、Media Goからのファイル転送中など本端末でデータを読み書きしている場合、写真を撮影することはできません。
- 本端末のmicroSDカードをｉモード対応端末で利用する場合、本端末で撮影した写真や動画は閲覧できません。
- 本端末を利用して撮影または録音したものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法をお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

■ **著作権・肖像権について**

お客様が本端末で撮影または録音したものは、個人で楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますので、そのようなご利用もお控えください。撮影したものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権には十分にご注意ください。なお、実演や興行、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影を制限している場合がありますので、ご注意ください。著作権にかかわる画像の伝送は、著作権法の規定による範囲内で使用する以外はご利用になれませんので、ご注意ください。

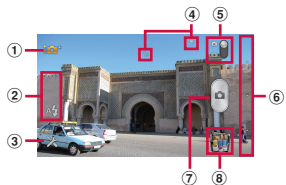
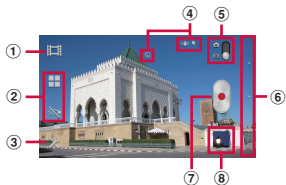
カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為等を行う場合、法律、条例（迷惑防止条例等）に従い処罰されることがあります。

スイングパノラマ撮影のご注意

- 以下の場合、スイングパノラマ撮影に適していません。
  - 動きのある被写体がある場合
  - 主要被写体とカメラの距離が近すぎる場合
  - 空、砂浜、芝生などの似たような模様が続く被写体がある場合
  - 大きな被写体がある場合
  - 波や滝など、常に模様が変化する被写体がある場合
- 一定時間内にスイングパノラマ撮影画角に満たなかった場合、足りない部分はグレーで記録されます。
  この場合はカメラを速く動かすと最後まで記録されます。
- 複数の画像を合成するため、つなぎ目が滑らかに記録できない場合があります。
- 暗いシーンでは画像がぶれたり、撮影ができない場合があります。
- 蛍光灯など、ちらつきのある光源がある場合、合成された画像の明るさや色合いが一定でなくなり、うまく撮影できないことがあります。
- スイングパノラマ撮影される画角全体と、ピントを合わせたときの画角とで、明るさや色合い、ピント位置などが極端に異なる場合、うまく撮影できない場合があります。
- 以下の場合、スイングパノラマ撮影が中断されることがあります。
  - カメラを動かす速度が速すぎる場合／遅すぎる場合
  - ぶれすぎた場合
  - カメラを撮影方向と逆に動かした場合

撮影画面とキー操作

■ 写真撮影画面

■ 動画撮影画面

① 撮影モードアイコン（P.189）
② 設定項目アイコンの表示エリア
③ 設定アイコン
④ 選択された設定を表示するステータスアイコンの表示エリア

⑤ 写真／動画切り替えアイコン
⑥ ナビゲーションバー
⑦ シャッター（写真）
撮影開始／停止（動画）
⑧ 最近の撮影履歴
- 撮影画面で撮影履歴のサムネイルに触れたまま画面の左方向（撮影画面が縦向きの場合は上方向）に向かってフリックすると、最新5件分の撮影履歴が表示されます。
- サムネイルをタップすると写真や動画の再生画面に切り替わります。
- サムネイルをロングタッチすると次のアイコンが表示されます。
  ：写真や動画の再生画面を表示
  ：共有
  ：削除

❖お知らせ

- 撮影画面でピンチイン／アウトまたは を押すと、ズームイン／アウトします。撮影モード（P.189）を「フロントカメラ」「スイングパノラマ」「フロントビデオカメラ」に設定している場合は、ズームを使用できません。
- カメラを終了するにはナビゲーションバーをタップし、 をタップします。

撮影モードを変更する

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。動画を撮影する場合は、写真／動画切り替えアイコン（P.189）の をタップして、動画撮影画面（P.188）を表示します。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.189）をタップし、撮影モードを選択する

撮影モードアイコンについて

■ 撮影モード

プレミアムおまかせオート
カメラが最適なシーンを判断します。
シーンが認識されると、認識したシーンのアイコンが表示されます。
「ソフトスナップ」「風景」「逆光」「逆光＆人物」「夜景」「夜景＆人物」「ドキュメント」「マクロ」「低照度」のシーンが認識されます。

ノーマル
標準的な撮影モードです。

フロントカメラ
フロントカメラを使用して写真を撮影します（P.202）。

ピクチャーエフェクト
写真にさまざまな撮影効果を設定します（P.204）。

シーンセレクション
プログラム済みのシーンを設定します（P.191）。

スイングパノラマ
ワイドなアングルのパノラマ写真を撮影します（P.205）。

ビデオカメラ
動画を撮影します（P.197）。

フロントビデオカメラ
フロントカメラを使用して動画を撮影します（P.202）。

写真を撮影する

写真の撮影は、シャッターアイコン（）または撮影画面をタップします。撮影された写真は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。

1 ホーム画面でをタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。

■ シャッターアイコン（）をタップする

撮影画面でシャッターアイコン（）をタップする

- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、シャッターアイコン（）をロングタッチし、フォーカスフレームが緑色に変わって音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。フォーカスフレームが赤色になった場合は、オートフォーカスが失敗しています。

■ 撮影画面をタップする

「タッチ撮影」を設定した後、撮影画面をタップする

- 「タッチ撮影」を設定するには、撮影画面でをタップし、［撮影方法］▶［タッチ撮影］をタップします。
- オートフォーカス機能を使って写真を撮影するときは、画面をロングタッチし、フォーカスフレームが緑色に変わって音が鳴ったら指を離してください。指を離すとすぐに写真が撮影されます。フォーカスフレームが赤色になった場合は、オートフォーカスが失敗しています。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

写真撮影時の設定を変える

1 ホーム画面でをタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。

2 撮影画面でをタップし、設定項目をタップする

- あらかじめ撮影画面にいくつかの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。

- 撮影モード（P.189）を「ピクチャーエフェクト」「スイングパノラマ」に設定している場合は、撮影画面に表示されている設定項目アイコンをタップして設定を変更してください。
- 各設定項目とアイコンについては、「写真撮影設定」（P.191）をご参照ください。

3 選択した設定のオプションの1つをタップする

- 撮影画面に表示されている設定項目を変更した場合、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを入れ替えるには、撮影画面で をタップし、設定項目をロングタッチして撮影画面に表示される点線枠にドラッグします。
- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを削除するには、設定項目アイコンをロングタッチし、画面中央に表示される にドラッグします。
- 撮影モード（P.189）を「ピクチャーエフェクト」または「スイングパノラマ」に設定している場合は、設定項目アイコンの入れ替えや削除はできません。
- 撮影画面に表示されている と撮影モードアイコン（P.189）の移動や削除はできません。

写真撮影設定

■ シーン

プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。
撮影モード（P.189）が「シーンセレクション」のときに利用できます。

ソフトスナップ
人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。

風景
木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

逆光補正HDR
ハイダイナミックレンジ機能で逆光を補正します。

夜景＆人物
夜景を背景にした人物の撮影に適しています。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

夜景
夜景を明るくきれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

ビーチ＆スノー
ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。

パーティー
室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。露出時間が長くなるため、手ぶれにご注意ください。

スポーツ
動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

ドキュメント
文字や図の撮影に使用します。文字をくっきりと明るく、読みやすく撮影します。

■ 解像度

写真撮影の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。
撮影モード（P.189）が「プレミアムおまかせオート」「ノーマル」「シーンセレクション」のときに利用できます。

13MP 4:3／12MP 4:3
画像サイズ13または12メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示したり、高解像度で印刷するのに適しています。
撮影モード（P.189）を次のいずれかに設定した場合は解像度が12MPになります。

- プレミアムおまかせオート
- ノーマル（「HDR」を「ON」に設定した場合）
- シーンセレクション（「逆光補正HDR」を設定した場合）

9MP 16:9
画像サイズ9メガピクセル、縦横比16:9。高解像度、ワイドスクリーンフォーマット。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。

5MP 4:3
画像サイズ5メガピクセル、縦横比4:3。標準サイズの画面に表示するのに適しています。

2MP 16:9
画像サイズ2メガピクセル、縦横比16:9。ワイドスクリーンの画面に表示するのに適しています。

VGA
縦横比4:3のVGA形式です。

■ フラッシュ

暗い場所や逆光での撮影時に、フラッシュを点灯させるかどうかを設定します。

自動
明るさに応じて自動的にフラッシュを点灯します。

強制発光
明るさに関係なく常にフラッシュを点灯します。

赤目軽減
フラッシュによる赤目現象を軽減します。

OFF
フラッシュは点灯しません。

- フラッシュ「OFF」のほうが写真の品質がよくなる場合があります。フラッシュを点灯させないときは、セルフタイマーを使用すると、手ぶれを防止することができます。

■ 照明

暗い場所や逆光での撮影時に、フォトライトを使用して撮影します。

撮影モード（P.189）が「スイングパノラマ」のときに利用できます。

ON

フォトライトが点灯します。

OFF

フォトライトは点灯しません。

■ セルフタイマー

シャッターアイコンをタップしてから設定した秒数が経過した後に撮影します。自分の写真を撮影したり、全員が揃ったグループ写真を撮影したりするときに使用します。撮影時の手ぶれを防止するためにもセルフタイマーを使用できます。

ON（10秒）

タップしてから10秒後に撮影します。

ON（2秒）

タップしてから2秒後に撮影します。

OFF

タップするとすぐに撮影します。

■ スマイルシャッター

笑った瞬間の顔を検出して撮影します（P.203）。

大笑い

大笑いしている顔を検出したときに写真を撮影します。

笑顔

笑顔を検出したときに写真を撮影します。

ほほ笑み

ほほ笑み程度の笑顔でも写真を撮影します。

OFF

スマイル検出機能を解除します。

■ クイック起動

画面ロックの解除画面でクイック起動アイコン（ ）を左へドラッグすると、カメラの起動や撮影をするように設定します（P.202）。

起動＆静止画撮影

カメラが起動し、すぐに写真が撮影されます。

起動のみ（静止画）

カメラが起動し、写真撮影画面を表示します。

起動＆動画撮影

カメラが起動し、すぐに動画撮影が開始されます。

起動のみ（動画）

カメラが起動し、動画撮影画面を表示します。

■ フォーカスモード

ピントの合わせ方を設定します。

撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

シングルオートフォーカス

カメラが自動的にピントを合わせます。

マルチオートフォーカス

撮影画面の複数箇所にカメラが自動的にピントを合わせます。シャッターアイコンをタップしてピントが合った箇所は、フォーカスフレームが白色から緑色に変わります。

顔検出

顔を検出して、顔にピントを合わせます（P.203）。

タッチフォーカス

撮影画面で被写体をタップすると、フォーカスフレームがタップした箇所に移動します。

■ 明るさ（EV補正）

EV補正により、明るさを調節します。

撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

明るさ（EV補正）

バーをドラッグして明るさを調節します。

■ HDR

ハイダイナミックレンジ撮影機能を設定します。

撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

ON

ハイダイナミックレンジ機能で撮影します。

OFF

ハイダイナミックレンジ撮影機能を解除します。

■ ホワイトバランス

周囲の光源に合わせて色合いを調整します。

撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

自動

周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。

電球

電球のような照明に合わせて色合いを調整します。

蛍光灯

蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。

太陽光

日向での撮影に合わせて色合いを調整します。

曇り

曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

■ ISO

ISO感度を設定します。光量の少ない場所でも明るく、手ぶれを軽減して撮影します。
撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

自動
「100」から「1600」の中で最適な感度に設定します。

100
感度を100に設定します。

200
感度を200に設定します。

400
感度を400に設定します。

800
感度を800に設定します。

1600
感度を1600に設定します。

■ 測光

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。
撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

中央
撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

平均
撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。

スポット
撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

■ 手ぶれ補正

写真撮影時の、わずかな手の動きによる写真のぶれを補正します。
撮影モード（P.189）が「ノーマル」のときに利用できます。

ON
手ぶれを軽減します。

OFF
手ぶれ補正を使用しません。

■ ジオタグ
写真に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けることができます。ジオタグを付加するには、位置情報サービスの設定を有効にする必要があります。位置情報サービスの詳細については、「位置情報サービスについて」（P.219）をご参照ください。

ON
撮影した写真に位置情報が付加され、写真の撮影場所を特定できるようになります。

OFF
写真の撮影場所を地図上で確認することはできません。

■ 撮影方法
写真の撮影方法を設定します。

撮影ボタン
シャッターアイコンをタップして写真を撮影します。

タッチ撮影
撮影画面をタップして写真を撮影します。

■ 撮影方向
スイングパノラマの撮影方向を設定します。
撮影モード（P.189）が「スイングパノラマ」のときに利用できます。

右
左から右へ撮影します。

左
右から左へ撮影します。

下
上から下へ撮影します。

上
下から上へ撮影します。

■ 保存先
撮影した写真の保存先を設定します。
microSDカードを取り付けたときに表示されます。

内部ストレージ
撮影した写真を内部ストレージに保存します。

SDカード
撮影した写真をmicroSDカードに保存します。

❖注意
- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

動画を撮影する

動画の撮影は、撮影開始アイコン（ ）／停止アイコン（ ）または撮影画面をタップします。動画撮影画面の表示は、横画面表示のみとなります。撮影された動画は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

2 写真／動画切り替えアイコン（P.189）の をタップする

- 動画撮影画面（P.188）が表示されます。

■ 撮影開始アイコン（ ）／停止アイコン（ ）をタップする

撮影画面で撮影開始アイコン（ ）をタップして撮影を開始し、撮影停止アイコン（ ）をタップして撮影を停止する

■ 撮影画面をタップする

「タッチ撮影」を設定した後、撮影画面をタップして撮影を開始し、撮影画面をタップして撮影を停止する

- 「タッチ撮影」を設定するには、撮影画面で をタップし、［撮影方法］▶［タッチ撮影］をタップします。

❖お知らせ

- 動画撮影時は、本端末の送話口（マイク）を指などでふさがないようにしてください。
- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）や市販のイヤホン、または他のBluetoothデバイスなどと接続しているときは、シャッター音が通常より小さくなることがあります。

動画撮影時の設定を変える

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

2 写真／動画切り替えアイコン（P.189）の をタップする

- 動画撮影画面（P.188）が表示されます。

3 撮影画面で をタップし、設定項目をタップする

- あらかじめ撮影画面にいくつかの設定項目アイコンが表示されています。設定内容により表示される設定項目アイコンは変わります。
- 各設定項目とアイコンについては、「動画撮影設定」（P.198）をご参照ください。

4 選択した設定のオプションの1つをタップする

- 撮影画面に表示されている設定項目を変更した場合、変更した項目のアイコンに変わります。

❖お知らせ

- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを入れ替えるには、撮影画面でをタップし、設定項目をロングタッチして撮影画面に表示される点線枠にドラッグします。
- 撮影画面に表示されている設定項目アイコンを削除するには、設定項目アイコンをロングタッチし、画面中央に表示されるにドラッグします。
- 撮影画面に表示されていると撮影モードアイコン（P.189）の移動や削除はできません。

動画撮影設定

■ シーン

プログラム済みのシーン設定を使用して、さまざまな状況に合わせてカメラを簡単に設定できます。

OFF

自動的に色合いや明るさを調整します。

ソフトスナップ

人物の肌の色を、明るく暖かい色調で、きれいに撮影します。

風景

木々の色を鮮やかに表現し、遠景にピントを合わせて撮影します。

夜景

夜景を明るくきれいに撮影します。

ビーチ＆スノー

ビーチや雪景色を明るく鮮やかに再現します。

スポーツ

動きの速い被写体の撮影で、露出時間を短くして動きのぶれを最小限に抑えます。

パーティー

室内の照明の雰囲気を活かしながら、きれいに撮影します。

■ ビデオ解像度

動画撮影の解像度を設定します。解像度が高くなるほど、記録するためにより大きなメモリ容量が必要になります。

フルHD

縦横比16:9のフルワイドHD形式、1920×1080ピクセル。撮影モード（P.189）が「ビデオカメラ」のときに利用できます。

HD 720p

縦横比16:9のHD形式、1280×720ピクセル。撮影モード（P.189）が「ビデオカメラ」のときに利用できます。

VGA

縦横比4:3のVGA形式、640×480ピクセル。

QVGA

縦横比4:3のQVGA形式、320×240ピクセル。撮影モード（P.189）が「フロントビデオカメラ」のときに利用できます。

■ 照明

暗い場所や逆光での撮影時に、フォトライトを使用して撮影します。

ON

フォトライトが点灯します。

OFF

フォトライトは点灯しません。十分な明るさがなくても、フォトライトなしできれいに撮影できる場合もあります。フォトライトなしで動画をきれいに撮影するには、カメラを安定させる必要があります。

■ セルフタイマー

シャッターアイコンをタップしてから設定した秒数が経過した後に撮影を開始します。

ON（10秒）

タップしてから10秒後に撮影を開始します。

ON（2秒）

タップしてから2秒後に撮影を開始します。

OFF

タップするとすぐに撮影を開始します。

■ フォーカスモード

ピントの合わせ方を設定します。

シングルオートフォーカス

カメラが自動的にピントを合わせます。

顔検出

顔を検出して、顔にピントを合わせます（P.203）。

■ 明るさ（EV補正）

EV補正により、明るさを調節します。

明るさ（EV補正）

バーをドラッグして明るさを調節します。

■ ホワイトバランス

周囲の光源に合わせて色合いを調整します。

自動

周囲の光源に合わせて自動的に色合いを調整します。

電球

電球のような照明に合わせて色合いを調整します。

蛍光灯

蛍光灯のような照明に合わせて色合いを調整します。

太陽光

日向での撮影に合わせて色合いを調整します。

曇り

曇り空や日陰に合わせて色合いを調整します。

■ 測光

撮影画面の明るさを測定して、最適な露出のバランスを自動的に判断します。

中央

撮影画面の中央に重心を置き、画面全体で測光して露出を調整します。

平均

撮影画面全体の明るさに基づいて露出を調整します。

スポット

撮影画面内の中央の一点のみで測光して露出を調整します。

■ 手ぶれ補正

動画撮影時にカメラの揺れを補正します。

ON

手ぶれを軽減します。

OFF

手ぶれ補正を使用しません。

■ ジオタグ

動画に詳細な撮影場所を示す位置情報のタグ（ジオタグ）を付けることができます。ジオタグを付加するには、位置情報サービスの設定を有効にする必要があります。位置情報サービスの詳細については、「位置情報サービスについて」（P.219）をご参照ください。

ON

撮影した動画に位置情報が付加され、動画の撮影場所を特定できるようになります。

OFF

動画の撮影場所を地図上で確認することはできません。

■ マイク

動画撮影時に周囲の音を録音するかどうかを設定します。

ON

撮影時に周囲の音を録音します。

OFF

撮影時に周囲の音を録音しません。

■ 撮影方法

動画撮影の開始／停止方法を設定します。

撮影ボタン

撮影開始アイコン／停止アイコンをタップして動画撮影を開始／停止します。

タッチ撮影

撮影画面をタップして動画撮影を開始／停止します。

■ クイック起動

画面ロックの解除画面でクイック起動アイコン（ ）を左へドラッグすると、カメラの起動や撮影をするように設定します（P.202）。

起動＆静止画撮影

カメラが起動し、すぐに写真が撮影されます。

起動のみ（静止画）

カメラが起動し、写真撮影画面を表示します。

起動＆動画撮影

カメラが起動し、すぐに動画撮影が開始されます。

起動のみ（動画）

カメラが起動し、動画撮影画面を表示します。

■ 保存先

撮影した動画の保存先を設定します。

microSDカードを取り付けたときに表示されます。

内部ストレージ

撮影した動画を内部ストレージに保存します。

SDカード

撮影した動画をmicroSDカードに保存します。

❖注意

- 設定によっては、他の設定と同時に使用できない場合があります。

フロントカメラ

フロントカメラを使用すると、撮影画面を見ながら自分の写真や動画を撮影することができます。

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。動画を撮影する場合は、写真／動画切り替えアイコン（P.189）の をタップして、動画撮影画面（P.188）を表示します。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.189）をタップし、［フロントカメラ］／［フロントビデオカメラ］をタップする

3 写真／動画を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.190）または「動画を撮影する」（P.197）をご参照ください。

❖お知らせ

- フロントカメラを使用している場合、「セルフタイマー」「スマイルシャッター」「ジオタグ」「撮影方法」「保存先」を設定できます。フロントカメラでは、上記以外の「写真撮影設定」（P.191）は対応しておりません。
  - フロントカメラの解像度は「VGA」です。解像度の変更はできません。
  - フロントカメラ切り替え時にカメラの設定を引き継ぎます。
- フロントビデオカメラを使用している場合、「ビデオ解像度」「セルフタイマー」「ジオタグ」「マイク」「撮影方法」「保存先」を設定できます。フロントビデオカメラでは、上記以外の「動画撮影設定」（P.198）は対応しておりません。
  - フロントビデオカメラ切り替え時にビデオカメラの設定を引き継ぎます（ただし、「ビデオ解像度」は、「VGA」に変更されます）。

クイック起動

クイック起動を利用すると、画面ロックの解除画面でカメラを起動して撮影することができます。

❖お知らせ

- クイック起動を利用するには、あらかじめ優先アプリ設定（P.66）で「一括設定」または「ロック画面」を「Xperia™」に設定し、画面ロックの解除方法（P.149）を「スライド／タッチ」に設定する必要があります。

1 画面ロックの解除画面でクイック起動アイコン（ ）を左へドラッグする

- お買い上げ時は「起動＆静止画撮影」に設定されています。カメラが起動し、すぐに写真が撮影されます。
- 写真は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。

❖お知らせ

- クイック起動の動作を変更するには、撮影画面から設定します。詳しくは、「クイック起動」（P.193）をご参照ください。
- お買い上げ時の画面ロック解除画面では、をタップするとカメラを起動することができます。

顔検出

顔検出を使用すると、中心から外れた位置の顔にピントを合わせることができます。カメラが最大5つまで顔を自動的に検出し、ピントを合わせる顔は黄色、その他の顔は白色のフレームで示します。カメラからの距離と、中心からの距離のバランスにより、最適な顔が判断され、自動的にピントが合わせられます。フレームをタップして、ピントを合わせる顔を選択することもできます。

顔検出を設定する

1 ホーム画面でをタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。動画を撮影する場合は、写真／動画切り替えアイコン（P.189）のをタップして、動画撮影画面（P.188）を表示します。
- 撮影モード（P.189）は「ノーマル」または「ビデオカメラ」に設定します。

2 撮影画面でをタップし、［フォーカスモード］▶［顔検出］をタップする

顔検出を使用して撮影する

1 顔検出を設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。

2 ピントを合わせるフレームをタップするか、タップせずにピントを合わせる顔をカメラに選ばせる

- ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

3 写真／動画を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.190）または「動画を撮影する」（P.197）をご参照ください。

スマイルシャッター

スマイルシャッターを使用すると、笑った瞬間の顔を撮影できます。カメラが最大5つの顔を検出し、そのうち1つをスマイルシャッターとオートフォーカスの対象に選びます。選択した顔のフレームが黄色に変わります。選択した顔が笑うと、フレームが緑色に変わりカメラが自動的に写真を撮影します。

スマイルシャッターを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。

2 撮影画面で をタップし、［スマイルシャッター］をタップする

3 スマイルシャッターが反応する笑顔のレベルを選択する

- 「OFF」に設定すると、スマイルシャッターを解除します。

スマイルシャッターを使用して写真を撮影する

1 スマイルシャッターを設定し、カメラを被写体に向ける

- 検出した顔にフレームが表示されます（最大で5つ）。
- カメラがピントを合わせる顔を選択します。ピントを合わせる顔のフレームが黄色に変わります。

2 ピントを合わせる被写体が笑うと、カメラが自動的に写真を撮影する

- 写真は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。
- 笑顔を検出できなくても、「写真を撮影する」（P.190）の操作で写真を撮影できます。

ピクチャーエフェクト

ピクチャーエフェクトを使用すると、さまざまな撮影効果の写真を撮影することができます。

ピクチャーエフェクトを設定する

1 ホーム画面で をタップし、［カメラ］をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.189）をタップし、［ピクチャーエフェクト］をタップする

3 撮影効果を選択する

- 「ノスタルジック」「ミニチュア」「カラフル」「フィルター」「魚眼レンズ」「スケッチ」「パートカラー」「ハリスシャッター」「万華鏡」から選択できます。

❖お知らせ

- 撮影効果を選択する画面では、 を押すとスクリーンショットを撮影することができます。
- ピクチャーエフェクトの解像度は「2MP 16:9」です。解像度の変更はできません。

ピクチャーエフェクトを使用して写真を撮影する

1 ピクチャーエフェクトを設定し、カメラを被写体に向ける

- タップやピンチなどで撮影効果の設定を変更できます。

2 シャッターアイコン（）をタップする

- 写真は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。

❖**お知らせ**

- ピクチャーエフェクトを使用して撮影する場合は「タッチ撮影」（P.196）を使用できません。

スイングパノラマ撮影

スイングパノラマを使用すると、ワイドなアングルのパノラマ撮影ができます。
画面の白枠と黒枠を合わせながらカメラを設定した撮影方向へゆっくりと動かして撮影します。

スイングパノラマを設定する

1 ホーム画面でをタップし、[カメラ]をタップする

- 写真撮影画面（P.188）が表示されます。

2 撮影画面で撮影モードアイコン（P.189）をタップし、[スイングパノラマ]をタップする

- ／をタップして「撮影方向」（P.196）や「照明」（P.193）を設定できます。

スイングパノラマを撮影する

1 スイングパノラマを設定し、カメラを被写体に向ける

2 写真を撮影する

- 撮影の方法については「写真を撮影する」（P.190）をご参照ください。
- 撮影画面に、白い枠と大きい黒い枠が表示されます。

3 白い枠を大きい黒い枠に合わせながら、カメラを左から右へゆっくり動かす

- 撮影方向を変更した場合は、設定した方向へゆっくり動かして撮影します。
- 撮影が成功すると、写真は自動的に内部ストレージ／microSDカードに保存されます。

マルチメディアコンテンツの再生

本端末で撮影した写真や動画、内部ストレージやmicroSDカードに保存したマルチメディアコンテンツ（音楽、写真、動画など）は、「メディアプレイヤー」「WALKMAN」「アルバム」などで閲覧・再生できます。
本端末は次のファイル形式のマルチメディアコンテンツが再生できます。

種類	ファイル形式
音	WAV（PCM、G.711）（.wav）、AAC（.3gp、.m4a、.mp4）、AAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、eAAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、MP3（.mp3）、AMR-NB（.3gp）、AMR-WB（.3gp）、MIDI（SP-MIDI/GM/GML（.mid）、XMF（.xmf）、Mobile XMF 1.0（.mxmf）、RTTTL/RTX（.rtttl、.rtx）、OTA（.ota）、iMelody（.imy））、Ogg Vorbis（.ogg）、FLAC（.flac）、PIFF（.isma）
静止画	JPEG（.jpeg、.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WEBP（.webp）
動画	H263（.3gp、.mp4）、H264 AVC（.3gp、.mp4）、MPEG-4 SP（.3gp）、VP8（.webm、.mkv）、Xvid（.avi）、Quicktime（.mov）、PIFF（.ismv）

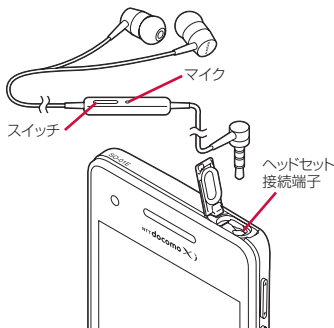
保護されたコンテンツ著作権

本端末を利用して撮影または録音などしたものを複製、編集などする場合は、著作権侵害にあたる利用方法はお控えいただくことはもちろん、他人の肖像を勝手に使用、改変などすると肖像権を侵害することとなりますので、そのような利用方法もお控えください。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますので、ご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

マイク付ステレオヘッドセットを使用する

1 マイク付ステレオヘッドセット（試供品）の接続プラグを本端末のヘッドセット接続端子に接続する

- 接続方向をよくご確認の上、正しく接続してください。無理に接続すると破損の原因となります。
- スマートコネクトの設定画面が表示された場合は、画面の指示に従って操作してください。

❖お知らせ

- マイク付ステレオヘッドセットを接続してメディアプレイヤー／WALKMAN／FMラジオを聴く場合、マイク付ステレオヘッドセットのスイッチを押して、オン／オフを切り替えることができます。ただし、操作時の条件により異なる動作をする場合があります。
- 付属のワンセグアンテナケーブル SO01を使用する場合は、マイク付ステレオヘッドセットをワンセグアンテナケーブル SO01に接続した状態で本端末に接続してください（P.178）。
  ワンセグ視聴時以外は、ワンセグアンテナケーブル SO01を接続しなくてもマイク付ステレオヘッドセットのみでご利用いただけます。
- マイク付ステレオヘッドセットを使用中に着信すると、音楽やワンセグは停止し、着信音が流れます。
  - メディアプレイヤーを使用中に着信した場合、通話終了後にメディアプレイヤーの画面から再生キーをタップすると、音楽が再開します。
  - WALKMANを使用中に着信した場合、通話終了後に音楽が再開します。
  - ワンセグを視聴中に着信した場合、通話終了後にワンセグ画面を表示させると、ワンセグ放送が再開します。
- 市販のイヤホンを接続すると、イヤホンによっては音声が出力されない場合があります。

アルバム

画像や、カメラで撮影した写真や動画を閲覧・再生できます。また、Media Goを使って本端末にデータを転送したり、外部からデータを取り込んだりできます。詳細については、「microUSB接続ケーブルを使用する」（P.156）をご参照ください。

写真／動画を表示する

1 ホーム画面で をタップし、［アルバム］をタップする

- アルバム画面が表示されます。
- 動画ファイルには のアイコンが表示されます。

❖お知らせ

- 保存されている画像の枚数により、画面の読み込みに時間がかかる場合があります。

■ アルバム画面

① 画像タブ
- 画像を時系列で一覧表示します。

② マップタブ
- ジオタグが付加された画像を地図上に表示します。

③ アルバムの一覧を表示

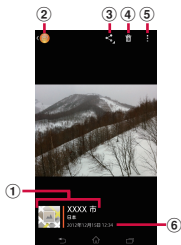
④ オプションメニューを表示

⑤ オンラインタブ
- 同期しているオンラインサービス上のアルバムの画像や、メディアサーバーに登録された機器での画像を表示します。

写真を再生する

1 アルバム画面で写真をタップする

- 写真が再生されます。
- 画面をタップすると、撮影日時などの情報やオプションメニューアイコンなどが表示されます。

■ 写真再生画面

① 位置情報
- ジオタグが付加された画像の場合は国名や地名が表示され、アイコンをタップすると地図上に画像が表示されます。

② 画像の一覧に戻る
③ 共有メニューを表示（P.209）
④ 画像の削除（P.210）
⑤ オプションメニューを表示
⑥ 画像の撮影日時

❖お知らせ

- 写真再生画面でピンチすると画像の表示を拡大／縮小することができます。
- 選択したファイルにより表示される項目は異なります。

動画を再生する

1 アルバム画面で動画をタップする
- 動画再生画面が表示されます。

2 をタップする
- 動画が再生されます。

画像ファイルを操作する

画像ファイルを共有する

画像ファイルをGmailやEメールなどに添付したり、PicasaやGoogle+などのオンラインサービスにアップロードしたり、Bluetoothや赤外線通信などの対応する機器に送信して共有することができます。

1 アルバム画面で共有する画像ファイルをタップする

2 画面をタップし、をタップする
- 画像ファイルの共有メニューが表示されます。
- ［すべて表示］をタップすると、すべての共有メニューが表示されます。

3 画像ファイルの共有方法を選択する
- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 選択した画像ファイルにより表示されるメニューは異なります。
- 選択した画像ファイルによっては、操作できない場合があります。

❖お知らせ

- アルバム画面でをタップし、［アイテムを選択］をタップして操作する画像ファイルを選択すると、複数の画像ファイルをまとめて操作することができます。

- 手順3で「赤外線」を選択すると、赤外線送信のメッセージが表示され、[OK]をタップすると、送信が始まります。赤外線通信の詳細については「赤外線通信を利用する」(P.160)をご参照ください。
- 共有可能なファイル容量、ファイル種別には特に制限はありませんが、転送するアプリケーションにより制限される場合があります。またDRM管理コンテンツは共有することができません。

画像ファイルを削除する

1 写真再生画面/動画再生画面で画面をタップし、 をタップして[OK]をタップする

- 画像ファイルが削除されます。

❖お知らせ

- 複数の画像ファイルを削除するには、アルバム画面で をタップし、[アイテムを選択]をタップして削除する画像ファイルを選択し、 をタップして[OK]をタップします。

オプションメニューを利用する

スライドショー表示や画像の編集、電話帳や壁紙への登録、撮影日時などの詳細情報の確認などが行えます。

1 写真再生画面/動画再生画面で画面をタップし、 をタップする

2 表示されたメニューから、利用したい項目を選択する

- 選択した画像ファイルにより表示されるメニューは異なります。
- 選択した画像ファイルによっては、操作できない場合があります。

❖お知らせ

- 手順2で「Throw」を選択すると、接続先の選択画面が表示されます(Wi-Fiネットワークに接続していない場合は、[設定]をタップするとWi-Fiネットワークの設定画面が表示されます)。接続先の選択画面で検索された機器を一覧から選択し再生先のデバイス名をタップすると、DLNA機器と本端末の間でファイルを共有できます。

YouTube

YouTubeは無料オンライン動画ストリーミングサービスで、動画の再生、検索、アップロードを行うことができます。

- モバイルネットワーク接続を使用して動画コンテンツをダウンロード・アップロードする際に、パケット通信料が発生します。

YouTube動画を再生する

1 ホーム画面で をタップし、[YouTube]をタップする

- Googleアカウントを設定していない場合は、Googleアカウント設定画面が表示されます。画面に従って設定してください。
- 動画の一覧が表示されます。カテゴリから選択することもできます。

2 **動画をタップして再生する**

- 画面をタップすると、再生／一時停止アイコンやプログレスバーが表示されます。プログレスバーのマーカーを左右にドラッグして、再生位置を変更できます。
- 本端末を横向きにすると、横画面表示に切り替えることができます。
- [戻る] をタップすると再生を停止して、動画の一覧画面に戻ります。
- YouTubeを終了するには、[ホーム] をタップします。

❖お知らせ

- 横画面表示で再生中に「CC」が表示される場合は、字幕が表示できるキャプション機能がある動画です。［CC］をタップすると、キャプション機能の設定ができます。
- 横画面表示で再生中に「HD」または「HQ」が表示される場合は、［HD］／［HQ］をタップすると高画質で再生されます。Wi-Fi接続中の場合は、はじめから高画質で再生されます。モバイルネットワーク接続でも、はじめから高画質で再生したい場合は、⋮をタップし、［設定］▶［全般］をタップして、「端末で高画質動画を表示」にチェックを入れます。
- 🔍をタップすると動画を検索できます。検索履歴を消去するには、⋮をタップし、［設定］▶［検索］▶［検索履歴を消去］▶［OK］をタップします。

テレビに接続して写真や動画を見る

本端末はMHL接続に対応しております。
MHL対応のテレビの場合は、市販のMHLケーブルを本端末のmicroUSB接続端子とテレビのMHL対応端子に差し込んで接続します。
HDMI対応のテレビの場合は、市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）とHDMIケーブルなどを利用して本端末と接続できます。
テレビに接続すると、写真や動画などをテレビの画面に表示させることができます。

テレビに接続してTV launcherからアプリケーションを起動する

1 **ホーム画面またはアプリケーション画面表示中の本端末を、MHLケーブルでテレビに接続する**

■ ホーム画面表示中の場合

- 自動的にTV launcherが起動します。

■ アプリケーション画面表示中の場合

- ステータスバーに[アイコン]、[MHL]が表示されます。ステータスバーを下にドラッグして、［TV launcher］をタップすると、TV launcherが起動します。

2 テレビをMHL入力のモードに切り替える

- 本端末の画面がテレビの画面に表示されます。

3 アイコンを左右にフリックして使用したいアプリケーションを選択する

❖お知らせ

- MHL接続時にステータスバーを下にドラッグして、[MHL接続]をタップすると、出力の設定やテレビリモコンの使用方法の確認などができます。
- TV launcher画面で、左上のWALKMANのアルバムアートを選択すると、WALKMAN画面が表示されます。
- TV launcher画面で[ホーム]をタップすると、本端末のホーム画面が表示されます。
- TV launcher画面で[追加]をタップまたは⋮をタップし[追加]をタップして、追加したいショートカットを選択すると、TV launcher画面にショートカットが追加されます。
- TV launcher画面で⋮をタップし、[並べ替え]をタップすると、TV launcher画面のショートカットを並べ替えることができます。
- TV launcher画面で⋮をタップし、[削除]をタップすると、TV launcher画面のショートカットを削除することができます。
- 本端末からMHLケーブルを取り外すと接続を終了しますが、テレビがMHL入力やHDMI入力のモードのままになる場合があります。テレビの取扱説明書に従って地上デジタルテレビのモードに切り替えるなどの操作を行ってください。
- MHL接続を使用しないときはMHLケーブルやHDMI変換コネクタなどを本端末から取り外し、MHL接続を解除してください。MHL接続されたままだと電池の消耗が早くなる場合があります。
- 本端末では、MHLによるテレビ出力において、解像度720×576p at 50Hzはサポートしておりません。
- 次の機器と接続することで、テレビのリモートコントローラーを使用してTV Launcher画面、ホーム画面やさまざまなアプリケーションを操作できます。
  - リモコン操作制御規格（RCP）をサポートしているMHL対応テレビ
  - リモコン操作制御規格（CEC）をサポートしているHDMI対応テレビ

  HDMI対応テレビと接続する場合は、RCPに対応している市販のHDMI変換コネクタ（MHL変換アダプタ）が必要です。
  また、アプリケーションによっては、リモコン操作に対応していない場合もあります。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーを利用して、microSDカードに保存した動画や音楽を再生します。

- パソコンから音楽データや動画データをコピーする方法については、「microUSB接続ケーブルを使用する」（P.156）をご参照ください。
- 再生可能なデータのファイル形式は、「マルチメディアコンテンツの再生」（P.206）をご参照ください。

メディアプレイヤーを起動する

1　ホーム画面で をタップし、[メディアプレイヤー]をタップする

- メディアプレイヤー画面が表示されます。

■ メディアプレイヤー画面

① タブ
- 表示する情報を切り替えます。
- 左右にフリックできます。

② オプションメニューを表示

❖お知らせ

- タブのアイコンの並び順を変更する場合は、 をタップして［設定］▶［アイコンの並べ替え］をタップし、変更したい項目の を上下にドラッグして［決定］をタップします。

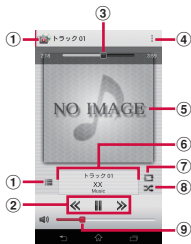
楽曲／動画を再生する

1　ホーム画面で をタップし、[メディアプレイヤー]をタップする

- 画面下部のタブの［ムービー］をタップすると、動画の一覧が表示されます。

2　楽曲／動画をタップする

- 再生画面が表示され、楽曲／動画の再生が始まります。

■ 楽曲再生画面

① 楽曲一覧に戻る

② 楽曲の先頭に戻るまたは前の楽曲へスキップ／再生または一時停止／次の楽曲へスキップ

③ 再生位置
- アルバムアートをタップすると表示されます。

④ オプションメニューを表示

⑤ アルバムアート

⑥ 楽曲情報を表示

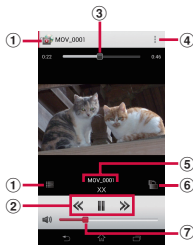
⑦ リピートオフ／リピートオン／1曲リピート

⑧ シャッフルオフ／シャッフルオン

⑨ 音量調節
- 楽曲の再生中に［◁ ▷］を押しても音量を調節できます。

❖お知らせ

- ホーム画面に戻って、他の操作をしながらバックグラウンドで楽曲を聴くことができます。楽曲再生画面に戻るには、ステータスバーを下にドラッグして再生中の楽曲名をタップします。

■ 動画再生画面

① 動画一覧に戻る
② 動画の先頭に戻るまたは前の動画へスキップ／再生または一時停止／次の動画へスキップ
③ 再生位置
④ オプションメニューを表示
⑤ 動画情報を表示
⑥ 画面の自動回転オン／オフ
- をタップすると赤くなり、画面の自動回転がオフになります。

⑦ 音量調節
- 動画の再生中に［◁ ▷］を押しても音量を調節できます。

❖お知らせ

- 横画面表示の場合は、画面をタップするとオプションメニューアイコンなどが表示されます。

プレイリスト

プレイリストを利用して、楽曲をお好みの順番に再生することができます。

プレイリストを作成する

1 ホーム画面で をタップし、［メディアプレイヤー］をタップする

2 画面下部のタブを左右にフリックして、［プレイリスト］をタップする
- プレイリスト画面が表示されます。

3 ［プレイリスト作成］をタップし、プレイリスト名を入力して［OK］をタップする

4 ［プレイリストに曲を追加］をタップし、追加したい楽曲を選択する
- 「アーティスト」や「アルバム」から楽曲を選択することもできます。
- 選択された楽曲は が赤くなり、タップするたびにプレイリストに追加されます。

5 ［決定］▶［完了］▶［OK］をタップする

プレイリストの曲を編集する

1 プレイリスト画面で編集したいプレイリストを選択して［編集］をタップする

■ 楽曲の並び順を変更する場合

並び順を変更したい楽曲の ≑ を上下にドラッグし、［完了］▶［OK］をタップする

■ 楽曲をプレイリストから削除する場合

削除したい楽曲を選択し、［完了］▶［OK］をタップする

プレイリストを削除する

1 プレイリスト画面で［編集］をタップする

2 削除したいプレイリストをタップする

3 ［完了］▶［OK］をタップする

❖お知らせ

- 「最近追加した曲」「最近再生した曲」「再生回数が多い曲」は削除できません。

Timescape™

Timescape™（以降は、Timescapeと略します）は、Facebook、Foursquare、Twitter、mixiの更新などの履歴が画面上に時系列で表示されます。1つの履歴を表示する前に、個別の履歴をタイル形式にして時系列で並べたプレビューを表示できます。また、（インフィニットボタン）を使用すると、登録した連絡先に関するすべてのコミュニケーション情報を表示できます（P.218）。

❖お知らせ

- ソーシャルネットワークサービス（SNS）を設定することでTimescapeの利点を最大限に活用できます。設定したFacebook／Foursquare／Twitter／mixiなどの更新内容をTimescapeから確認することができます。
- ソーシャルネットワークのアカウントをまだお持ちでない場合は、次のホームページからそれぞれのアカウントを新規作成します。
  - Facebook
    http://www.facebook.com
  - Foursquare
    https://ja.foursquare.com
  - Twitter
    http://www.twitter.com
  - mixi
    http://mixi.jp
- Gmailやその他のEメールアプリケーションに設定したEメールアカウントのEメールは、Timescapeには表示されませんのでご注意ください。

Timescapeの初期設定をする

Timescapeを初めて使用するときは、セットアップウィザードにより各アカウント登録に必要な手順が表示されます。

1 **ホーム画面で をタップし、［Timescape™］をタップする**

2 **タイルをタップする**

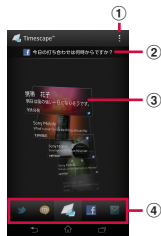
3 **必要に応じて、Facebook／Foursquare／Twitter／mixiのアカウント情報を入力する**

4 **［完了］をタップする**

❖お知らせ

- セットアップウィザード中に、アカウント情報を登録する画面で［拡張機能検索］をタップすると、Google Playに接続して、Timescapeの新たなサービスを検索できます。
- セットアップウィザード完了後も、Timescape画面で をタップし、［設定］▶［サービスを設定］をタップしてTimescapeの設定を変更することができます。
- Facebook／Foursquare／Twitter／mixiの自動更新を設定すると、より速く情報の更新を確認できますが、電池の消耗が早くなります。手動更新に設定することで電池を節約することができます。

Timescapeを起動する

■ Timescape画面

① オプションメニューを表示
② 最新のコメント
- Facebook／Foursquare／Twitter／mixiに投稿した最新のコメントを表示します。

③ タイル
- Facebook／Foursquare／Twitter／mixiの友人からの更新の各種情報を時系列に沿って表示します。

④ フィルター
- フィルターアイコンをタップして、特定のサービスの情報に絞り込みます。
- フィルターの並び順は、異なる場合があります。

サービスごとにタイルを表示する

フィルターを適用すると、表示するタイルをサービスごとに絞り込むことができます。

1 Timescape画面でフィルターアイコンをタップする

フィルターアイコン	表示するタイル
	すべてのタイル
	Facebookの更新情報タイル
	Foursquareの更新情報タイル
	Twitterの更新情報タイル
	mixiの更新情報タイル

タイルをプレビューする

タイルを選択して、タイル上で内容を確認できます。

1 タイルを上下にフリックし、確認したいタイルを表示する

タイルの詳細情報を表示する

1 タイルを上下にフリックし、確認したいタイルを表示する

2 タイルをタップする

- タイルの詳細情報画面が表示されます。

タイルのアイコン

タイルの中に表示されるアイコンは、次の情報内容を示しています。タイルをタップして、各サービスの更新情報を表示できます。

アイコン	情報内容
	Facebook更新
	Foursquare更新
	Twitter更新
	mixi更新

Timescape画面を更新する

Timescape画面を更新すると、インターネットに接続してTimescapeでアカウント設定済みのFacebook、Foursquare、Twitter、mixiの情報を更新します。

1 Timescape画面で をタップし、［更新］をタップする

TimescapeからFacebook、Foursquare、Twitter、mixiへ投稿する

1 Timescape画面で をタップし、［ステータスを入力］をタップする

2 投稿するサービスにチェックを入れて、［続行］をタップする

3 テキストを入力し、［投稿］をタップする

Timescapeのインフィニットボタン

タイルをタップすると、右上に（インフィニットボタン）が表示される場合があります。をタップすると、連絡先に登録された情報やフィルターごとの履歴を表示できます。

Timescapeから連絡先の登録情報を表示する

1 Timescape画面でタイルをタップする

2 をタップする

- 選択されているタイルの種別ごとの履歴や情報が表示されます。画面下部に表示されるフィルターを左右にフリックすると、表示する情報を切り替えることができます。

Timescapeの設定をする

1 Timescape画面でをタップし、［設定］をタップする

更新方法	Timescapeを起動時に、アカウント設定済みのFacebook、Foursquare、Twitter、mixiの情報を手動／自動で更新するように設定します。
Timescape™コンテンツ	Timescapeに表示するコンテンツ種別を変更します。
サービスを設定	Facebook／Foursquare／Twitter／mixiのアカウントを設定したり、Timescapeの新たなサービスを検索します。

位置情報サービスについて

現在地の測位には、モバイルネットワークとWi-Fi（無線ネットワーク）またはGPSを使用する2つの方法があります。無線ネットワークでは、スピーディに現在地が測位されますが、正確さにばらつきがある場合があります。GPSを使用すると、多少時間がかかることはありますが、正確な現在地が測位されます。現在地を測位するときに、無線ネットワークとGPSの両方を有効にして、両方のメリットを得ることができます。

GPS機能

本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPS機能は、インターネットを使用します。データの転送には、課金が発生する場合があります。

現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることを確認してください。数分経ってもGPS受信機で現在地を測位できない場合は、別の場所に移動する必要があります。測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部、FOMA／Xi／Wi-Fi／Bluetoothアンテナ部（P.28）を覆わないようにしてください。

GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度かかることがあります。

- GPSシステムのご利用には十分注意してください。システムの異常などにより損害が生じた場合、弊社では一切の責任を負いかねますので、ご了承ください。
- 本端末の故障、誤動作、異常、あるいは停電などの外部要因（電池切れを含む）によって、測位（通信）結果の確認などの機会を逸したために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末は、航空機、車両、人などの航法装置として使用できません。そのため、位置情報を利用して航法を行うことによる損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 高精度の測量用GPSとしては使用できません。そのため、位置の誤差による損害が発生しても、弊社は一切その責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 車の日よけに金属が使用されていると、GPSを受信しにくくなることがあります。
- 衛星利用測位（GPS）は、米国防省により構築され運営されています。同省がシステムの精度や維持管理を担当しています。このため、同省が何らかの変更を加えた場合、GPSシステムの精度や機能に影響が出る場合があります。

- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。
- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確でない場合があります。

■ 受信しにくい場所

GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、以下の条件では、電波を受信できない、または受信しにくい状況が発生しますのでご注意ください。

- 建物の中や直下
- かばんや箱の中
- 密集した樹木の中や下
- 自動車、電車などの室内
- 本端末の周囲に障害物（人や物）がある場合
- 地下やトンネル、地中、水中
- ビル街や住宅密集地
- 高圧線の近く
- 大雨、雪などの悪天候

❖**注意**

- 一部、または全部のGPS機能を使用できない場合は、契約内容にインターネットの利用が含まれていることをご確認の上、「無線とネットワーク」（P.118）をご参照ください。
- 弊社はナビゲーションサービスに限らず、いずれの位置情報サービスの正確性も保証しません。

GPS機能を有効にする

1 **ホーム画面で をタップし、［設定］をタップする**

2 **［位置情報サービス］をタップする**

3 **［GPS機能］をタップする**

4 **注意文を読んで［同意する］をタップする**

- 「GPS機能」にチェックが入ります。

❖**お知らせ**

- ステータスバーを下にドラッグして をタップし、注意文を読んで［同意する］をタップしてもGPS機能を有効にできます。

現在地検索を有効にする

モバイルネットワークとWi-Fiを使った現在地検索を有効にします。

1 **ホーム画面で をタップし、［設定］をタップする**

2 **［位置情報サービス］をタップする**

3 **［Google位置情報サービス］をタップする**

4 **注意文を読んで［同意する］をタップする**

5 **位置情報についての注意文を読んで、［同意する］をタップする**

- 「Google位置情報サービス」にチェックが入ります。

❖お知らせ

- 無線ネットワークを利用した位置情報は個人を特定しない形で収集されます。なお、アプリケーションが起動していない場合でも位置情報を収集することがあります。

Googleマップを使用する

Googleマップで、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索を行うことができます。Googleマップを起動すると、近くの基地局からの情報によって、おおよその現在地が表示されます。GPS受信機が現在地を測位すると、現在地はより正確な場所に更新されます。

❖お知らせ

- 現在地を取得する前に位置情報サービスの設定を有効にしてください。
- Googleマップを利用するには、データ接続可能な状態（LTE/3G/GPRS）にあるか、Wi-Fi接続が必要です。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- LTE/3G/Wi-Fiの接続のみでは、現在位置が検出されない場合があります。
- Googleにより最新のサービス、機能が提供される場合があります。

1 ホーム画面で をタップし、［マップ］をタップする

- メッセージが表示された場合は、［OK］をタップします。
- マップ画面が表示されます。

地図上で現在地を検出する

1 マップ画面で をタップする

- 現在地が地図上で青い丸印の点滅で表示されます。
- をタップすると、本端末の地磁気コンパスと地図上で表示される方角が連動します。

ストリートビューを見る

ストリートビューは対応していない地域もあります。非対応の場合は、ストリートビューのアイコンが薄いグレーで表示されます。

1 マップ画面でストリートビューで表示したい地点をロングタッチする

2 表示された吹き出しをタップする

3 ［ストリートビュー］▶［OK］をタップする

- ストリートビュー表示中に をタップし、［コンパスモード］をタップすると本端末の地磁気コンパスとストリートビューで表示される方角が連動します。

興味のある場所を検索する

1 **マップ画面で をタップする**

2 **検索バーに検索する場所を入力する**

- 住所、都市、ビジネスの種類や施設（例えば、ロンドン　美術館）を入力できます。
- 以前に検索、または参照した場所のリストが画面に表示された場合は、リストの住所などをタップし、地図上でその位置を表示することもできます。

3 **ソフトウェアキーボードの を タップする**

- 地図上に検索した場所が表示されます。
- マップ画面上部に「もしかして…」と表示された場合やマップ画面下部に「検索結果一覧」と表示された場合にタップすると、表示する場所を選択することができます。

4 **目的の場所をタップする**

- 詳細情報画面が表示されます。

❖お知らせ

- 詳細情報画面では、検索した場所への経路を確認したり、電話番号を確認したりすることができます。場所によって表示される項目は異なります。
- マップ画面で をタップすると、「レストラン」「カフェ」などのカテゴリを選択して検索し、地図表示できます。

地図を拡大／縮小する

1 **マップ画面をピンチイン／アウトする**

❖お知らせ

- 画面をダブルタップしても拡大できます。

レイヤを変更する

地図上に重ねる情報を選択できます。

1 **マップ画面で をタップする**

2 **表示する情報をタップする**

- 交通状況と路線図は提供地域が限定されています。

交通状況	交通状況を表示します。
航空写真	航空写真を表示します。
地形	地形を表示します。
路線図	路線情報を表示します。
Latitude	Latitudeに参加します。
マイマップ	パソコンで作成したマイマップを閲覧できます。マイマップは本端末からは閲覧するだけで作成できません。
ウィキペディア	W を表示します。 W をタップするとその場所に関するWikipediaの記事を閲覧できます。

道案内を取得する

Googleマップを利用して、目的地への詳しい道案内を取得できます。

1 マップ画面で をタップする

2 上の入力欄に出発地を入力し、下の入力欄に目的地を入力する

- 入力欄の右にある をタップして「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、目的地を選択することもできます。

3 移動の方法を （車）／ （公共交通機関）／ （徒歩）から選択する

- 公共交通機関を選択した場合は、優先する交通機関や条件を選択することができます。

4 ［経路を検索］をタップする

■ 車／徒歩の場合

経路が地図で表示されます。

■ 公共交通機関の場合

経路の一覧が表示されます。好みの経路をタップすると、詳細が確認できます。

❖お知らせ

- をタップすると、「ナビ」アプリケーションが表示されます。「ナビ」アプリケーションを利用すると、現在地を出発点にした経路検索が簡単にご利用いただけます。

地図をクリアする

表示されたレイヤや経路検索結果などを消去します。

1 マップ画面で をタップし、［地図をクリア］をタップする

- クリアする内容がない場合にはタップできません。

Google Latitudeで友人の現在地を確認する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友人と位置情報を共有することができます。
友人と位置情報を共有するには、Googleアカウントを設定（P.141）してLatitudeに参加し、自分の位置情報を提供する友人を招待するか、友人からの招待を受ける必要があります。

Latitudeに参加する

あらかじめ位置情報サービスを有効にしておく必要があります。詳しくは、「現在地検索を有効にする」（P.220）または「GPS機能を有効にする」（P.220）をご参照ください。

1 ホーム画面で をタップし、［Latitude］をタップする

2 ［地図表示］をタップする

❖お知らせ

- Latitudeの設定および無効化は、マップ画面で をタップし、［設定］▶［現在地設定］をタップして表示される画面から行います。
- Latitudeの詳細については、マップ画面で をタップし、［ヘルプ］▶［操作手順］▶［その他のマップの機能］▶［Latitude］をタップして、Latitudeのヘルプをご覧ください。

カレンダー

本端末にはスケジュールを管理するカレンダーが搭載されています。Googleアカウントを持っている場合は、本端末のカレンダーとウェブカレンダーを同期することができます。詳しくは、「アカウントと同期」（P.141）をご参照ください。

- Googleアカウントを登録した場合は、「アカウントと同期」内に表示されているGoogleアカウントをタップして、同期項目の［カレンダーを同期］をタップしてください。予定の作成などができるようになります。

カレンダーを表示する

1 ホーム画面で をタップし、［カレンダー］をタップする

- カレンダー画面が表示されます。

2 ［月］／［週］／［日］をタップする

- をタップすると、本端末に設定した現在の日時にカーソルが移動します。
- カレンダー部分を左右にフリックすると、月表示では前後の月、週表示では前後の週、日表示では前後の日を表示します。
- 週表示、日表示で画面をピンチすると、カレンダーの表示を拡大／縮小することができます。

カレンダーの予定を作成する

1 カレンダー画面で ＋ をタップする

2 予定のタイトル、日時、場所、内容を入力する

- 複数のカレンダーアカウントを持っている場合は、目的のカレンダーを選択します。

3 予定の通知間隔を選択する

- 予定に新しい通知を追加するには、「通知を追加」の ＋ をタップします。

4 ［完了］をタップする

❖お知らせ

- 「その他」の をタップして画面を上にフリックすると、「繰り返し」「参加者」「タイムゾーン」「外部向け表示」「公開設定」を設定できます。

カレンダーの予定を表示する

1　カレンダー画面で予定のある日付／時間をタップする

2　詳細を表示する予定をタップする

❖**お知らせ**

- カレンダー画面で ⁝ をタップし、［マイカレンダー］をタップしてdocomoアカウントと同期して表示すると、「スケジュール」アプリケーションで作成した予定もカレンダーの予定に表示できます。
- Facebookにログインしている場合は、「Xperia™用Facebook」（P.143）の［カレンダーを同期］をタップすることで、Facebookのイベントもカレンダーの予定に表示できます。

カレンダーの予定を検索する

1　カレンダー画面で ⁝ をタップし、［予定の検索］をタップする

2　検索ボックスにキーワードを入力し、ソフトウェアキーボードの 🔍 をタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると予定の詳細が表示されます。

予定のリマインダーを解除またはスヌーズを設定する

1　ステータスバーにリマインダーアイコン（31）が表示されたら、ステータスバーを下にドラッグする

- リマインダーアイコンは通知を設定した時刻になると表示されます。

2　目的の予定をタップする

3　［すべてスヌーズ］／［すべて解除］をタップする

- 該当の予定のほかにも保留中の予定がある場合、それらの予定も同じ画面に表示されます。
- ［すべてスヌーズ］をタップすると、すべてのアラームが5分後に再び鳴ります（スヌーズとは、いったんアラームのスイッチを切ってもしばらくするとアラームが鳴るようにする機能です）。

カレンダーの設定を変更する

カレンダーの表示、リマインダーの通知方法、通知音、バイブレーション、リマインダー通知時間を設定します。

1　カレンダー画面で ⁝ をタップし、［設定］をタップする

2　変更する項目を選択する

アラームと時計

「アラームと時計」アプリケーションでは、アラームを設定できるほか、世界時計やストップウォッチ、タイマーなどを利用できます。

1 ホーム画面で をタップし、[アラームと時計]をタップする

- アラーム画面が表示されます。

■ アラーム画面

① 時計表示
- タップすると日付と時刻（P.153）の設定画面が表示されます。

② アラームの追加（P.226）
③ アラーム設定一覧
④ 時計を全画面表示
⑤ アラーム画面を表示
⑥ 世界時計を表示（P.227）
⑦ ストップウォッチを表示（P.228）
⑧ タイマーを表示（P.229）
⑨ アラーム設定を削除（P.227）

アラームを設定する

1 アラーム画面で［アラームを追加］をタップする

2 時刻などを設定し、［完了］をタップする

- ［詳細設定］をタップすると、すべての設定項目が表示されます。

時刻	数字を上下にドラッグして時刻を設定します。
繰り返し	アラームを使用する曜日を設定します。
アラーム音	アラーム音を設定します。
スヌーズ間隔	アラーム音を止めてからもう一度アラーム音が鳴るまでの時間を設定します。
アラームテキスト	アラーム鳴動中に表示されるテキストを入力して設定します。
スタイル設定	チェックを入れてからタップしてアラームスタイルを設定すると、設定した画像がアラーム鳴動中に表示されます。
バイブレーション	アラーム時刻に振動するかどうかを設定します。
アラームの音量	スライダを左右にドラッグして音量レベルを調整します。
マナーモード中の鳴動	マナーモードに設定中でもアラームが鳴動するかどうかを設定します。
サイドキーの動作	アラーム鳴動中に を押したときの動作を設定します。

自動消音時間	アラーム鳴動が自動で止まる時間を設定します。

❖お知らせ
- アラームのオン／オフを切り替えるには、アラーム画面でをタップするか、アラーム設定をロングタッチして［アラームをONにする］／［アラームをOFFにする］をタップします。
- アラームがオンになると、の下のラインが青色に点灯します。

アラームを削除する

1 アラーム画面で をタップし、削除したいアラームにチェックを入れる

2 ［削除］▶［はい］をタップする
- 「削除」の右側には、チェックを入れたアラームの数が表示されます。

❖お知らせ
- アラーム画面で削除したいアラーム設定をロングタッチして［アラームを削除］▶［はい］をタップしても、アラームを削除することができます。

アラームが鳴っているときにアラームを止める

1 アラームが鳴っているときに を右へドラッグする

❖お知らせ
- ［スヌーズ］をタップすると、「スヌーズ間隔」（P.226）で設定した時間の経過後に、再度アラームが鳴ります。

世界時計を利用する

世界各地の都市の日時を表示できます。

1 アラーム画面で「世界時計」タブをタップする
- 世界時計画面が表示されます。

2 ［都市を追加］をタップする

3 都市を選択する

❖お知らせ
- をタップすると、本端末に設定されている日時を全画面表示します。
- 都市を追加してをタップし、追加した都市の一覧を左右にフリックすると、本端末の設定と連動した日時を確認することができます。
- サマータイム期間中の各都市の時刻表示は、手順2の都市を追加する画面で表示される標準時間（GMT）との時差表示とは異なる場合があります。

世界時計を変更する

世界時計の摂氏／華氏の表示を変更したり、並べ替えをしたり、削除したりできます。

1 世界時計画面で をタップする

■ 所在地を設定する

[所在地の設定］をタップし、都市を選択する

■ 摂氏／華氏の表示を変更する

[摂氏］／［華氏］をタップする

■ 並べ替える

[並べ替え］をタップし、追加した都市の日時の横にあるを上下にドラッグして［完了］をタップする

■ 削除する

[削除］をタップし、削除したい都市にチェックを入れて［削除］▶［はい］をタップする

- 「削除」の右側には、チェックを入れた都市の数が表示されます。
- 世界時計画面で削除したい都市をロングタッチし、［都市を削除］▶［はい］をタップしても、削除することができます。

ストップウォッチを利用する

1 アラーム画面で「ストップウォッチ」タブをタップする

2 ［開始］をタップする

- 測定が開始され、ステータスバーにが表示されます。
- ［ラップ］をタップすると、途中計時が計測されます。

3 ［停止］をタップする

- ［開始］をタップすると、測定を再開できます。
- ［リセット］をタップすると、計測した時間やラップタイムを消去します。

❖お知らせ

- をタップすると、本端末に設定されている日時を全画面表示します。

タイマーを利用する

1 **アラーム画面で「タイマー」タブをタップする**

2 **［時間設定］をタップする**

3 **数字を上下にドラッグして時間を合わせ、［設定］をタップする**

4 **［開始］をタップする**

- タイマーが開始され、ステータスバーにが表示されます。

5 **［停止］をタップする**

- 設定した時間が経過したときのアラーム音を停止します。
- 設定時間内に［停止］をタップすると、タイマーを一時停止できます。［開始］をタップすると、タイマーを再開します。

❖お知らせ

- をタップすると、本端末に設定されている日時を全画面表示します。
- をタップすると、過去に設定したタイマーの履歴から時間設定ができます。
- をタップし、アラーム音を選択して［完了］をタップすると、アラームの音を変更することができます。
- 任意のアプリケーションを使用しながら をタップし、をタップすると、スモールアプリ（P.80）のタイマーを利用することができます。

ドコモバックアップ

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

- バックアップまたは復元中に本端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。本端末内のデータが破損する場合があります。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、本端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- バックアップや復元には、ドコモアプリパスワードが必要です。ドコモアプリパスワードの設定については、「ドコモアプリパスワード」（P.140）を参照ください。

❖お知らせ

- ドコモバックアップの詳細については、をタップし、［ヘルプ］をタップして表示されるヘルプをご覧ください。

バックアップする

本端末のメモリ構成上、microSDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは内部ストレージに保存されます。本アプリケーションでは画像・動画などのデータのうち内部ストレージに保存されているもののみバックアップされます。microSDカードに保存されているデータはバックアップされません。

1 ホーム画面で をタップし、［ドコモバックアップ］をタップする

2 ［microSDカードへ保存］をタップする

- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 ［バックアップ］をタップする

4 バックアップするデータにチェックを入れる

- ［すべて選択］をタップすると、すべてのデータにチェックを入れます。

5 ［バックアップ開始］▶［OK］をタップする

6 ドコモアプリパスワードを入力し、［OK］をタップする

- microSDカードにデータがバックアップされます。

復元する

1 ホーム画面で をタップし、［ドコモバックアップ］をタップする

2 ［microSDカードへ保存］をタップする

- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 ［復元］をタップする

4 復元するデータ種別の［選択］をタップし、復元するデータにチェックを入れて［選択］をタップする

- ［最新データを選択］をタップすると、データ種別ごとの最新のバックアップデータを選択します。

5 ［追加］／［上書き］をタップして復元方法を選択し、［復元開始］▶［OK］をタップする

6 ドコモアプリパスワードを入力し、［OK］をタップする

- バックアップしたデータが復元されます。

Googleアカウントの電話帳をdocomoアカウントにコピーする

Googleアカウントに登録された連絡先データや、本端末内に登録された連絡先データをdocomoアカウントにコピーできます。

1 ホーム画面で をタップし、[ドコモバックアップ]をタップする

2 [microSDカードへ保存]をタップする

- 初めてご利用される際には、「利用許諾契約書」に同意いただく必要があります。

3 [電話帳アカウントコピー]をタップし、コピーしたいGoogleアカウントの電話帳の[選択]をタップする

4 [上書き]/[追加]をタップする

- 電話帳データが、docomoアカウントにコピーされます。

❖お知らせ

- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。

OfficeSuite

OfficeSuiteを利用して、本端末やmicroSDカードからWord、Excelなどのファイルを閲覧できます。

❖お知らせ

- 一部のファイルでは、レイアウトが崩れるなど正常に閲覧できない場合があります。

OfficeSuiteを起動する

1 ホーム画面で をタップし、[OfficeSuite]をタップする

- OfficeSuiteが起動します。

❖お知らせ

- 初めて使用するときは、名前などを登録する画面が表示されます。画面の指示に従って操作してください。

国際ローミングサービス（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

■ 対応ネットワークについて

本端末は、クラス4になります。3Gネットワーク およびGSM/GPRSネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz/GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。海外ではXiエリア外のため、3GネットワークおよびGSM/GPRSネットワークをご利用ください。

■ 海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。

- 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
- ドコモの「国際サービスホームページ」

❖お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国・地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM (GPRS)
電話	○	○	○
メッセージ（SMS）	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、モバイルネットワーク設定の「データローミング」にチェックを入れてください（P.236）。

❖お知らせ

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

■ ご契約について

- WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳細は裏表紙の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 充電について

- 海外旅行で充電する際のACアダプタは、ACアダプタ 03（別売品）をご利用ください。

■ 料金について

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

ネットワークサービスの設定について

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス・転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには、「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます（P.240）。
- 設定／解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、本端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

接続について

「携帯電話事業者」の設定で「検索モード」を「自動」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します
（P.235）。
定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が一日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

ディスプレイの表示について

国際ローミング中は、がステータスバーに表示されます。

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

❖注意

- ステータスバーにが表示中は、パケット通信の利用が可能となりますが、パケット通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

日付と時刻について

「日付と時刻」の「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックを入れている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻・時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 日付と時刻（P.153）

お問い合わせについて

- 本端末やドコモUIMカード／ドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、裏表紙をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

- 「ネットワークモード」を「LTE/WCDMA/GSM（自動）」に設定してください（P.236）。
- 「携帯電話事業者」の設定で「検索モード」を「自動」に設定してください（P.235）。

海外利用に関する設定を行う

国際ローミング開始時や利用中のネットワークが圏外になったとき、利用可能なネットワークに切り替える必要があります。

❖お知らせ

- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。手動でパケット通信を切断するには、ホーム画面で⊞をタップし、［設定］▶［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］をタップして「データ通信を有効にする」のチェックを外します。

ネットワークの検索モードを確認して切り替える

お買い上げ時のネットワークの検索モードは、「自動」に設定されています。手動で海外の定額サービスの対象事業者へ接続する場合は、次の操作で検索モードを確認して、「手動」に切り替えます。

1 ホーム画面で⊞をタップし、［設定］をタップする

2 ［その他の設定］▶［モバイルネットワーク］▶［携帯電話事業者］をタップする

- 注意文が表示された場合は、［OK］をタップします。

3 ［検索モード］▶［手動］をタップする

4 「利用可能なネットワーク」の中から使用するネットワークにチェックを入れる

- ［ネットワークを検索］をタップすると、利用可能なネットワークが表示されます。

❖お知らせ

- ネットワークを手動で設定した場合、圏外に移動しても、別のネットワークに自動的に接続されません。
- 「自動」に戻す場合は、手順3で［自動］をタップします。

ネットワークモードを変更する

海外の携帯電話事業者が採用しているネットワークモード（通信方式）に応じて、ネットワークモードの設定を変更できます。

1 ホーム画面で をタップし、[設定]をタップする

2 [その他の設定] ▶ [モバイルネットワーク] ▶ [ネットワークモード]をタップする

3 使用するネットワークモードを選択する

- 「LTE/WCDMA」「GSMのみ」「LTE/WCDMA/GSM（自動）」から選択できます。「LTE/WCDMA/GSM（自動）」を選択すると、利用できるネットワークを自動的に切り替えます。

データローミングを有効にする

1 ホーム画面で をタップし、[設定]をタップする

2 [その他の設定] ▶ [モバイルネットワーク] をタップする

3 [データローミング] をタップする

4 注意文を読んで [はい] をタップする

- 「データローミング」にチェックが入ります。

滞在先での電話のかけかた／受けかた

海外に到着後、本端末の電源を入れると、利用可能な通信事業者が自動的に設定されます。

- 電池の残量および受信レベルが十分であることを確認してください。
- 通信事業者によっては、発信者番号通知を設定していても、発信者番号が通知されなかったり、正しく番号表示されないことがあります。
  この場合、発着信履歴から電話をかけることはできません。

滞在国外（日本含む）に電話をかける

国際ローミングサービスを利用して、海外から電話をかけることができます。

- 先頭に「+」を付けてから相手先の国番号と電話番号を入力すると、滞在先から日本、または他の国へ簡単に国際電話をかけることができます。

1 ホーム画面で をタップし、「ダイヤル」タブをタップする

2 **+（[0] をロングタッチする）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶相手先電話番号の順に入力する**

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要になる場合があります。
- 電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、国番号として「81」（日本）を入力してください。

3 **をタップする**

❖**お知らせ**

- 国際ローミング中にドコモの電話アプリを利用して日本へ国際電話をかけると、「国際ダイヤルアシスト」画面が表示され、国番号を入力しなくても電話をかけることができます。
国際ダイヤルアシストの設定について詳しくは、「国際ダイヤルアシストを設定する」（P.239）をご参照ください。

滞在国内に電話をかける

日本国内で電話をかける操作と同様に、相手の一般電話や携帯電話の番号を入力するだけで電話をかけることができます。

1 **ホーム画面でをタップし、「ダイヤル」タブをタップする**

2 **相手の電話番号を入力する**

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）+相手先電話番号を入力します。

3 **をタップする**

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

相手が国際ローミング中の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

滞在先で電話を受ける

海外でも国際ローミングサービスを利用して、電話を受けることができます。

1 **着信時に（左）をロングタッチして（右）へドラッグする**

2 **会話が終了したら、[通話終了] をタップする**

❖お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。

■ 自分にかけてもらう方法

- 日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合
  日本国内の一般電話、携帯電話から滞在先の本端末に電話をかけてもらう場合は、日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルしてもらうだけで電話をかけることができます。
- 日本以外から滞在先に電話をかけてもらう場合
  滞在先に関わらず日本経由で電話をかけるため、発信国の国際電話アクセス番号および「81」（日本の国番号）をダイヤルしてもらう必要があります。
  発信国の国際電話アクセス番号 - 81 - 90（または80）- XXXX - XXXX

国際ローミングの設定

国際ローミングサービスを利用するときの設定や、国際電話を利用するための設定を行います。

海外での発着信設定

海外での着信を規制したり、ローミングガイダンスの利用を設定します。

- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

ローミング時の着信を規制する

1 **ホーム画面で をタップし、 をタップする**

2 **［通話設定］▶［海外設定］をタップする**

3 **［ローミング時着信規制］をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

規制開始	「全着信規制」／「テレビ電話／64Kデータ着信規制」のどちらかを選択し、ネットワーク暗証番号を入力して［OK］をタップします。
規制停止	ネットワーク暗証番号を入力して［OK］をタップします。
設定の確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

ローミング着信通知を設定する

1 **ホーム画面で をタップし、 をタップする**

2 **［通話設定］▶［海外設定］をタップする**

3 **［ローミング着信通知］をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

着信通知設定開始	［OK］をタップすると、着信通知設定を開始します。
着信通知設定停止	［OK］をタップすると、着信通知設定を停止します。
設定の確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

ローミングガイダンスの設定をする

1 **ホーム画面で をタップし、 をタップする**

2 **［通話設定］▶［海外設定］をタップする**

3 **［ローミングガイダンス］をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

ローミングガイダンス開始	［OK］をタップすると、ローミングガイダンスを開始します。
ローミングガイダンス停止	［OK］をタップすると、ローミングガイダンスを停止します。
設定の確認	現在のサービスの設定内容を確認します。

国際ダイヤルアシストを設定する

1 **ホーム画面で をタップし、 をタップする**

2 **［通話設定］▶［海外設定］をタップする**

3 **［国際ダイヤルアシスト］をタップする**

- 利用したい項目を選択します。

自動変換機能	国際プレフィックスまたは国番号を自動で追加します。
国番号	［OK］をタップし、自動変換機能で使用される国番号を選択します。
国際プレフィックス	［OK］をタップし、自動変換機能で使用される国際プレフィックスを選択します。

ネットワークサービス（海外）を設定する

滞在国で利用する留守番電話サービスなどのネットワークサービスを設定します。

- 海外から操作した場合は、滞在国から日本までの通話料がかかります。
- 海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 **ホーム画面で をタップし、 をタップする**

2 **［通話設定］▶［海外設定］をタップする**

3 ［ネットワークサービス］をタップする

- 利用したい項目を選択します。「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。

留守番電話サービス（有料）	留守番電話サービス開始（海外）	［OK］をタップします。※
	留守番電話サービス停止（海外）	［OK］をタップします。※
	留守番電話メッセージ再生（海外）	［OK］をタップします。この後は音声ガイダンスの指示に従ってメッセージを再生します。
	留守番電話サービス設定（海外）	［OK］をタップします。※
	留守番電話呼出時間設定（海外）	［OK］をタップします。※
ローミング着信通知（有料）		［OK］をタップします。※
番号通知お願いサービス（有料）		［OK］をタップします。※
ローミングガイダンス（有料）		［OK］をタップします。※
遠隔操作（有料）		［OK］をタップします。※
転送でんわサービス（有料）	転送でんわサービスを開始します	［OK］をタップします。※
	転送でんわサービスを停止します	［OK］をタップします。※
	設定の確認	［OK］をタップします。※

※ 音声ガイダンスの指示に従って設定してください。

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。
なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。
また、オプション品の詳細については、各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー SO21
- 電池パック SO08
- ワンセグアンテナケーブル SO01
- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01／02
- ACアダプタケーブル SO03
- ACアダプタ 03
- DCアダプタ 03
- 卓上ホルダ SO14
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01
- ワイヤレスイヤホンセット 03
- ドライブネットクレイドル 01

トラブルシューティング

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新（P.251）してください。
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

本端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.31
- 電池切れになっていませんか。→P.32

■ 充電

充電ができない
（通知LEDが点灯しない、電池アイコンが充電中に変わらない）

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P.31
- アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。→P.34、P.35

- アダプタと本端末が正しくセットされていますか。→P.34
- ACアダプタ 03（別売品）をご使用の場合、microUSB接続ケーブルのプラグが本端末やACアダプタ、または付属の卓上ホルダと正しく接続されていますか。→P.33、P.34
- 卓上ホルダを使用する場合、本端末の卓上ホルダ用接触端子は汚れていませんか。汚れたときは、端子部分を乾いた綿棒などで拭いてください。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない（充電が停止する）、または充電が完了しない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

通知LEDが赤色に点滅し、操作ができない

- 電池残量が少ない場合は電池パックを充電してください。→P.32

■ 端末操作

操作中・充電中に熱くなる

- 通話中に、電波環境や通話時間によっては受話口周辺が熱くなることがありますが、異常ではありません。
- 操作中や充電中、また、充電しながらワンセグ視聴や動画撮影などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが熱くなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。
  圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。→P.32
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回の使用時間が次第に短くなっていきます。
  十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

電源断・再起動が起きる

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

タップしたり、キーを押したりしても動作しない

- 電源が切れていませんか。→P.36
- 画面ロックを設定していませんか。→P.148

タップしたり、キーを押したりしたときの画面の反応が遅い

- 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやり取りしているときなどに起きる場合があります。

ドコモminiUIMカードが認識されない

- ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→P.29

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。「日付と時刻を自動設定」「タイムゾーンを自動設定」にチェックが入っているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。→P.153

端末動作が不安定

- お買い上げ後に端末へインストールしたアプリケーションにより不安定になっている可能性があります。セーフモード（お買い上げ時の状態に近い状態で起動させる機能）で起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。
  セーフモードを起動するには、電源を切った状態で［⏻］を1秒以上押し、XPERIAロゴが表示されたら、本端末が1回振動するまで［◁ ▷］の下を長く押し続けてください。セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。
  セーフモードを終了するには、電源を入れ直してください。
  ※セーフモードを起動するときは、事前に必要なデータをバックアップしてください。
  ※お客様ご自身で作成したウィジェットが消去される場合があります。
  ※セーフモードは通常の起動状態ではありません。通常ご利用になる場合はセーフモードを起動しないでください。

アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）

- 無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。→P.139

■ 通話

ダイヤルボタンを押しても発信できない

- SIMカードロックを設定していませんか。→P.147
- 機内モードを設定していませんか。→P.124

着信音が鳴らない

- 音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。→P.131、P.132
- マナーモードに設定していませんか。→P.132

- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼び出し時間を「0秒」にしていませんか。→P.89
- 着信拒否の設定をしていませんか。→P.89

通話ができない
（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。→P.29、P.31、P.36
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は[アンテナアイコン]を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

ディスプレイが暗い

- バックライト消灯時間を設定していませんか。→P.134
- 画面の明るさ調節を変更していませんか。→P.133
- 省電力モードを設定していませんか。→P.137
- 近接センサーをシールなどでふさいでいませんか。→P.28
- 使用中に本端末の温度が高くなるとディスプレイが暗くなる場合がありますが、異常ではありません。

■ 音声

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 音量設定の通話音量を変更していませんか。→P.86

■ データ表示

各機能で設定した画像や着信音などが動作せず、お買い上げ時の設定で動作する

- 画像や着信音などの取得時に挿入していたドコモminiUIMカードが挿入されていますか。

■ メール

メールを自動で受信しない

- Eメールアカウントの設定で「Eメールの受信確認頻度」を「手動」に設定していませんか→P.108

■ カメラ

カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

- カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。
- 人物を撮影するときは、顔検出機能を設定してください。→P.203

- 手ぶれ補正を使って撮影してください。→P.195、P.200
- 近くの被写体を写真撮影するときは、撮影モードを「プレミアムおまかせオート」に切り替えてください。→P.189

■ ワンセグ

ワンセグの視聴ができない

- 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。
- チャンネル設定をしていますか。→P.179

音声が聞こえない

- マイク付ステレオヘッドセット（試供品）などでワンセグ視聴中にワンセグアンテナケーブル SO01から、マイク付ステレオヘッドセットを抜いていませんか。→P.179

■ おサイフケータイ

おサイフケータイが使えない

- 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、NFC／おサイフケータイ ロックの設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。
- NFC／おサイフケータイをロックしていませんか。→P.175
- 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→P.175

■ 海外利用

海外で本端末が使えない

■ アンテナマークが表示されている場合

- WORLD WINGのお申し込みをされていますか。
  WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。

■ 圏外が表示されている場合

- 国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。
  利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。
- ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。
  「携帯電話事業者」の「検索モード」を「自動」に設定してください。
  「ネットワークモード」を「LTE/WCDMA/GSM（自動）」に設定してください。→P.234、P.235、P.236
- 本端末の電源を切った後、再び電源を入れることで回復することがあります。→P.36

海外でデータ通信ができない

- 「データローミング」にチェックを入れてください。→P.236

海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった

- 利用停止目安額を超えていませんか。「国際ローミングサービス（WORLD WING）」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。

海外で電話がかかってこない

- 「ローミング時着信規制」を「規制開始」に設定していませんか。→P.238

相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない

- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

データ転送が行われない

- USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

microSDカードに保存したデータが表示されない

- microSDカードを差し直してください。→P.30

画像表示しようとすると「×」が表示される
またはデモやプレビューで「×」が表示される

- 画像データが壊れている場合は「×」が表示されることがあります。

■ Bluetooth機能

Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない

- Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→P.164

カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない

- 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

オートGPSサービス情報が設定できない

- 電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。
  「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、充電をすることで設定できるようになります。→P.32、P.140
- 「オートGPS動作設定」にチェックが入っていますか。→P.140

エラーメッセージ

● **通信サービスなし**

- サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
- ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。
  ドコモminiUIMカードを別の端末に挿入してください。機能するのであれば、問題の原因は本端末にあると考えられます。この場合は、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
  ドコモminiUIMカードを抜き差しすることで改善する可能性があります。

● **通常の通話はアクセス制御によって制限されています。**

回線の混雑などにより通常通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **緊急通話はアクセス制御によって制限されています。**

回線の混雑などにより緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **アクセス制御による通話制限です。**

回線の混雑などにより通常／緊急通話音声サービスが受けにくい場合に表示されます。

● **SIMカードロックされています**

PINコード（P.147）を正しく入力してください。

● **SIMカードはPUKでロックされています**

PUK（PINロック解除コード）（P.147）を正しく入力してください。

● **PINロック解除コードがロックされています**

PINロック解除コードがロックされています。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

● **メモリ不足です**

空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除（P.138）して容量を確保してください。

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター（0120-783-360、受付時間：午前9：00～午後8：00、年中無休）へ電話する

2 ホーム画面で をタップし、［遠隔サポート］をタップする

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力する

4 接続後、遠隔サポートを開始する

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」（P.241）をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、裏表紙の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子・ヘッドセット接続端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）
  - 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。

ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、裏表紙の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- **本端末および付属品の改造はおやめください。**
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る。
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す。
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど。
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- **本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。**
  銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- **各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。**
- **修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。**
- **本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。**
  キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、受話口部
- **本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によって修理できないことがあります。**

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手することができます。

❖注意

- モバイルネットワーク接続を使用して本端末からインターネットに接続するとき、データ通信に課金が発生します。
- 更新の前に本端末の中のすべてのデータを確実にバックアップしてください。
- ソフトウェア更新後に初めて起動したときは、データ更新処理のため、数分から数十分間、動作が遅くなる場合があります。所要時間は本端末内のデータ量により異なります。通常の動作速度に戻るまでは電源を切らないでください。

❖お知らせ

- ソフトウェア更新について詳しくは、次のホームページをご覧ください。
  http://www.sonymobile.co.jp/support/

ソフトウェア更新の通知設定をする

ソフトウェアが更新されたときに通知するように設定できます。

1. **ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] をタップする**
2. ** をタップし、[設定] をタップする**
3. **「通知」にチェックを入れる**
   - 通知音を変更するには、[通知音] をタップし、変更したい通知音をタップして、[完了] をタップします。

❖お知らせ

- 手順3で「通知バイブレーション」にチェックを入れると、ソフトウェア更新があることを振動でお知らせします。

ワイヤレスでソフトウェア更新をダウンロードする

ソフトウェアをダウンロードして更新する

モバイルネットワーク接続またはWi-Fiネットワーク接続を使用し、インターネット経由で、本端末から直接ワイヤレスでソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] をタップする

2 「システム」タブをタップし、 をタップする

- 本端末が、ソフトウェア更新を検索します。

❖お知らせ

- 次の操作でも、ソフトウェア更新を検索できます。ホーム画面で をタップし、 をタップして、[本体設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] ▶「システム」タブをタップし、 をタップします。
- 更新センター画面で表示される「新規アプリ」タブ/「更新」タブは、日本国内ではサービスを開始していないためご利用いただけません。

❖注意

- モバイルネットワークでソフトウェアの更新をする場合、データ量の大きい通信を行いますので、パケット通信料が高額になります。このため、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 海外でローミングサービスをご利用の際は、モバイルネットワークでのソフトウェア更新の検索やダウンロードはできません。

最新のソフトウェア更新を自動ダウンロードする

最新のソフトウェア更新を定期的に検索します。更新がある場合はソフトウェアが自動でダウンロードされ、ステータスバーに が表示されます。

1 ホーム画面で をタップし、[設定] ▶ [端末情報] ▶ [ソフトウェア更新] をタップする

2 をタップし、[設定] をタップする

3 [自動ダウンロードを許可] をタップし、注意文を読んで [同意する] をタップする

- 「自動ダウンロードを許可」にチェックが入ります。

❖注意

- ホーム画面で をタップし、［設定］▶［端末情報］▶［ソフトウェア更新］をタップして、 をタップし、［設定］▶［優先データ通信］▶［モバイルネットワーク／Wi-Fi経由］をタップした場合、Wi-Fi通信が不安定になると自動的にモバイルネットワーク通信に切り替わり、パケット通信料が発生することがありますのでご注意ください。
- 自動検索するためにパケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。

パソコンに接続して更新する

本端末からパソコンにインストールできるPC Companionを使ってソフトウェアを更新することができます。

❖お知らせ

- PC Companionをインストールするパソコンは、インターネットに接続されている必要があります。

PC Companionをご利用のパソコンにまだインストールしていない場合

1 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

2 本端末上に「PC Companionソフトウェア」画面が表示されたら、［インストール］をタップする

- パソコン上でPC Companionのインストーラが起動します。

3 パソコンの画面の指示に従ってインストールを行う

- インストール完了後、パソコン上でPC Companionが起動します。さらにソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されますので、パソコンの画面の指示に従って操作を行ってください。

PC Companionをご利用のパソコンにすでにインストールされている場合

1 パソコン上でPC Companionが起動しているかどうかを確認し、起動していない場合はスタートメニューからPC Companionを起動する

2 本端末をmicroUSB接続ケーブルでパソコンに接続する

3 パソコンの画面の指示に従って操作を行う

- ソフトウェアの更新がある場合は自動的に通知されます。

主な仕様

■ 本体

品名		SO-01E
サイズ		高さ約129mm× 幅約65mm× 最薄部厚さ約8.7mm（最厚部約10.8mm）
質量		約120g （電池パック装着時）
メモリ		ROM　16GB RAM　1GB
外部メモリ		microSD 2GBまで microSDHC 32GBまで対応（2012年10月現在）
連続待受時間	FOMA／3G	約480時間（静止時）
	GSM	約340時間（静止時）
	LTE	約350時間（静止時）
連続通話時間	FOMA／3G	約460分
	GSM	約440分
充電時間	ACアダプタ 03	約160分（卓上ホルダSO14併用時約170分）
	DCアダプタ 03	約180分
ワンセグ視聴時間		約300分
ディスプレイ	方式	TFT16,777,216色
	サイズ	約4.3inch
	ドット数	横720ドット× 縦1280ドット
撮像素子	種類	カメラ：裏面照射型CMOS フロントカメラ：CMOS
	サイズ	カメラ：1/3.0 inch フロントカメラ： 1/13.0 inch
カメラ画素数		カメラ： 有効画素数約1300万画素（記録画素数約1280万画素） フロントカメラ： 有効画素数約31万画素（記録画素数約31万画素）
デジタルズーム		カメラ： 最大約16倍（41段階） フロントカメラ：―
静止画撮影サイズ		カメラ： 4128×3096（13MP 4:3） 3920×2940（12MP 4:3） 3920×2204（9MP 16:9） 2592×1944（5MP 4:3） 1920×1080（2MP 16:9） 640×480（VGA） フロントカメラ： 640×480（VGA）
動画記録サイズ		ビデオカメラ： 1920×1080（フルHD） 1280×720（HD 720p） 640×480（VGA） フロントビデオカメラ： 640×480（VGA） 320×240（QVGA）
フレームレート		最大30fps

無線LAN		IEEE802.11a※1/b/g/n※1準拠（IEEE802.11n対応周波数帯：2.4GHz/5GHz）
Bluetooth	**対応Bluetoothバージョン**	Bluetooth標準規格Ver.4.0に準拠※2
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	見通し通信距離※3	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※4	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、PAN、HDP、PXP、DID

※1 ドコモminiUIMカードを挿入していないと使用できません。

※2 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※3 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※4 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での目安です。
  なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場所）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。
  また、通話やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。

■ 電池パック

品名	電池パック SO08
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	1700mAh

■ ファイル形式

本端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
音	WAV（PCM、G.711）（.wav）、AAC（.3gp、.m4a、.mp4）、AAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、eAAC+（.3gp、.m4a、.mp4）、MP3（.mp3）、AMR-NB（.3gp）、AMR-WB（.3gp）、MIDI（SP-MIDI/GM/GML（.mid）、XMF（.xmf）、Mobile XMF 1.0（.mxmf）、RTTTL/RTX（.rtttl、.rtx）、OTA（.ota）、iMelody（.imy））、Ogg Vorbis（.ogg）、FLAC（.flac）、PIFF（.isma）
静止画※	JPEG（.jpeg、.jpg）、GIF（.gif）、PNG（.png）、BMP（.bmp）、WEBP（.webp）
動画	H263（.3gp、.mp4）、H264 AVC（.3gp、.mp4）、MPEG-4 SP（.3gp）、VP8（.webm、.mkv）、Xvid（.avi）、Quicktime（.mov）、PIFF（.ismv）

※ 本端末でのカメラ撮影時はJPEGで保存されます。

■ 静止画の撮影枚数（目安）

内部ストレージに保存できる撮影枚数	最大約355677枚
microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数	最大約41940枚

※ 解像度が640×480（VGA）の場合の撮影枚数です。

■ 動画の撮影時間（目安）

内部ストレージに保存できる撮影時間	1件あたり：最大約269分 合計：最大約545分
microSDカード（1GB）に保存できる撮影時間	1件あたり：最大約67分 合計：最大約67分

※ 解像度が640×480（VGA）の場合の撮影時間です。

携帯電話機の比吸収率などについて

Mobile phone: GSM/GPRS/EDGE 850/900/1800/1900 & UMTS/HSPA B1/5/6/19 & LTE B1/19/21

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種SO-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.94W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモもしくは製造メーカ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社のホームページ
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

United States

THIS PHONE MODEL HAS BEEN CERTIFIED IN COMPLIANCE WITH THE GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.

The SO-01E mobile phones have been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. Your wireless phone is a radio transmitter and receiver. It is designed to not exceed the limits* of exposure to radio frequency (RF) energy set by governmental authorities. These limits establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by international scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a safety margin designed to assure the safety of all individuals, regardless of age and health.

The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). Tests

for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves. For more information on SAR, please refer to the safe and efficient use chapter in the User Guide.
The highest SAR value as reported to the authorities for this phone model when tested for use by the ear is 0.94 W/kg*, and when worn on the body is 0.81 W/kg* for speech and 1.35 W/kg* for data calls. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Mobile Communications AB accessory and worn on the body.
For devices which include "WiFi hotspot" functionality, SAR measurements for the device operating in WiFi hotspot mode were taken using a separation distance of 10 mm.
Use of third-party accessories may result in different SAR levels than those reported.

** Before a phone model is available for sale to the public in the US, it must be tested and certified by the Federal Communications Commission (FCC) that it does not exceed the limit established by the government-adopted requirement for safe exposure*. The tests are performed in positions and locations (i.e., by the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The FCC has granted an Equipment Authorization for this phone model with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. While there may be differences between the SAR levels of various phones, all mobile phones granted an FCC equipment authorization meet the government requirement for safe exposure. SAR information on this phone model is on file at the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID PY7PM-0070. Additional information on SAR can be found on the Cellular

Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.ctia.org/.

* In the United States, the SAR limit for mobile phones used by the public is 1.6 watts/kilogram (W/kg) averaged over one gram of tissue. The standard incorporates a margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

** This paragraph is only applicable to authorities and customers in the United States.

Europe

This mobile phone model SO-01E has been designed to comply with applicable safety requirements for exposure to radio waves. These requirements are based on scientific guidelines that include safety margins designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The radio wave exposure guidelines employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. Tests for SAR are conducted using standardized methods with the phone transmitting at its highest certified power level in all used frequency bands. While there may be differences between the SAR levels of various phone models, they are all designed to meet the relevant guidelines for exposure to radio waves.

For more information on SAR, please refer to the safety chapter in the User's Guide.
SAR data information for residents in countries that have adopted the SAR limit recommended by the International Commission of Non-Ionizing Radiation Protection (ICNIRP), which is 2 W/kg averaged over ten (10) gram of tissue (for example European Union, Japan, Brazil and New Zealand):
The highest SAR value for this model phone tested by Sony Mobile Communications AB for use at the ear is 0.94 W/kg (10g).

Guidelines for Safe and Efficient Use

Please follow these guidelines. Failure to do so might entail a potential health risk or product malfunction. If in doubt as to its proper function, have the product checked by a certified service partner before charging or using it.

■ Recommendations for care and safe use of our products

- Handle with care and keep in a clean and dust-free place.
- **Warning!** May explode if disposed of in fire.
- Do not expose to liquid or moisture or excess humidity.
- For optimum performance, the product should not be operated in temperatures below +5°C (+41°F) or above +35°C (+95°F). Do not expose the battery to temperatures above +60°C (+140°F).
- Do not expose to flames or lit tobacco products.
- Do not drop, throw or try to bend the product.
- Do not paint or attempt to disassemble or modify the product. Only Sony Mobile Communications AB authorised personnel should perform service.
- Consult with authorised medical staff and the instructions of the medical device manufacturer before using the product near pacemakers or other medical devices or equipment.
- Discontinue use of electronic devices, or disable the radio transmitting functionality of the device, where required or requested to do so.
- Do not use where a potentially explosive atmosphere exists.
- Do not place the product, or install wireless equipment, in the area above an air bag in a car.
- **Caution:** Cracked or broken displays may create sharp edges or splinters that could be harmful upon contact.
- Do not use the Bluetooth Headset in positions where it is uncomfortable or will be subject to pressure.

■ Children

Warning! Keep out of the reach of children. Do not allow children to play with mobile phones or accessories. They could hurt themselves or others. Products may contain small parts that could become detached and create a choking hazard.

■ Power supply (Charger)

Connect the charger to power sources as marked on the product. Do not use outdoors or in damp areas. Do not alter or subject the cord to damage or stress. Unplug the unit before cleaning it. Never alter the plug. If it does not fit into the outlet, have a proper outlet installed by an electrician. When a power supply is connected there is a small drain of power. To avoid this small energy waste, disconnect the power supply when the product is fully charged. Use of charging devices that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks.

■ Battery

New or idle batteries can have short-term reduced capacity. Fully charge the battery before initial use. Use for the intended purpose only. Charge the battery in temperatures between +5°C (+41°F) and +35°C (+95°F). Do not put the battery into your mouth. Do not let the battery contacts touch another metal object. Turn off the product before removing the battery. Performance depends on temperatures, signal strength, usage patterns, features selected and voice or data transmissions. Only Sony Mobile Communications AB service partners should remove or replace built-in batteries. Use of batteries that are not Sony Mobile Communications AB branded may pose increased safety risks. Replace the battery only with another Sony Mobile Communications AB battery that has been qualified with the product per the standard IEEE-1725. Use of an unqualified battery may present a risk of fire, explosion, leakage or other hazard.

■ Personal medical devices

Mobile phones may affect implanted medical equipment. Reduce risk of interference by keeping a minimum distance of 22 cm (8.7 inches) between the phone and the device. Use the phone at your right ear. Do not carry the phone in your breast pocket. Turn off the phone if you suspect interference. For all medical devices, consult a physician and the manufacturer.

■ Driving

Some vehicle manufacturers forbid the use of phones in their vehicles unless a handsfree kit with an external antenna supports the installation. Check with the vehicle manufacturer's representative to be sure that the mobile phone or Bluetooth handsfree will not affect the electronic systems in the vehicle. Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

■ GPS/Location based functions

Some products provide GPS/Location based functions. Location determining functionality is provided "As is" and "With all faults". Sony Mobile Communications AB does not make any representation or warranty as to the accuracy of such location information.

Use of location-based information by the device may not be uninterrupted or error free and may additionally be dependent on network service availability. Please note that functionality may be reduced or prevented in certain environments such as building interiors or areas adjacent to buildings.

Caution: Do not use GPS functionality in a manner which causes distraction from driving.

■ Emergency calls

Calls cannot be guaranteed under all conditions. Never rely solely upon mobile phones for essential communication. Calls may not be possible in all areas, on all networks, or when certain network services and/or phone features are used.

■ Antenna

Use of antenna devices not marketed by Sony Mobile Communications AB could damage the phone, reduce performance, and produce SAR levels above the established limits. Do not cover the antenna with your hand as this affects call quality, power levels and can shorten talk and standby times.

■ Radio Frequency (RF) exposure and Specific Absorption Rate (SAR)

When the phone or Bluetooth handsfree is turned on, it emits low levels of radio frequency energy. International safety guidelines have been developed through periodic and thorough evaluation of scientific studies. These guidelines establish permitted levels of radio wave exposure. The guidelines include a safety margin designed to assure the safety of all persons and to account for any variations in measurements.

Specific Absorption Rate (SAR) is used to measure radio frequency energy absorbed by the body when using a mobile phone. The SAR value is determined at the highest certified power level in laboratory conditions, but because the phone is designed to use the minimum power necessary to access the chosen network, the actual SAR level can be well below this value. There is no proof of difference in safety based on difference in SAR value.

Products with radio transmitters sold in the US must be certified by the Federal Communications Commission (FCC). When required, tests are performed when the phone is placed at the ear and when worn on the body. For body-worn operation, the phone has been tested when positioned a minimum of 15 mm from the body without any metal parts in the vicinity of the phone or when properly used with an appropriate Sony Mobile Communications AB accessory and worn on the body.

For more information about SAR and radio frequency exposure, go to: *http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/*.

■ Flight mode

Bluetooth and WLAN functionality, if available in the device, can be enabled in Flight mode but may be prohibited onboard aircraft or in other areas where radio transmissions are prohibited. In such environments, please seek proper authorisation before enabling Bluetooth or WLAN functionality even in Flight mode.

■ Malware

Malware (short for malicious software) is software that can harm the mobile phone or other computers. Malware or harmful applications can include viruses, worms, spyware, and other unwanted programs. While the device does employ security measures to resist such efforts, Sony Mobile Communications AB does not warrant or represent that the device will be impervious to the introduction of malware. You can however reduce the risk of malware attacks by using care when downloading content or accepting applications, refraining from opening or responding to messages from unknown sources, using trustworthy services to access the Internet, and only downloading content to the mobile phone from known, reliable sources.

■ Accessories

Use only Sony Mobile Communications AB branded original accessories and certified service partners. Sony Mobile Communications AB does not test third-party accessories. Accessories may influence RF exposure, radio performance, loudness, electric safety and other areas. Third-party accessories and parts may pose a risk to your health or safety or decrease performance.

■ Disposal of old electrical and electronic equipment

Electronic equipment and batteries should not be included as household waste but should be left at an appropriate collection point for recycling. This helps prevent potential negative consequences for the environment and human health. Check local regulations by contacting your local city office, your household waste disposal service, the shop where you purchased the product or calling a Sony Mobile Communications AB Contact Center. Do not attempt to remove internal batteries. Internal batteries shall be removed only by a waste treatment facility or trained service professional.

■ Disposing of the battery

Check local regulations or call a Sony Mobile Communications AB Contact Center for information. Never use municipal waste.

■ Memory card

If the product comes complete with a removable memory card, it is generally compatible with the handset purchased but may not be compatible with other devices or the capabilities of their memory cards. Check other devices for compatibility before purchase or use. If the product is equipped with a memory card reader, check memory card compatibility before purchase or use.

Memory cards are generally formatted prior to shipping. To reformat the memory card, use a compatible device. Do not use the standard operating system format when formatting the memory card on a PC. For details, refer to the operating instructions of the device or contact customer support.

Warning!

If the device requires an adapter for insertion into the handset or another device, do not insert the card directly without the required adapter.

■ Precautions on memory card use

- Do not expose the memory card to moisture.
- Do not touch terminal connections with your hand or any metal object.
- Do not strike, bend, or drop the memory card.
- Do not attempt to disassemble or modify the memory card.
- Do not use or store the memory card in humid or corrosive locations or in excessive heat such as a closed car in summer, in direct sunlight or near a heater, etc.
- Do not press or bend the end of the memory card adapter with excessive force.
- Do not let dirt, dust, or foreign objects get into the insert port of any memory card adapter.
- Check you have inserted the memory card correctly.
- Insert the memory card as far as it will go into any memory card adapter needed. The memory card may not operate properly unless fully inserted.
- We recommend that you make a backup copy of important data. We are not responsible for any loss or damage to content you store on the memory card.
- Recorded data may be damaged or lost when you remove the memory card or memory card adapter, turn off the power while formatting, reading or writing data, or use the memory card in locations subject to static electricity or high electrical field emissions.

■ Protection of personal information

Erase personal data before disposing of the product. To delete data, perform a master reset. Deleting data from the phone memory does not ensure that it cannot be recovered. Sony Mobile Communications AB does not warrant against recovery of information and does not assume responsibility for disclosure of any information even after a master reset.

Loudness warning!

Avoid volume levels that may be harmful to your hearing.

FCC Statement for the USA

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions:

(1) This device may not cause harmful interference, and

(2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

Any change or modification not expressly approved by Sony Mobile Communications AB may void the user's authority to operate the equipment.
This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation.
If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Declaration of Conformity for SO-01E

CE 0682 ⓘ

The Product "SO-01E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2. The Declaration of Conformity can be found on
http://www.sonymobile.co.jp/product/SAR/doc/.

End User Licence Agreement／エンドユーザーライセンス契約

End User Licence Agreement

Software delivered with this device and its media is owned by Sony Mobile Communications AB, and/or its affiliated companies and its suppliers and licensors.
Sony Mobile grants you a non-exclusive limited licence to use the Software solely in conjunction with the Device on which it is installed or delivered. Ownership of the Software is not sold, transferred or otherwise conveyed.
Do not use any means to discover the source code or any component of the Software, reproduce and distribute the Software, or modify the Software. You are entitled to transfer rights and obligations to the Software to a third party, solely together with the Device with which you received the Software, provided the third party agrees in writing to be bound by the terms of this Licence.
This licence exists throughout the useful life of this Device. It can be terminated

by transferring your rights to the Device to a third party in writing.
Failure to comply with any of these terms and conditions will terminate the licence immediately.
Sony Mobile and its third party suppliers and licensors retain all rights, title and interest in and to the Software. To the extent that the Software contains material or code of a third party, such third parties shall be beneficiaries of these terms.
This licence is governed by the laws of Sweden. When applicable, the foregoing applies to statutory consumer rights.
In the event Software accompanying or provided in conjunction with your device is provided with additional terms and conditions, such provisions shall also govern your possession and usage of the Software.

エンドユーザーライセンス契約

本製品及び付属のメディアに含まれるソフトウェア（以下「本ソフトウェア」という）は、Sony Mobile Communications AB（以下「ソニーモバイル」という）及び／又はその子会社、サプライヤー、ライセンサーがその権利を有するものとします。
ソニーモバイルは、お客様に対し、本ソフトウェアについて、本製品と共に使用する場合に限り、非独占、限定的なライセンス（以下「本ライセンス」という）を許諾します。
本ソフトウェアの権利は、何ら販売、移転、その他の方法で譲渡されるものではありません。
お客様は、いかなる手段を用いても、本ソフトウェアのソースコード及びコンポーネントを解読してはならず、また、本ソフトウェアを複製、頒布、修正することは出来ません。
お客様が本ソフトウェアについての権利及び義務を第三者に譲渡出来るのは、本ソフトウェアを本製品と共に第三者に譲渡し、かつ、当該第三者が、本ライセンスの条件を遵守することにつき書面をもって合意した場合に限られます。
本ライセンスは、お客様の本製品使用期間中、有効に存続します。
本ライセンスは、お客様の権利を本製品と共に第三者に書面により譲渡することによって終了することが出来ます。

お客様が、本契約のいずれかの条項に違反した場合、本ライセンスは直ちに取り消されます。
本ソフトウェアに関する全ての権利、権原、権益は、ソニーモバイル、サプライヤー、及びライセンサーに帰属するものとします。
本ソフトウェアに、サプライヤー又はライセンサーが権利を有する素材又はコードが含まれている場合は、その限りにおいて、かかるサプライヤー又はライセンサーは本契約における受益者となるものとします。
本契約の準拠法は、スウェーデン法とします。
上記準拠法は、適用可能な場合には、消費者の法定の権利にも適用されるものとします。
本ソフトウェアにつき追加的な条件が付された場合は、かかる条件は、本契約の各条項に加えて、お客様の本ソフトウェアの保有及び使用について適用されるものとします。

About Open Source Software／オープンソースソフトウェアについて

About Open Source Software

This product includes certain open source or other software originating from third parties that is subject to the GNU General Public License (GPL), GNU Library/Lesser General Public License (LGPL) and different and/or additional copyright licenses, disclaimers and notices. The exact terms of GPL, LGPL and some other licenses, disclaimers and notices are reproduced in the about box in this product and are also available at http://opensource.sonymobile.com.

Sony Mobile offers to provide source code of software licensed under the GPL or LGPL or some other open source licenses allowing source code distribution to you on a CD-ROM for a charge covering the cost of performing such distribution, such as the cost of media, shipping and handling, upon written request to Sony Mobile Communications AB, Open Source

Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden. This offer is valid for a period of three (3) years from the date of the distribution of this product by Sony Mobile.

オープンソースソフトウェアについて

本製品は、オープンソースソフトウェアまたはその他のGNU General Public License (GPL)、GNU Library/Lesser General Public License (LGPL)及び／またはその他の著作権ライセンス、免責条項、ライセンス通知の適用を受ける第三者のソフトウェアを含みます。GPL、LGPL及びその他のライセンス、免責条項及びライセンス通知の具体的な条件については、本製品の「端末情報」から参照いただけるほか、

http://opensource.sonymobile.com でも参照いただけます。

ソニーモバイルは、Sony Mobile Communications AB, Open Source Software Management, Nya Vattentornet, SE-221 88 Lund, Sweden宛の書面による要求があった場合、GPL、LGPL又はその他のソースコードの配布を要求しているオープンソースライセンスのもとでライセンスされているソフトウェアのソースコードにつき、配布のために必要な費用（メディア費用、物流費用、取扱い費用等）を負担いただくことを条件に、CD-ROMにて配布をいたします。

上記のソースコードの提供の申し出は、本製品がソニーモバイルにより販売されてから3年間有効なものとします。

輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権について

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「デコメール®」「デコメ®」「spモード」「WORLD WING」「WORLD CALL」「トルカ」「ケータイデータお預かりサービス」「おまかせロック」「mopera」「mopera U」「ｉチャネル」「おサイフケータイ」「iD」「ケータイお探しサービス」「公共モード」「エリアメール」「ｉコンシェル」「声の宅配便」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「Xi」「Xi／クロッシィ」「eトリセツ」「ｄメニュー」「ｄマーケット」「かざしてリンク」「トルカ」ロゴ、「おサイフケータイ」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「Bluetooth」は、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ソニーモバイルコミュニケーションズはライセンスに基づいて使用しています。

Bluetooth®

- 「Wi-Fi」は、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Wi-Fi Protected SetupおよびWi-Fi Protected SetupロゴはWi-Fi Allianceの商標です。

- The Wi-Fi Protected Setup Mark is a mark of the Wi-Fi Alliance.

- キャッチホンは日本電信電話株式会社の登録商標です。
- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。
- 「Xperia」「Timescape」は、Sony Mobile Communications ABの商標または登録商標です。
- 「Media Go」は、Sony Media Software and Servicesの商標または登録商標です。
- "PlayStation"、"プレイステーション"、""は、株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商標または登録商標です。
- 「ブラビア」「Sony」「スイングパノラマ」「スマイルシャッター」「プレミアムおまかせオート」「顔検出」「WALKMAN」「xLOUD」「FeliCa」「Reader」「Clear Phase」はソニー株式会社の商標または登録商標です。
- "POBox"および"POBox"ロゴは、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所の登録商標です。"POBox"は、株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所とソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社が共同開発した技術です。
- microSDロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
- はNFC Forum, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 「Twitter」はTwitter, Inc.の商標または登録商標です。
- 「Google」「Google」ロゴ、「Android」「Android」ロゴ、「Google Play」「Google Play」ロゴ、「Googleローカル」「Googleローカル」ロゴ、「Google+」「Gmail」「モバイルGoogle マップ」「Google トーク」「Google Latitude」「Google Calendar」「YouTube」「YouTube」ロゴ、「Picasa」は、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- FacebookおよびFacebookロゴはFacebook, Inc.の商標または登録商標です。
- mixi, mixiロゴは、株式会社ミクシィの登録商標です。

- DLNA is a trademark or registered trademark of the Digital Living Network Alliance.
- MHL、Mobile High-Definition LinkおよびMHLロゴは、MHL, LLCの商標または登録商標です。
- 「Microsoft」「Windows」「Outlook」「Windows Vista」「Windows Server」「Windows Media」と「ActiveSync」は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品は、Microsoftの知的財産権に依存した技術が含まれています。かかる技術を本製品から切り離して、Microsoftのライセンス許可を受けずに使用または頒布することは禁止されています。
- コンテンツ権利者は、Microsoft PlayReady™コンテンツアクセス技術を使用することで、著作権で保護されたコンテンツも含め、知的財産権を保護しています。本製品は、PlayReady技術を使用して、PlayReady及び／又はWMDRMにより保護されたコンテンツにアクセスをします。本製品がコンテンツ使用制限を適切に実施できない場合、当該コンテンツ権利者は、Microsoftに対し、PlayReadyによって保護されたコンテンツを使用する本製品の機能を無効化するよう申し入れることがあります。この無効化はPlayReadyによって保護されていないコンテンツ及び他のコンテンツアクセス技術によって保護されているコンテンツに影響を与えません。コンテンツ権利者は、提供コンテンツへのアクセスに必要なPlayReadyのアップグレードを要求することがあります。アップグレードを行わない場合、当該提供コンテンツへのアクセスができなくなります。

- 本製品は、MPEG-4ビジュアルおよびAVC特許ポートフォリオライセンスのもとで、消費者が商業目的以外で個人的に使用するために提供されており、次の用途に限定されます。(i) MPEG-4ビジュアル標準(以下「MPEG-4ビデオ」)またはAVC規格(以下「AVCビデオ」)に準拠したビデオのエンコード、および/または(ii)商業目的以外の個人的な活動に従事している消費者によってエンコードされたMPEG-4またはAVCビデオのデコード、および/または、MPEG-4またはAVCビデオの提供をMPEG LAによってライセンス許可されているビデオプロバイダから入手したMPEG-4またはAVCビデオのデコード。その他の用途に対するライセンスは許諾されず、黙示的に許可されることもありません。販売促進目的、内部目的および商業目的の使用およびライセンス許可に関する追加情報は、MPEG LA, L.L.Cより入手できます(http://www.mpegla.com を参照)。MPEGレイヤー3オーディオデコード技術は、Fraunhofer IIS and Thomsonによってライセンス許可されます。
- その他、本書で登録するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
なお、本文中では、TM、®マークは表記していません。
- 本書に明示されていないすべての権利は、その所有者に帰属します。

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

あ

か

さ

た

な

は

ま

や

ら

わ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー⇒「お客様サポートへ」⇒「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は裏表紙の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合
航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。
※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。
ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■ 運転中の場合
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合
静かにすべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【バイブレーション】（P.132）
電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

【マナーモード】（P.132）
着信音や操作音など、本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

その他にも、留守番電話サービス（P.89）、転送でんわサービス（P.89）などのオプションサービスが利用できます。

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）151　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9:00〜午後8:00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

（局番なしの）113　（無料）

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。

ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

海外での紛失、盗難、精算などについて
〈ドコモ インフォメーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO-01Eからご利用の場合は、+81-3-6832-6600でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

海外での故障について
〈ネットワークオペレーションセンター〉
（24時間受付）

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*（無料）

*一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※SO-01Eからご利用の場合は、+81-3-6718-1414でつながります。（「+」は「0」をロングタッチします。）

一般電話などからの場合
〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

*滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの「国際サービスホームページ」をご覧ください。

●紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。

●お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

モバイル・リサイクル・ネットワーク

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。
※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　ソニーモバイルコミュニケーションズ株式会社

'12.11（1版）1268-9176.1